Panasonic

DVDプレーヤー一体型ビデオ
取扱説明書

品番 NV-VP51S

上手に使って上手に節電

保証書別添付

Gコード®

DVD AUDIO/VIDEO

S-VHS

COMPACT disc DIGITAL VIDEO

このたびはパナソニックDVDプレーヤー一体型ビデオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 「安全上のご注意」については4～5ページを必ずお読みください。

もくじ

はじめに

使用前 →3〜

ご自分で設置される方は…
お使いになる前に、以下の項目を必ず行ってください

VHS

再生・録画 →22〜

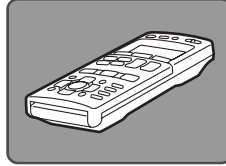
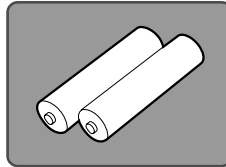
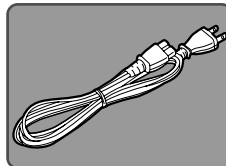
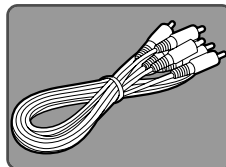
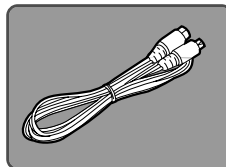
予約録画 →30〜

便利機能 →36〜

DVD

基本再生 →44〜

付属品

- 下記の部品が入っているか確かめてください。
- 付属品をなくされたときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- この取扱説明書に記載の付属品・別売品の品番は、2003年10月現在のものです。

リモコン
(➜11)
EUR7909KA0

リモコン用乾電池(2本)
(➜12)
単4形乾電池(R03)

電源コード
(➜14)
VJA0536T

映像・音声コード
(➜14)
K2KA6BA00002

S映像コード
(➜14)
K2KZ9AA00001

75Ω同軸ケーブル
(➜14)
VJA1125

参照ページについて

- 参照していただくページを(➜○○)で示しています。
- ディスク部分を「DVD」、ビデオ部分を「VHS」として、主に説明しています。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)**

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
●	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

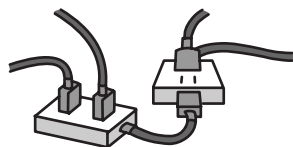
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

禁止

●傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
●抜くときは、プラグを持ちまっすぐ抜いてください。
●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

●たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

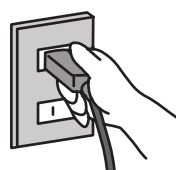
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

●感電の原因になります。

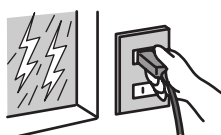
電源プラグのほこり等は定期的にとる

●プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止

●感電の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたりぬらしたりしない

禁止

●ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
●機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
●特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

●内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
●内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

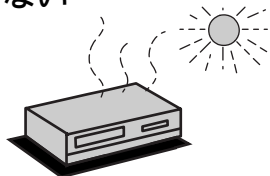
●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●販売店にご相談ください。

※本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

⚠注意

設置・接続について

異常に温度が高くなるところに置かない

禁止

●機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
●直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない

禁止

・上に大きなもの、重いものを載せない
・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

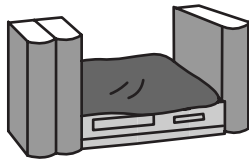
●機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

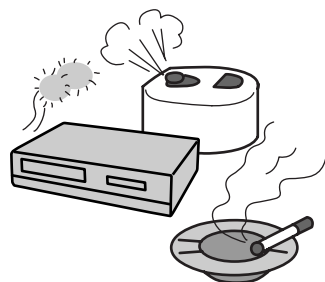
禁止

●強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
●設置・工事は販売店にご相談ください。

放熱を妨げない

禁止

●内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

禁止

●電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
●たばこのけむりなども機器の故障の原因になることがあります。

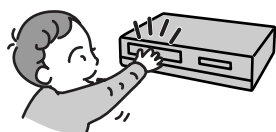
ご使用について

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

●通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
●カセットやディスクも取り出しておいてください。

カセット挿入口·ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する

指に注意

●挟まれて、けがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

禁止

●接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災・感電の原因になることがあります。
●また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

乾電池について

電池は正しく取り扱う

・⊕と⊖は正しく入れる
・長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使い方をしない

禁止

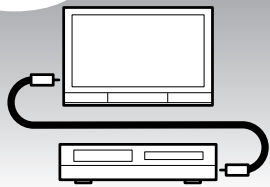
・新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
・乾電池は充電しない
・加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
・ネックレスなどの金属物といっしょにしない
・被覆のはがれた電池は使用しない
・乾電池の代用として充電式電池を使用しない

●取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚損の原因になることがあります。
●万一液漏れが起こったら、販売店にご相談ください。
●液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

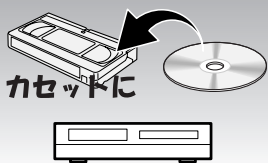
目的別ページ早わかり

本機1台で、VHSとDVDの両方が楽しめます

DVD・VHS共通/他

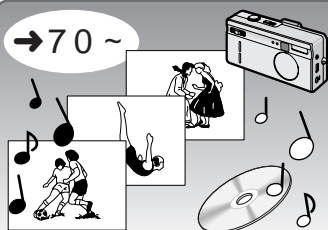
➜14～

自分で設置したい

手順どおり正しく設置してください。

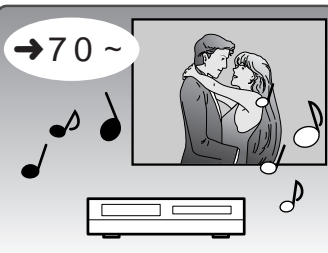
➜68～

DVD-RAMをビデオカセットにダビングしたい

(ワンタッチダビング)

DVD-RAMに録画された番組をビデオカセットにワンタッチ操作で簡単にダビングすることができます。

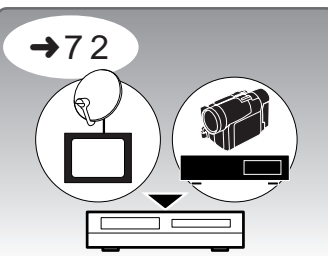
➜70～

映像を見ながら音楽を聴きたい(Pin（ピーイン）ミュージック1)

デジタルカメラなどで撮影した画像をスライドショーなどで再生し、ディスクから音楽をBGMのようにして再生したり、カセットに録画することができます。

➜70～

DVD映像に音楽を付けて再生したい

(Pinミュージック2)

JPEGなどDVD側の映像を再生しながら、外部音響機器などからの音楽をBGMのようにしてお楽しみいただけます。

➜72

外部入力で録画したい

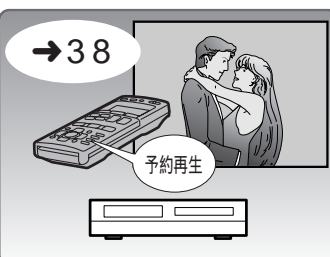
BSチューナー内蔵テレビを使ってBS番組を録画したり、他のビデオ、ビデオカメラからダビングすることができます。

VHS

➜31,33

簡単に予約録画したい

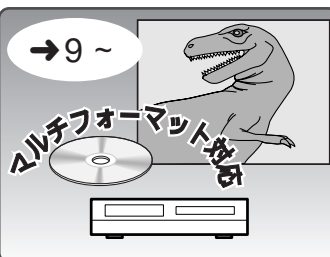
テレビ画面の指示に従って、予約録画の操作ができます。

➜38

予約録画した番組をすぐに見たい

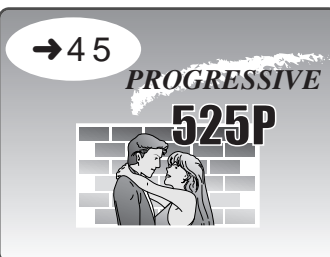
(かんたん予約再生)

直前に予約録画した番組をワンタッチ操作ですぐに見ることができます。

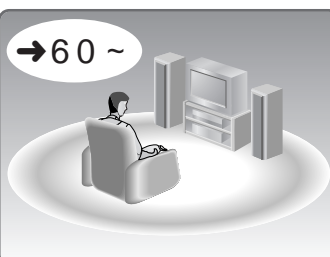
DVD

➜9～

いろいろなフォーマットのDVDを視聴したい

下記のフォーマットで記録されたディスクを視聴できます。
詳しくは(➜9)
●DVD-Video●DVD-R
●DVD-RAM●DVD-Audio
●ビデオCD●音楽用CD
●スーパービデオCD●CD-R/RW(CD-DA、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3、WMA、JPEG、HighMAT レベル 2フォーマットのディスク)

➜45

プログレッシブ出力で再生したい

従来のテレビ・ビデオ映像のインターレース方式(525I)に比べて垂直解像度が高く、被写体が動いたときの画質劣化がない高密度でちらつきのない映像を再現します。

➜60～

映画や音楽をもっと楽しみたい

下記の設定ができます。
●シネマ●アドバンスドサラウンド●ダイアログエンハンサー
●ズーム　●アングル
●字幕・音声

使用上のお願い

きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

接続・設置時

設置するとき

すべての機器の電源を切ってから接続する

「露付き」について

- 本機やカセットに「露付き」が起こると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。
  また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。
- 「露付き」が起こりやすいとき
  - ・梅雨の時期
  - ・本機やカセットを寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき
  - ・寒い部屋を急に暖房で暖めたとき
  - ・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき
- 「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2時間程度)、電源を入れたまま放置してください。

お手入れ・移動時

お手入れについて

キャビネットが汚れているとき
- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

汚れがひどいとき
- 中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
  そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

レンズのクリーニングについて
- 使用環境により異なりますが、レンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

カセットとディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す
- 引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

使用時

使用するとき

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

ディスクトレイにディスク以外のものを置かない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする
- キャビネットが変形したり、塗装がはげるおそれがあります。

前面パネルについて
- 本体の前面パネルは、ハーフミラーを採用しています。
  このため、設置場所の明るさや光の反射の具合によっては本体表示窓の文字(テープカウンターなど)が見にくいことがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けない
- 映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりするおそれがあります。
- 特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく
- 本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気を付ける
- 本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
  DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。
  別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

使わないとき

- 電源コンセントに接続されていると、電源を切っても約4.2ワット(時刻表示消灯時は約1.2ワット)の電力を消費しています。
- 機能を保つため、1カ月に一度くらいは再生などをしてお使いください。

使用上のお願い(つづき)

著作権について

■あなたが録画・録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
■著作物を無断で放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。
Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

この製品は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。
著作権1992－1997年ドルビーラボラトリーズ。
不許複製。

この製品は米国DTS社からの実施権に基づき製造されています。
合衆国特許No.5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。
海外特許申請中。
「DTS」および「DTSデジタルサラウンド」はDTS社の登録商標です。
著作権1996年、2000年DTS社。
不許複製。

本機はMP3形式で記録されたディスクを再生できます。
MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomson multimediaからライセンスを受けています。

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。
WMA(Windows Media™ Audio)とは米国Microsoft Corporationで開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

Designed for Windows Media™

HighMAT、HighMATロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

HIGH MAT AUDIO・IMAGE

カセットについて

品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
- 品質の悪いカセット(テープ)の例
  - ・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
  - ・テープが波打ったりクシャクシャになっている
  - ・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
  - ・テープがたるんでいる
- このようなカセット(テープ)を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。
- このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)でビデオヘッドをクリーニングしてください。それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
  ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

カセットの取り扱いについて

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

- ・ほこりの多いところ
- ・高温になるところ(推奨温度：15 ℃～25 ℃)
- ・温度差が激しいところ
- ・湿度の高いところ(推奨湿度：40 %～60 %)
- ・湯気や油煙の出るところ
- ・冷暖房機器に近いところ
- ・自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近付けない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

ディスクについて

再生できるディスク

ディスクの種類によって、使える機能が異なります。本書では、ディスクによって使える機能をマークで示しています。

ロゴマーク	名　称	本書内マーク
DVD VIDEO	**DVDビデオ** リージョン番号：「2」または「ALL」	DVD-V
DVD R R4.7	**DVD-R** 当社製DVDビデオレコーダーまたはDVDビデオカメラで録画し、ファイナライズ*1した当社製DVD-Rは“DVDビデオ”として再生できます。	DVD-V
DVD RAM RAM4.7	**DVD-RAM** カートリッジなしタイプ、または取り出し可能カートリッジタイプ(TYPE2、TYPE4) 容量：9.4 GB(両面12 cm) 4.7 GB(片面12 cm) 2.8 GB(両面 8 cm) 記録形式：ビデオレコーディング規格Ver. 1.1	RAM
DVD AUDIO	**DVDオーディオ**	DVD-A
COMPACT disc DIGITAL VIDEO	**ビデオCD***2 スーパービデオCD(SVCD:IEC62107規格に準拠するディスク)を含む。	VCD
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	**CD***2	CD
COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	**CD(CDテキスト)***2 ※CDテキストのみの操作時のマークは CDテキスト になります。	CD
—	**CD(MP3ディスク)***2	MP3
—	**CD(WMAディスク)***2	WMA
—	**CD(JPEGディスク)***2	JPEG

*1 再生対応機器で再生できるように処理すること。
*2 CD-R/CD-RWも含む。
CD-DA、ビデオCD、WMA、MP3、JPEGのいずれかのフォーマットで記録し、記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズした音楽用CD-R/RWが再生できます。
ただし、使用するディスクや記録状態により、再生できないことがあります。

- 左記ロゴマークの入ったものなど、それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。
- 再生できるディスクの映像方式はNTSCです。
- PAL方式で記録されたDVDオーディオの静止画は、NTSCに変換して再生します。映像を縮小して全体を表示しますが、上下に引き伸ばされた画面になることがあります。
- DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCDの中には、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
- 経過時間が表示されないディスクや、メニュー画面を持ったビデオCDの場合、機能が働かない場合があります。
- 使用するディスクや記録状態により、再生できない場合や機能が働かない場合があります。

DVD-RAMディスクについて

- 当社製DVDビデオレコーダーで録画したものが再生できます。
- カートリッジ付ディスクの場合は、ディスクをカートリッジから取出してお使いください。使用後はカートリッジに収納しておいてください。(詳細はディスクに付属の説明書などをご参照ください)
- 番組と番組のつなぎ目部分など、なめらかに再生できない場合があります。

本機はHighMAT(ハイマット)規格に準拠して記録されたディスクのWMA、MP3、JPEG再生に対応しています。

- HighMAT™規格は、音声/画像/動画のファイルをCD-R/RWに記録するときの新しい管理フォーマットです。
(HighMAT™：High(ハイ) performance(パフォーマンス) Media(メディア) Access(アクセス) Technology(テクノロジー))
- 本機では、WMA/MP3の音楽ファイルとJPEGの画像ファイルが記録されたディスクを再生することができます。
- HighMAT™に対応したパソコンソフトでディスクを作成するときは、記録するファイルに曲名やアーティスト名などの情報を付けたり、プレイリストの設定なども合わせて収録することができます。
- 作成されたディスクでは、多彩なメニュー操作により、ファイル選択などを簡単に行うことができます。
- 作成されたディスクは、パソコンと本機と共通で使うことができます。
- HighMAT規格に準拠して記録されたディスクを作るためには、Windows XPがインストールされたパソコンが必要です。

再生できないディスク

- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- PAL方式で記録されたディスク(DVDオーディオは再生できます)
- DVD-RAM(2.6 GB/5.2 GB、TYPE 1)
- DVD-ROM
- +RW
- DVD-RW
- CD-ROM
- CDV
- CD-G
- Photo-CD
- SACD
- Chaoji VCD(超級と呼ばれている市販のSVCD、CVD、DVCDは再生できません)など

使用上のお願い(つづき)

ディスクについて (つづき)

リージョン番号について

リージョン番号とは、発売地域ごとにDVDビデオソフトと再生可能機器に割り当てられた番号です。
本機のリージョン番号は「2」です。
本機は「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」のいずれかが表示されたもののみ再生できます。
例) 2　ALL　1 2 4　…など

ジャケットの各マークについて

- 音声数　2
- 字幕数　2
- アングル数　3

(数字は記録されている数を示します)

- **画面サイズ(横：縦)**

4:3 ：標準
横：縦が4：3のサイズ

LB ：レターボックス
横：縦が4：3で上下に黒帯が入っている画面

16:9 LB ：ワイドサイズ
横：縦が16：9で記録されており、標準サイズ(4：3)のテレビではレターボックスで再生

16:9 PS ：ワイドサイズ
横：縦が16：9で記録されており、標準サイズ(4：3)のテレビではパン＆スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生

- **記録されている音声の種類**

DOLBY DIGITAL　DIGITAL dts SURROUND
本機はドルビーデジタル/DTSの5.1chデコーダーを内蔵していますので、左記のロゴが付いたディスクを2チャンネルで再生できます。

ディスクの構成例

DVD-V

タイトル1			タイトル2	
チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター1	チャプター2

RAM

番組1	番組2	番組3	番組4	番組5

DVD-A / MP3 / WMA

グループ1			グループ2	
トラック1	トラック2	トラック3	トラック1	トラック2

VCD / CD

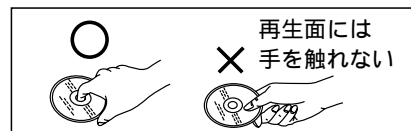
トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5

JPEG

グループ1			グループ2	
ピクチャー1	ピクチャー2	ピクチャー3	ピクチャー1	ピクチャー2

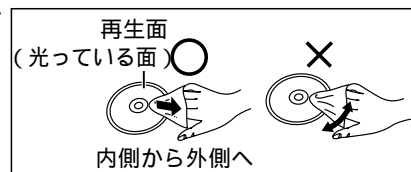
ディスクの取り扱い

■ 持ちかた

○　×　再生面には手を触れない

■ 汚れたとき

DVDビデオ/DVDオーディオ/ビデオCD/CD

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス(別売)(➜76)

再生面(光っている面)　○　×
内側から外側へ

DVD-R/DVD-RAM

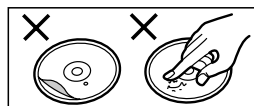
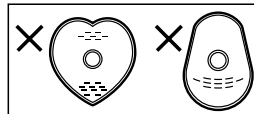
- 必ず専用のDVD-RAM/PDディスククリーナー(別売)(➜76)でふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をお読みください。
- 布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

■ 露が付いたとき

急に暖かい室内に持ちこんだときなど、露が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。DVD-R/DVD-RAMは、専用のDVD-RAM/PDディスククリーナー(別売)(➜76)でふいてください。

■ 取り扱い上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- レーベル面にシール、ラベルをはらない。
(ディスクにそりが発生し、使用できない場合があります)
- 以下のディスクを使わない。
  - ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルディスクなど。
  - ・そりの大きなディスク、割れたりひびの入っているディスク。
  - ・ハート型など、特殊な形状のディスク。（機器の故障の原因となります）
- 鉛筆やボールペンなどで文字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。

ディスクの保管

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

各部の働き

リモコン (本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

リモコン送信部

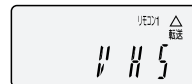
Ⓐ **[VHS/テレビ/DVD]スイッチ**
VHSの操作をするときは**[VHS]**を、DVDの操作をするときは**[DVD]**を、テレビの操作をするときは**[テレビ]**を選んでください。

❶ 電源を切/入する……(➔18,19)
❷ **リモコン表示部**
❸ VHS DVD：VHSとDVDの出力を切り換える……(➔22)
❹ VHS：頭出しする/ DVD：飛びこす……(➔38,46)
❺ VHS DVD：再生や録画(VHSのみ)時の基本操作……(➔22,27,44)
❻ VHS：メニュー画面を表示する……(➔21,22,41)
DVD：ディスクのメニュー画面やプレイリスト一覧画面を表示する……(➔44,54)
❼ VHS：予約録画した番組を探す……(➔36)
DVD：ディスクの最初のメニュー画面やプログラムナビ番組リスト画面を表示する……(➔52,54)
❽ VHS DVD：項目などを選んで確定する…(➔21,41,44,47,56,64)
DVD：コマ送り(戻し)方向や再生速度を切り換える……(➔48,57)
❾ VHS：時刻･テープカウンター･テープ残量を表示する……(➔40)
DVD：GUI画面を表示する……(➔56)
❿ VHS：予約録画時の基本操作……(➔30～35)
⓫ テレビ：テレビの入力を切り換える……(➔19,28)
⓬ VHS テレビ：チャンネルを順に切り換える……(➔18,20,27)
VHS：トラッキングや垂直同期を調整する……(➔26)
⓭ テレビ：音量を調節する……(➔18)
⓮ VHS：再生時の画質を選ぶ/ DVD：少し前の場面に戻る……(➔24,48)
⓯ VHS：かんたん予約再生する/ DVD：再生位置を記憶する……(➔38,46)
⓰ VHS：高速で巻き戻す/ DVD：映像を拡大する……(➔23,60)
⓱ VHS：テープカウンターをリセットする……(➔40)
DVD：1つ前の画面に戻る……(➔44,52,54,56,64)
⓲ VHS：予約内容や不要なチャンネルなどを取り消す…(➔21,34,37)
DVD：再生モードを選ぶ……(➔50)
⓳ VHS：録画モードを選ぶ……(➔27,30,32)
⓴ VHS：Gコード予約する……(➔30)
㉑ テレビ：BS番組のチャンネルを選ぶ……(➔左記)
㉒ VHS テレビ：チャンネルの数字やGコード予約などの番号を入力する……(➔20,27,28,30)
DVD：曲番などの数字を直接入力する……(➔44,47,50,54)
㉓ DVD：入力した数値を取り消す……(➔47)
㉔ VHS：CMをとばして再生･録画する……(➔27,30,32)
DVD：グループを選ぶ……(➔47)
㉕ VHS DVD：音声を切り換える……(➔40,63)
㉖ VHS DVD：映像(画像)に音楽を付ける……(➔70)
㉗ VHS DVD：ワンタッチダビングする……(➔68)
㉘ VHS：リモコンで行った設定などを本体に転送する…(➔20,30,32)
VHS：予約内容を修正する……(➔34)
㉙ このボタンは働きません。
㉚ 各種設定を行う……(➔18,20,33,42,64)

■ふたをひらいたところ

テレビ BSチャンネルの選びかた
[テレビ(BS)]を押したあと、約10秒以内に[5]、[7]、[9]、[11]を押す。
(例：BS 7chの場合、[テレビ(BS)]→[7])

- **[録画●]ボタンなど誤動作や各種設定にかかわるボタンは、誤って押してしまうことを防ぐため、他のボタンよりも凹凸が少なくなっています。**
- 本書では、ボタン名を[再生▶]などで示し、「各部の働き」以外のページでは“ボタン”を省略しています。
- リモコンでのテレビの操作は、テレビメーカー設定(➔18)後に行えるようになります。

VHS/テレビ/DVDスイッチを**[VHS]**、**[テレビ]**、**[DVD]**にすると、操作対象が切り換わるボタンを操作したときに、リモコン表示部に“VHS”、“TV”、“DVD”とそれぞれ表示されます。
例) **[タイマー 切/入◴]**、**チャンネル[∧][∨]など**

リモコン表示部

例)[VHS]を選んだとき

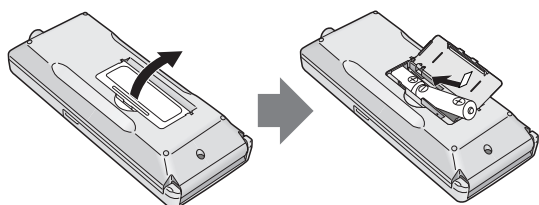
各部の働き(つづき)

リモコン (つづき)

電池の入れかた

ふたを開け、

単4形乾電池(付属)を入れる

● ⊕⊖を確認してください。

● 入れたあとは、ふたを元どおり閉じてください。

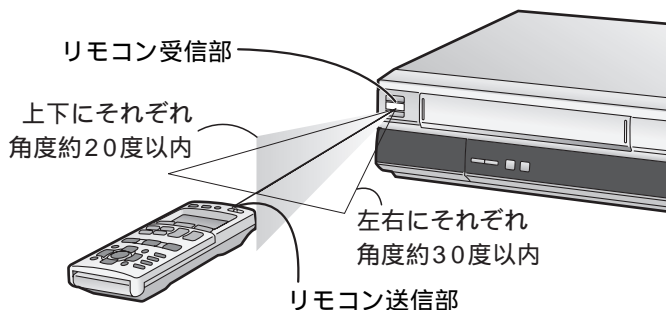
- リモコン表示部が薄暗くなってきたら、電池を交換してください。(使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です)
- 電池交換後、本機やテレビが操作できなくなっているときは、テレビメーカー番号(➜18)、リモコンモード(➜42)を合わせ直してください。
- 充電式電池(ニッケルカドミウム Ni-Cd など)は使わないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 1カ月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

操作のしかた(使用範囲)

リモコン受信部

上下にそれぞれ角度約20度以内

左右にそれぞれ角度約30度以内

リモコン送信部

- 操作できる範囲は正面で約7m以内、角度は左右に約60度、上下に約40度以内です。(ただし、周囲の明るさで変わります)
- 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が短くなることがあります。
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

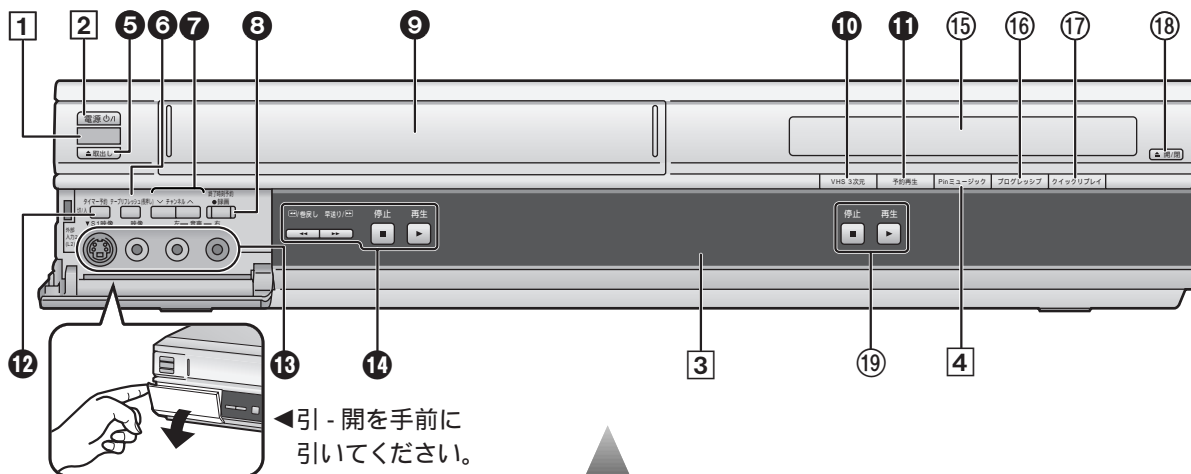
本体

前面

1 2 ❺❻❼ ❽ ❾ ❿ ⓫ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

電源 取出し タイマー予約 テープリフレッシュ(長押し) チャンネル 録画 巻戻し 早送り 停止 再生 VHS 3次元 予約再生 Pinミュージック プログレッシブ クイックリプレイ 開/閉

⓬ ⓭ ⓮ 3 ⑲ 4

◀引ー開を手前に引いてください。

□VHS/DVD共通部

1 リモコン受信部……(➜上記)
2 電源を切/入する……(➜19)
3 本体表示窓……(➜右ページ)
4 映像(画像)に音楽を付ける……(➜70)

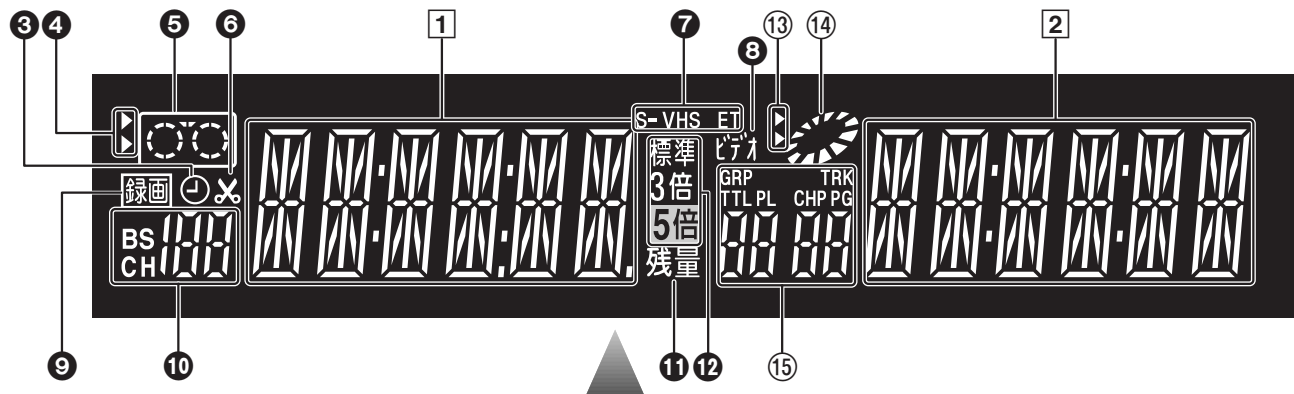
●VHS操作部

❺ カセットを取り出す……(➜22)
❻ テープリフレッシュする……(➜39)
❼ チャンネルを切り換える……(➜27)
❽ 録画する/終了時刻予約録画をする……(➜27,28)
❾ カセット挿入口……(➜22)
❿ デジタル3次元NRを働かせる……(➜25)
⓫ かんたん予約再生する……(➜38)
⓬ 予約録画を切/入する……(➜35)
⓭ 外部入力する……(➜70,72)
⓮ 再生時の基本操作……(➜22)

○DVD操作部

⑮ ディスクトレイ……(➜44)
⑯ プログレッシブ出力を切/入する……(➜45)
⑰ 少し前のシーンに戻る……(➜48)
⑱ ディスクトレイを開閉する……(➜44)
⑲ 再生時の基本操作……(➜44)

本体 (つづき)

本体表示窓

□VHS/DVD共通

1 **メイン表示部**
- 時刻表示
- VHS再生・録画経過時間
- 予約録画開始時間
- 各種メッセージ…など。

2 **メイン表示部**
- 予約録画終了時間
- ディスクの種類

DVD-VR	：DVD-RAM	**MP3**	：MP3ディスク
DVD-A	：DVDオーディオ	**JPEG**	：JPEGディスク
DVD-V	：DVDビデオ	**HMT**	：HighMAT規格に準拠して記録されたディスク
VCD	：ビデオCD		
CD	：音楽CD		
WMA	：WMAディスク	**SVCD**	：スーパービデオCD

- ディスク再生経過時間
- 各種メッセージ…など。

●VHS操作時

❸ ◴ ....(➜35)
- 予約録画の待機中、実行中。

❹ **出力選択が“VHS側”になっているとき**..........(➜22)
- 選んだ直後は約5秒間点滅します。

❺ **カセットが入っているとき**
- カセットが入っていないときに、録画・予約録画などの操作をすると点滅。

動作状態
- 再生や録画など、本機の動作状態を示します。
  テープの進行方向にリング部分が回転します。
  回転速度は、再生や早送りなど、動作によって変わります。

停止の場合　再生の場合　録画の場合

再生の場合 — 回転: 再生中　停止: 一時停止

録画の場合 — 回転: 録画中　停止: 録画一時停止

❻ **CMカット録画時**..........(➜27)

❼ **S-VHS**..........(➜42)
- 「VTRモード設定」の「S-VHS録画」が「入」になっているとき。
- S-VHSで録画中、S-VHSで録画された番組を再生中。

S-VHS ET..........(➜29,42)
- 「VTRモード設定」→「S-VHS ET録画」が「入」になっているとき。
- S-VHS ETで録画中、S-VHS ETで録画された番組を再生中。

❽ **ビデオ**..........(➜42)
- 本体とリモコンのリモコンモードが合っていない状態で操作したときに表示。

❾ **録画中、予約録画中**..........(➜27)

❿ **チャンネル番号**..........(➜27)
- テレビ放送受信中、予約録画操作時の予約チャンネルを表示。

⓫ **残量**..........(➜40)
- テープ残量表示中。

⓬ **録画モード**..........(➜27)

標準：標準モードで録画・再生中。

3倍：3倍モードで録画・再生中。

標準 3倍：ぴったり録画(➜31)で予約した番組の予約録画確認中。

5倍：5倍モードで録画・再生中。

○DVD操作時

⑬ **出力選択が“DVD側”になっているとき**..........(➜22)
- 選んだ直後は約5秒間点滅します。

⑭ **ディスクが入っているとき**

動作状態
- 再生、一時停止など、本機の動作状態を示します。
  ディスクの進行方向にリング部分が回転します。
  回転速度は、再生や早送りなど、動作によって変わります。

回転: 再生中
停止: 一時停止
点滅: 再生していた位置を記憶しているとき

⑮
TTL(タイトル番号)	：DVDビデオ
GRP(グループ番号)	：DVDオーディオ、MP3、WMA
CHP(チャプター番号)	：DVDビデオ
TRK(トラック番号)	：DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CD、MP3、WMA
PG(プログラム番号)	：DVD-RAM
PL(プレイリスト番号)	：DVD-RAM、HighMAT
C(コンテンツ番号)	：HighMAT
G(グループ番号)	：HighMAT

準備 1

接続する

VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する

テレビ(別売)

VHF/UHF
混合アンテナ

❺ ❼ ❸

❾

映像・音声コード
(付属)

S映像
コード
(付属)

75Ω同軸ケーブル
(付属)

電源コード
(付属)

テレビから外した
アンテナ線

または

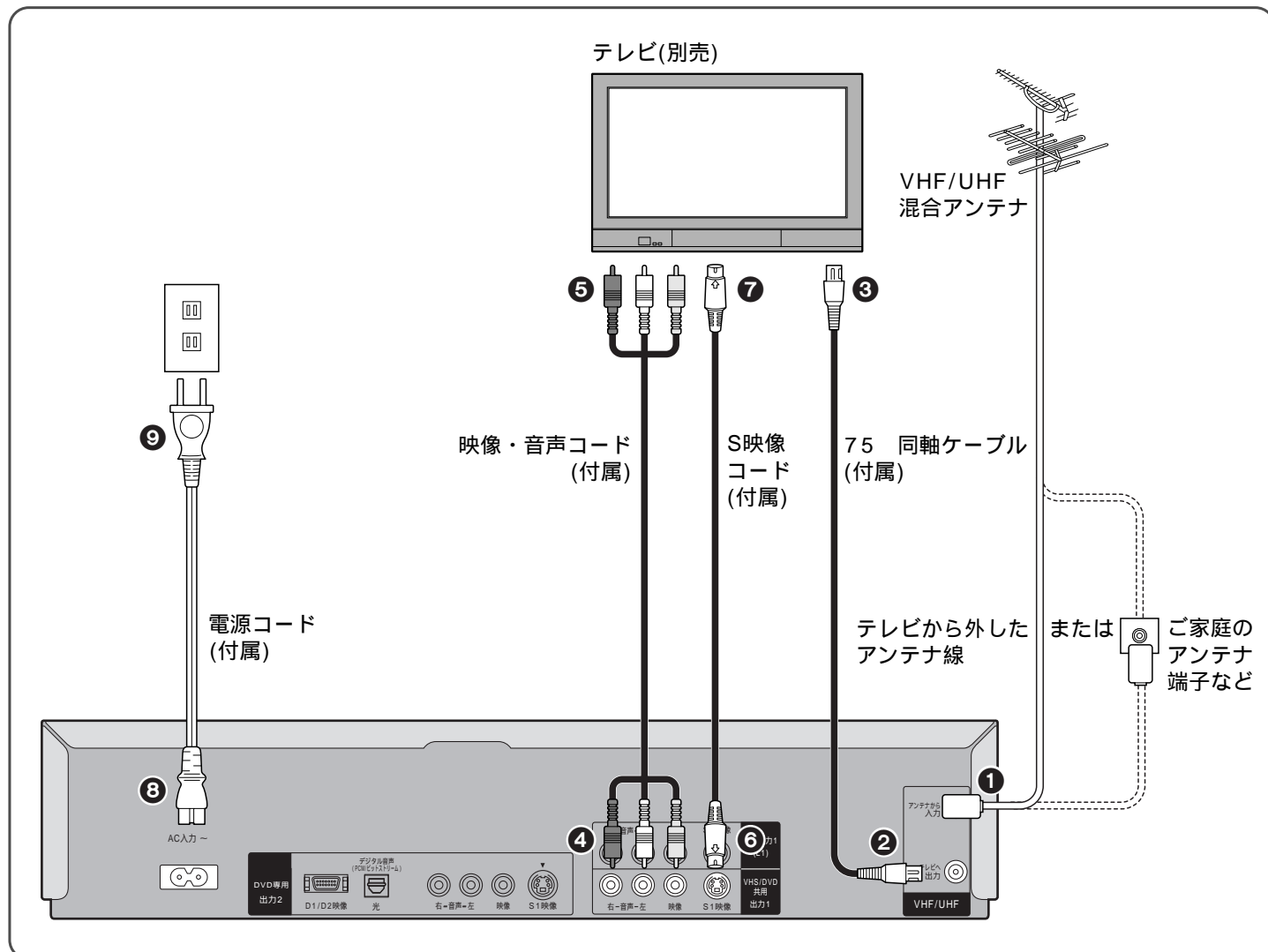
ご家庭の
アンテナ
端子など

❽ ❹ ❻ ❷ ❶

AC入力〜

DVD専用
出力2

D1/D2映像 光 右-音声-左 映像 S1映像

VHS/DVD
共用
出力1

VHF/UHF

準備 ● 各機器の電源を切っておく。(接続は乾いた手で行ってください)

1 テレビから外した
アンテナ線を接続する
(VHF/UHF・アンテナから入力端子❶)

2 75Ω同軸ケーブル(付属)を
接続する
(VHF/UHF・テレビへ出力端子❷〜VHF/UHFアンテナ入力端子❸)

3 映像・音声コード(付属)を
接続する
(VHS/DVD共用・出力1端子❹〜ビデオ入力端子❺)

4 S映像コード(付属)を
接続する
(VHS/DVD共用・出力1端子❻〜ビデオ入力端子❼)

5 電源コード(付属)を
接続する
(AC入力ソケット❽〜ご家庭の電源コンセント❾)

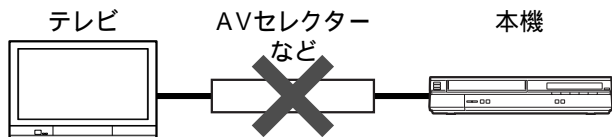
テレビから外したアンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき
- 別売の部品や加工が必要です。
  詳しくは、販売店にご相談ください。

- ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合を説明しています。
- 音声端子が1つしかない(モノラル)テレビをお使いのときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

- テレビにS映像入力端子があるときは、この接続をするとより高画質でお楽しみいただけます。
- S映像入力端子が複数あるテレビ(S1やS1/S2など)に接続したときは、「VTRモード設定」の「ワイドモード」をテレビに合わせて変更してください。(➜42)
  (テレビ側で切り換えが必要な場合もあります)

テレビにビデオ入力(映像・音声)端子がないとき
- 本機と接続することはできません。

- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
  AVセレクターなどを経由させて接続すると、著作権保護の影響により、DVD再生時に映像が乱れることがあります。

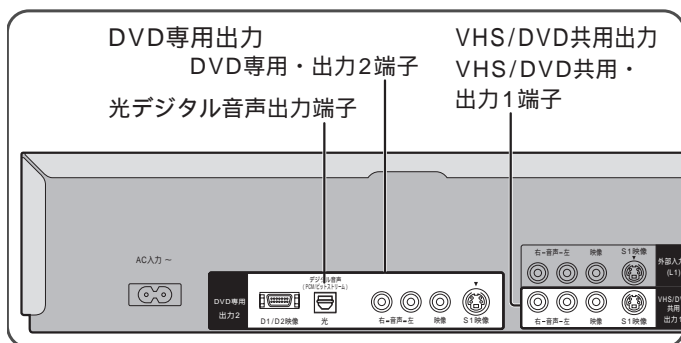
テレビ　AVセレクターなど　本機

DVDの映像をより高画質で楽しむ

- テレビにコンポーネントビデオ入力端子やD映像入力端子があるときは、DVDの映像をより高画質でお楽しみいただけます。(プログレッシブ出力)(➜45)

VHS/DVD共用出力端子とDVD専用出力端子について

VHSとDVDの両方を出力する共用出力端子と、DVDのみを出力する専用出力端子があります。

DVD専用出力
DVD専用・出力2端子
光デジタル音声出力端子

VHS/DVD共用出力
VHS/DVD共用・出力1端子

- VHS/DVD共用・出力1端子は、VHSとDVDの出力を切り換えたり、VHSの出力だけにすることができます。
  (「VTRモード設定」の「共用出力選択」➜41)
- DVD専用・出力2端子は、DVDのみ出力できます。

- 「VTRモード設定」の「共用出力選択」で「自動」(工場出荷時)を選んでいても、操作によっては見たい側の出力にならないことがあります。
  このときは、リモコンの**[VHS/DVD出力切換]**を押して、手動で切り換えてください。

時刻表示を確かめる

1 電源コンセントに接続したあと、本体表示窓の現在時刻が合っているか、確かめる

2 間違っていたら、合わせ直す(➜43)

- 本機は時刻を合わせて工場出荷されています。
  自動バックアップ機能(**➜下記**)で時刻を記憶していますので、通常は時刻合わせする必要はありません。
- ただし、以下のときは時刻を合わせ直してください。**(➜43)**
  ・誤差が2分以上あるとき
  ・時刻表示が"0：00"で点滅しているとき

本体表示窓

自動バックアップ機能について

- 工場出荷時より約5年間は時刻を記憶しています。
- 設定した受信チャンネルや、予約内容も記憶しています。
- 停電に対応しています。
- 2分以内の誤差を自動修正する自動時刻合わせ機能を働かせると、より正確な時刻になります。**(➜43)**

アンプなどと接続する

アンプの光デジタル入力に接続する(デジタル接続)

光デジタルケーブル(別売)

光デジタル入力端子へ
■ **ドルビーデジタル/DTSデコーダー非内蔵のアンプやミニコンポ**
2チャンネルやドルビープロロジックの音声が楽しめます。
■ **デコーダー内蔵アンプまたはデコーダー＋アンプ**
サラウンドサウンドが楽しめます。

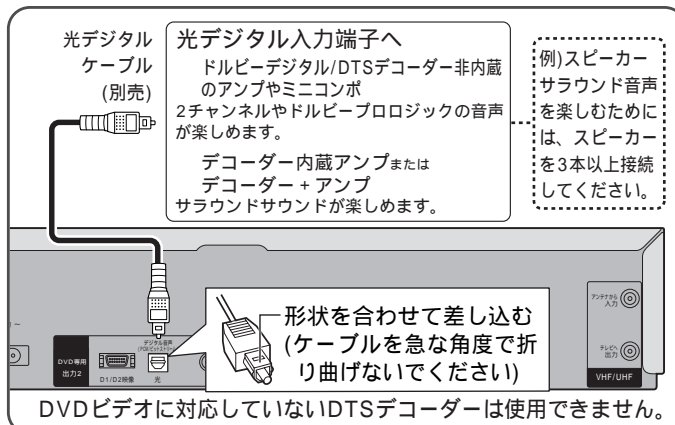
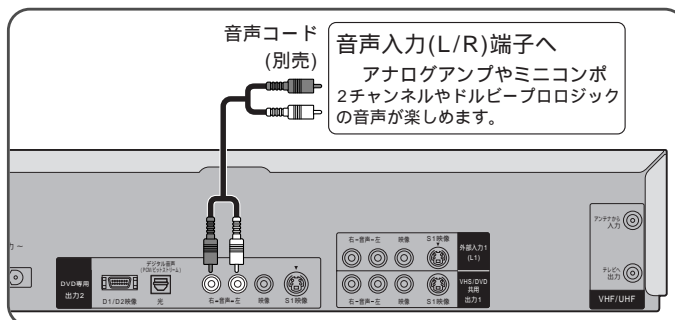
例)スピーカー
サラウンド音声を楽しむためには、スピーカーを3本以上接続してください。

形状を合わせて差し込む(ケーブルを急な角度で折り曲げないでください)

- DVDビデオに対応していないDTSデコーダーは使用できません。

アンプの音声入力に接続する(アナログ接続)

音声コード(別売)

音声入力(L/R)端子へ
■ **アナログアンプやミニコンポ**
2チャンネルやドルビープロロジックの音声が楽しめます。

- 初期設定の「音声」の設定が必要です。**(➜67)**
- 光デジタルケーブル(別売)をお求めになるときは、あらかじめ接続される機器の端子形状をご確認ください。

準備 1 接続する(つづき)

DVDの映像をより高画質で楽しむ (プログレッシブ出力)

テレビにコンポーネントビデオ入力端子またはD映像入力端子があるときは、①または②の接続をすると、DVDの映像をプログレッシブ出力することができます。

- プログレッシブ出力のしかた(➜45)
- プログレッシブ対応テレビ一覧(➜66)

①コンポーネントビデオ入力端子と接続する

コンポーネントビデオ入力端子付テレビ(別売)

コンポーネントビデオ入力端子(Y/CB/CRなど)へ

ビデオ入力(音声)端子へ

D端子ピンケーブル(別売)

音声コード(別売)

AC入力〜

DVD専用出力2

D1/D2映像

デジタル音声(PCM/ビットストリーム)

光

右−音声−左

映像

S1映像

②D映像入力端子と接続する

D映像入力端子付テレビ(別売)

D映像入力端子へ

ビデオ入力(音声)端子へ

D端子ケーブル(別売)

音声コード(別売)

AC入力〜

DVD専用出力2

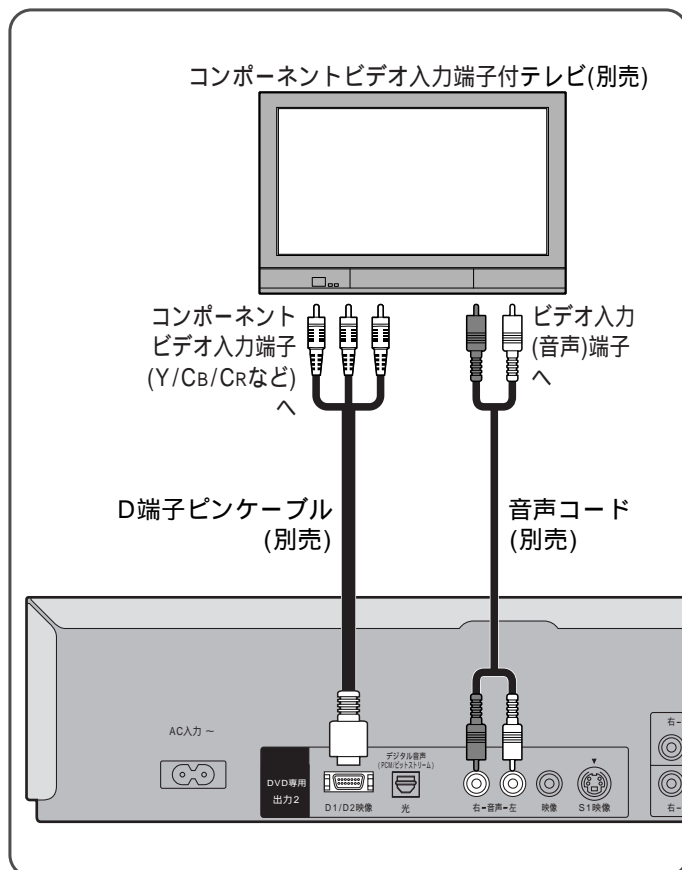
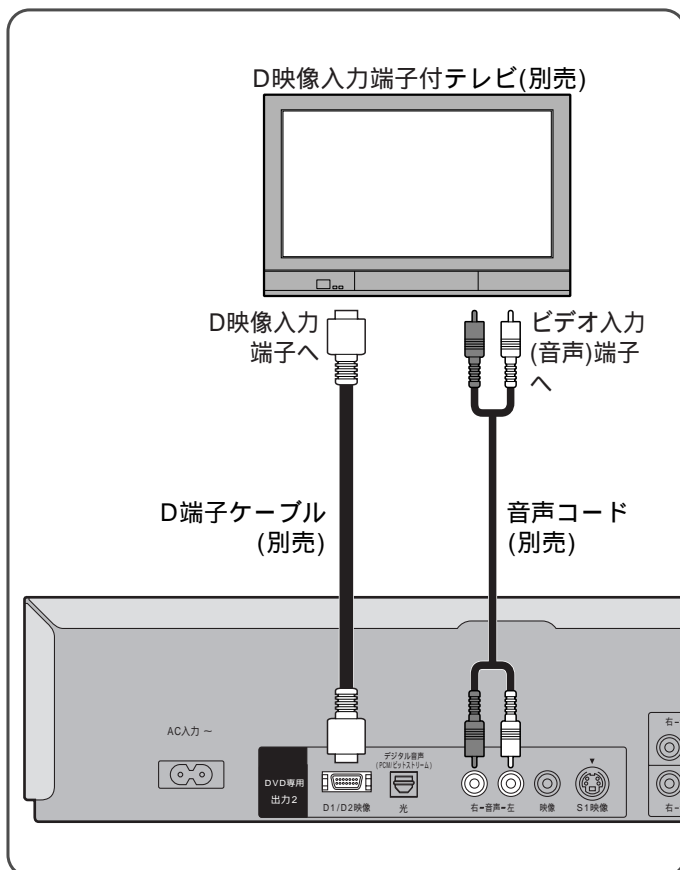
D1/D2映像

デジタル音声(PCM/ビットストリーム)

光

右−音声−左

映像

S1映像

■テレビにコンポーネントビデオ入力端子があるとき(DVD専用出力)

① D端子ピンケーブル(別売)と音声コード(別売)を接続する

- D端子ピンケーブルだけでは音声は出ません。必ず音声コードも接続してください。

■テレビにD映像入力端子があるとき(DVD専用出力)

② D端子ケーブル(別売)と音声コード(別売)を接続する

- D端子ケーブルだけでは音声は出ません。必ず音声コードも接続してください。

- コンポーネントビデオ入力端子の表示が上図と異なるとき(Y/CB/CRや、Y/B-Y/R-Yなど)は、同じ色の端子どうしを接続してください。
- 映像が乱れたり、映らないことがありますので、テレビが以下のような端子のときは接続しないでください。
  - ・DVDに対応していないハイビジョン方式専用の端子
  - ・DVDのマクロビジョン社のコピーガードシステムに対応していない525P端子
  - ・ビデオカセットレコーダーのビデオ入力端子

- テレビがD1映像入力のみ対応している端子のときは、プログレッシブ出力で映像を楽しむことはできません。(インターレース映像のみの出力となります)

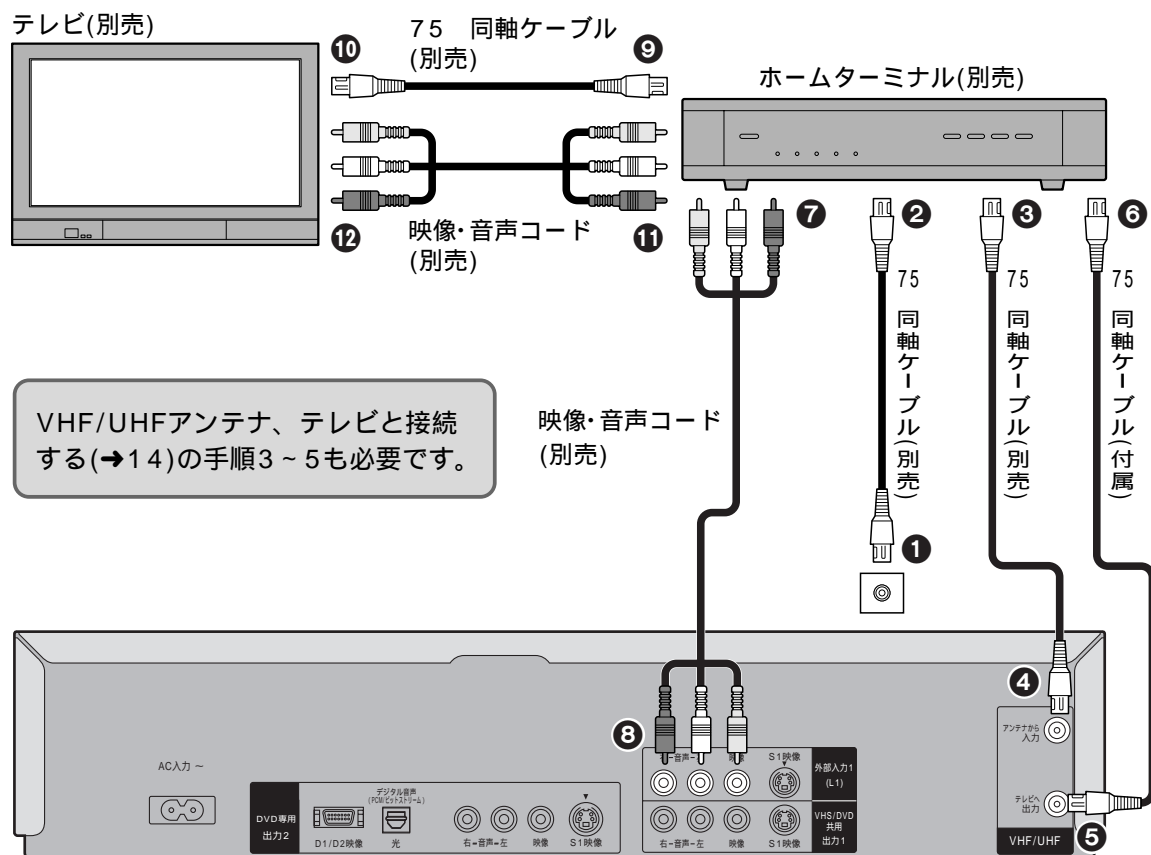
①〜②の接続はDVD再生専用です。

これだけではVHSの映像は映りません。
必ず14ページの接続も行ってください。

- また、この接続をした場合、VHSとDVDそれぞれの映像をご覧いただくには、テレビ側で接続した入力に切り換えてください。

CATVホームターミナル、テレビと接続する

テレビ(別売)
75Ω同軸ケーブル(別売)
ホームターミナル(別売)
映像·音声コード(別売)
75Ω同軸ケーブル(別売)
75Ω同軸ケーブル(別売)
75Ω同軸ケーブル(付属)
映像·音声コード(別売)

VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する(➜14)の手順3～5も必要です。

準備 ● 各機器の電源を切っておく。(接続は乾いた手で行ってください)

1 75Ω同軸ケーブル(別売)を 接続する

(ご家庭のケーブルテレビ端子❶～ケーブル入力端子❷)

2 75Ω同軸ケーブル(別売)を 接続する

(ケーブル出力[VTRへ]端子❸～VHF/UHF･アンテナから入力端子❹)

3 75Ω同軸ケーブル(付属)を 接続する

(VHF/UHF･テレビへ出力端子❺～ビデオRF入力[VTR出力から]端子❻)

4 映像・音声コード(別売)を 接続する

(映像・音声出力[VTR]端子❼～外部入力1(L1)端子❽)

5 75Ω同軸ケーブル(別売)を 接続する

(RF出力[TV入力へ]端子❾～VHF/UHFアンテナ入力端子❿)

6 映像・音声コード(別売)を 接続する

(映像・音声出力[TV]端子⓫～ビデオ入力端子⓬)

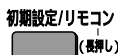
- CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
- CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれます。
- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を見たり録画したりするには、専用のホームターミナル(アダプター)(別売)が必要です。
- CATV放送の受信は、サービスエリア内のみ可能です。
  詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- マニュアルチャンネル設定を正しく行ってください。**(➜21)**
  特に、各チャンネルのガイドチャンネルを設定しておかないと、Gコード予約ができません。
- ホームターミナルやCATV専用のチューナーなどを本機のリモコンで操作することはできません。

準備 2 設定する

テレビを操作できるようにする (テレビメーカー設定/今すぐ再生)

本機のリモコンでテレビの操作ができるようにします。
- また、リモコンの**[再生▶]**または**[プログラムナビ]**を押すと、テレビの入力が自動的に「ビデオ1」になる**「今すぐ再生」機能**を働かせることができます。

準備 ● テレビの電源を入れる。

1 テレビ VHS DVD
[テレビ]にする

2 初期設定/リモコン (長押し)
押し続けて
☎マークを出し、
さらに
2回押す

リモコン表示部 oFF TV 1

3 + 終了 4 −
メーカー番号を合わせる
数回押す

oFF TV 1

- テレビに向けて操作します。
- メーカー番号が合うと、テレビの電源が切れます。
- 複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。
- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	❶ ❿ ㉒ ㉓	パイオニア	⓭
アイワ	⑱	ビクター	⓮
NEC	❻ ⓯	日立	❺ ⑳
三洋	⑦ ⑯	富士通ゼネラル	⑨
シャープ	② ⑪ ㉑	フナイ	⑲
ソニー	❸ ⓱	三菱	⑧ ⓬
東芝	❹		

さらにお好みで…

■「今すぐ再生」機能(→右記)を働かせたい

+ チャンネル 2 −
“ On 1 ”または“ On 2 ”
表示を出す
数回押す

On1 TV 1

On 1：VHS側・DVD側の両方とも、リモコンの**[再生▶]**または**[プログラムナビ]**を押したときにテレビの入力を自動的に「ビデオ1」にしたいとき。
On 2：VHS側のみ、リモコンの**[再生▶]**または**[プログラムナビ]**を押したときにテレビの入力を自動的に「ビデオ1」にしたいとき。
OFF：「今すぐ再生」機能を働かせないとき。

- 番号を ②⑦⑧⑨⑪⑯⑱⑲㉑ に設定した方は働きません。

「今すぐ再生」機能について
- テレビ側の入力を手動で「ビデオ1」に切り換えなくても、自動的に「ビデオ1」にする機能です。(テレビの入力を「ビデオ1」にする信号も同時に出すようになります)
  このため、本機後面のVHS/DVD共用・出力1端子に接続した映像・音声コードは、必ずテレビの「ビデオ1」端子に接続してください。
- すでにテレビの「ビデオ1」端子を他の接続でお使いのときは、「今すぐ再生」機能を働かせないでください。(“ OFF ”を表示させる)
- 本機とテレビが離れて設置されていると、正常に働かないことがあります。
- **[再生▶]**や**[プログラムナビ]**を押すごとに、“ ビデオ1 ”などの表示が出たり、画面が一瞬黒くなったりすることがあります。
  この現象が気になるときは、「今すぐ再生」機能を解除してください。

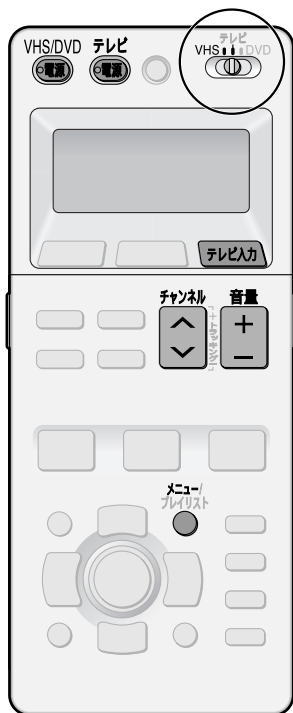
4
リモコンのふたを
閉じる

5 テレビ 電源　チャンネル　音量
正しく操作できるか
確かめる
- テレビの電源を入れ、チャンネルを切り換えたり音量を調節してみてください。

- リモコンの電池が完全に消耗し、長期間放置したままになっていると、設定はすべて消えます。

テレビに本機の画面を出す

テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
VHSやDVDの映像を見るときも、下記の操作を行ってください。

■ふたをひらいたところ

1 **[テレビ]にする**

2 テレビの入力をビデオ入力にする
数回押す

テレビ入力

ビデオ1

● 例えば、テレビのビデオ1端子に接続しているときは、**「ビデオ1」**にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。

3 **[VHS]にする**

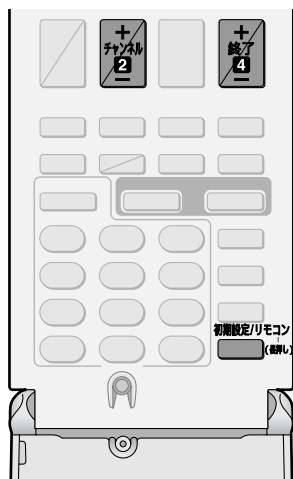
4 電源を入れる
押す

VHS/DVD 電源

5 本機の画面が映っているか確かめる
押す

メニュー/プレイリスト

メニュー
▶ VTRモード設定
▶ CH 設定
▶ 時刻 設定
▶ 電力 モード
▶ プログラムナビ設定

● 図のようなメニュー画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。
● または録画済みのカセットを再生してみてください。

● DVDの映像を見るときは、**VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[DVD]**にします。

準備 2 設定する(つづき)

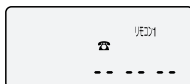
市外局番でチャンネルを合わせる (市外局番入力チャンネル設定)

お使いになる地域の市外局番を使って、受信チャンネルを設定します。

準備
- アンテナが正しく接続されているか確かめる。
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

1 初期設定/リモコン(長押し)

☎マークが出るまで
押し続ける

リモコン表示部: リモコン1 ☎ -- -- --

2 1 〜 10/0

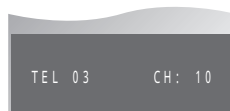
お住まいの都市またはその都市に近い市外局番を入力する(市外局番入力チャンネル設定一覧表：➜78)
押す

リモコン1 ☎ 転送 03 -- --

- 市外局番に変更があったときでも、一覧表の番号を入力してください。
- 間違えたときはリモコンのふたを一度閉じ、最初からやり直してください。

3 転送 5 (修正(長押し))

押す

テレビ画面: TEL 03 CH: 10

- オートサーチが始まります。(約1分間)

4 チャンネル ⌃⌄ (+トラッキング−) または 1 〜 12 (≧10)

オートサーチが終わったら、すべてきれいに受信できているか、チャンネルを切り換えて確かめる
数回押す

- [1]〜[12]は、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜78)にあるチャンネルポジション1〜12の放送局を直接選ぶことができます。

- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション13〜20(愛媛県は14〜20)に追加登録されます。
- 設定される各放送局の受信・表示・ガイドチャンネル一覧については、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜78)をご覧ください。

最初から設定し直したいとき

- 上記手順2で、[10/0]を6回押し、「000000」と入力して転送すると、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。
- ガイドチャンネルはすべてのチャンネルで設定されていませんので、このままではGコード予約はできません。

リモコン1 ☎ 転送 00 00 00

同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されているとき

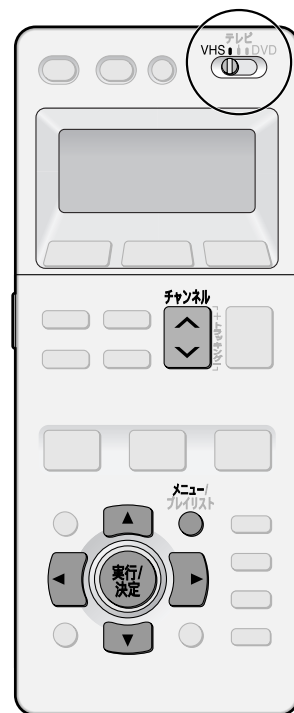
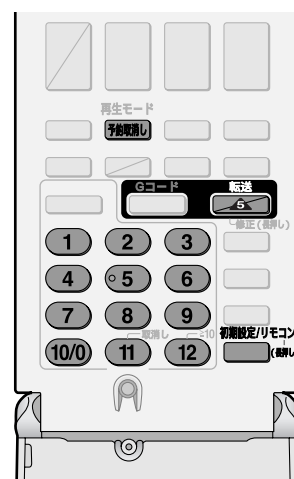
- 必ず映りの悪い方のチャンネルを削除してください。(➜右ページ)

受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき

- マニュアルチャンネル設定(➜右ページ)で、必要な設定を行ってください。

テレビ VHS DVD
チャンネル +トラッキング−
メニュー/プレイリスト
実行/決定

■ふたをひらいたところ

再生モード 予約取消し Gコード 転送 5 修正(長押し)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12 取消し ≧10 初期設定/リモコン (長押し)

自分でチャンネルを合わせる (マニュアルチャンネル設定)

市外局番入力チャンネル設定で正しく設定されなかったときや、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、ガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作します。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

VHF/UHF、CATVチャンネルの設定

1 メニュー/プレイリスト **押す**

テレビ画面: メニュー ▶ VTRモード設定 / CH設定 / 時刻設定

2 [▼]で「CH設定」を選び、**[実行/決定]を押す**

PO CH 表示 ガイドCH / 1 1 1 -- / 選択:◀▶ 設定:▲▼ 終了[メニュー]

3 [◀]で「PO」を選び、放送局を登録させたい位置(チャンネルポジション)を選ぶ
[▲][▼]を数回押す

PO:チャンネルポジション

- [▲]を押すごとに、下記のように変わります。([▼]を押すと逆方向)
  - **VHF/UHFチャンネル**(PO)
  - ↓
  - **CATVチャンネル**(CH)
  - ↓
  - **外部入力チャンネル**(入力)
  - ↓
  - **拡張チャンネル**(PO)
- 拡張チャンネルは、将来のシステムに対応するもので、現在は使えません。

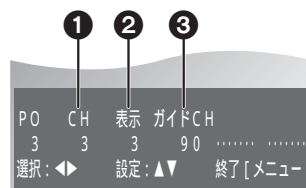
不要なチャンネルを削除するときは
削除したい放送局が入っているチャンネルポジションを選んで、**[予約取消し]**を押す。

映りの悪いチャンネルを微調整するときは
1. 微調整したい放送局が入っているチャンネルポジションを選ぶ。
2. [◀][▶]で"微調整バー"を点滅させ、[▲][▼]のどちらかを数回押す。
   - 色が付いていないとき…[▲]
   - しま模様が出るとき……[▼]
   (" ❚❚ "にすると、元の状態に戻ります)
   - 受信状態によっては、調整しきれないことがあります。

PO CH 表示 ガイドCH / 7 42 42 42 / 選択:◀▶ 設定:▲▼ 終了[メニュー]
微調整バー

4 [▶]で各項目を選び、設定する
[▲][▼]を押す
- 押し続けると10ずつ変わります。

PO CH 表示 ガイドCH / 3 3 3 90 / 選択:◀▶ 設定:▲▼ 終了[メニュー]

例)東京でチャンネルポジション「3」にNHK教育テレビを登録する

❶「CH」…希望の放送局が映るようにする
【例では「3」に合わせる】
放送局から実際の電波を受信します。
新聞・雑誌などに載っているチャンネルとは違う数字になる地域もあります。

CATVのときは
[▲][▼]のどちらかを押して表示を出す。
例) " C–– "→" C13 "
- " C–– "になっていると受信できません。

❷「表示」…受信した放送局の表示を決める(チャンネル番号)
【例では「3」に合わせる】
決めた数字は、本体表示窓やテレビ画面に表示され、フリーセット予約を行うときもこの数字でチャンネルを合わせます。
新聞・雑誌などに載っているチャンネル数字にしておくと選びやすくなります。実際の受信チャンネルとは違う数字になる地域もあります。

❸「ガイドCH」…Gコード予約ができるようにする
【例では「90」に合わせる】
ガイドチャンネルは各放送局ごとに決まっています。市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜78)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせてください。合わせていないとGコード予約できません。

- CATVによっては、BS放送をVHF/UHFチャンネルに置き換えて放送しているところがあります。このときは、Gコード予約するためのガイドチャンネルを以下の表のとおり合わせてください。

放送局名	受信チャンネル	ガイドチャンネル
	BS 1	71
	BS 3	72
WOWOW	BS 5	73
NHK衛星第1	BS 7	74
ハイビジョン放送	BS 9	75
NHK衛星第2	BS11	76
	BS13	77
	BS15	78

実行/決定 このあと、**[実行/決定]**を押すと、次のチャンネルポジションに進み、次の放送局の登録ができます。

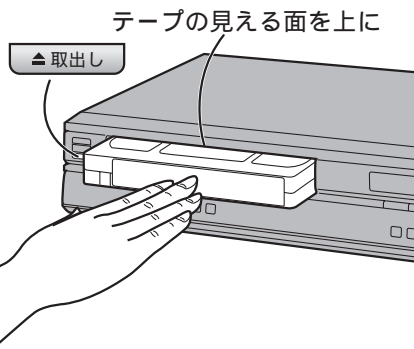
5 メニュー/プレイリスト **押す**

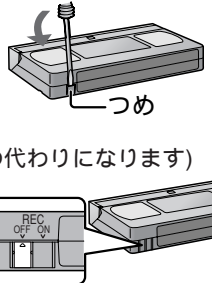
VHSの再生

カセットを入れる

テープが見える面を上にして、
ゆっくり入れる
● 自動的に電源が入ります。

テープの見える面を上に
⏏取出し

■取り出す
【本体】[⏏取出し(ビデオカセット)]
を押す。
■リモコンで取り出す
[停止■]を約3秒以上押す。

録画済みの番組を誤って消さないために
● 誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
● 再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)
● 誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて“OFF”にしてください。
“ON”に戻すと、再び録画できます。
カセットの説明書もよくお読みください。

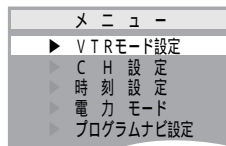
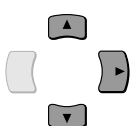
つめ
REC OFF ON

再生する前に

VHS、DVDの映像を見たい側に切り換える

本機は、VHSとDVDの両方を再生できます。
再生を始めた側の出力に自動的に切り換わるようにすることができます。

準備
● テレビに本機の画面を出す。**(➜19)**
● **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[VHS]**にする。

1 メニュー/プレイリスト **押す**

テレビ画面
メニュー
▶ VTRモード設定
CH設定
時刻設定
電力モード
プログラムナビ設定

2 実行/決定
「VTRモード設定」が選ばれている状態で、
押す

3
「共用出力選択」を選ぶ
[▲][▼]を押す
「自動」を選ぶ
[▶]を押す
● 工場出荷時は、「自動」にしていますので、通常はこのままお使いください。

VTRモード設定 1/2
テープ長さ [−120] −160 180
オンスクリーン 切 [自動]
リモコンモード [1] 2 3
▶共用出力選択 VTR 手動 [自動]
ワイドモード 切 [S 1]
S−VHS録画 切 [入]
S−VHS ET録画 [切] 入

4 メニュー/プレイリスト **押す**

VHS/DVD共用・出力1端子(本機後面)とテレビを接続したとき

■「自動」(工場出荷時)にしておくと
● 操作や本機の動作に応じて自動的にVHSとDVDの映像が切り換わります。
● **[VHS/DVD出力切換]**を押して切り換えることもできます。

本体表示窓
VHS側が選ばれているとき
DVD側が選ばれているとき

■「手動」にしたとき
VHS/DVD出力切換
見たい側の映像でないときは
押す
● 押すごとに映像がVHS側⟷DVD側に切り換わります。
自動では切り換わりませんので、押して見たい側の映像に切り換えてください。

■「VTR」にしたとき
● VHSのみの出力になります。
● **[VHS/DVD出力切換]**を押しても、DVDの映像を見ることはできません。

● 「自動」を選んでいても、操作によっては見たい側の出力にならないことがあります。このときは、リモコンの**[VHS/DVD出力切換]**を押して、手動で切り換えてください。

再生する

準備
● 録画済みのカセットを入れる。**(➜上記)**
● テレビに本機の画面を出す。**(➜19)**
● **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[VHS]**にする。

1 再生 ▶ **押す**

再生をやめる
[停止■]を押す。

再生する (つづき)

早送り(巻き戻し)する

1 巻戻し 早送り サーチ/スロー

停止中に、
押す

■高速で巻き戻しする(高速リターン)

ズーム 高速リターン

押す
- テープカウンター表示は出ません。

- 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが" OFF "になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
- カセットが入っているときは、電源が切れていても、**[再生▶]**を押すだけで再生を始めます。
- テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。
- 5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
  また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
  このときは、手動でトラッキングを調整してください。(➜26)
- 早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。
  また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
- デジタル(D-VHS)方式で録画されたD VHSカセットは再生できません。

高速リターンについて
- 始端まで巻き戻すと、テープカウンターは" 0：00．00 "になります。
- 途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。

いろいろな再生

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[VHS]**にする。

早送り(巻き戻し)しながら見る

1 巻戻し 早送り サーチ/スロー

再生中に、
押し続ける
- 指を離すと通常再生に戻ります。

または

巻戻し 早送り サーチ/スロー

再生中に、
短く押す

さらに、速度を切り換えたいときは
同じ方向のボタンをもう一度
短く押す
- 押すごとに、
  標準のとき： 約 9倍速⟷約13倍速
  3倍・5倍のとき：約27倍速⟷約43倍速
  と変わります。

■通常再生に戻す
[再生▶]を押す。

- 音声は出ません。
- 13倍速(43倍速)にすると映像が乱れることがあります。
- 5倍モードで録画された部分は、43倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
- 約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。

VHSの再生(つづき)

いろいろな再生 (つづき)

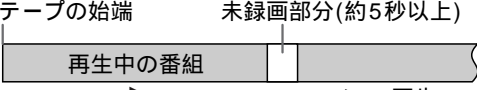
準備
● テレビに本機の画面を出す。(➜19)
● VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

静止画・スローで見る

1

■静止画再生
一時停止/スロー
再生中に、
短く押す

■スロー再生
一時停止/スロー
再生中に、
約2秒以上押し続ける

● 音声は出ません。
● 5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
● 静止画再生を約5分以上、スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

■通常再生に戻す
[再生▶]を押す。
● 静止画再生のときは、もう一度[一時停止/スローⅡ/Ⅰ▶]を押しても、通常再生に戻ります。

番組を繰り返し見る(自動巻戻し再生)

同じ番組を繰り返して見ることができます。

1

再生
再生中に、
5秒以上押す

テレビ画面
自動巻戻し再生▶
0:12:34 標準

● この機能は解除するまで働き続けます。

● 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。(未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されてしまいます)

テープの始端　未録画部分(約5秒以上)
再生中の番組
▶ :再生
◀◀:巻き戻し

● 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。
● テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

■解除する
もう一度、[再生▶]を押す。
● 停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。

CMを早送りして見る(自動CM早送り再生)

CMを自動的に早送りして再生できます。

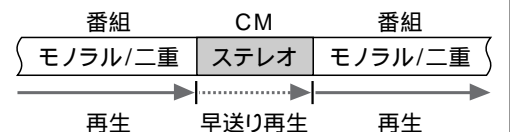
1

グループ
CM
再生前または再生中に、
押す

自動CM早送り 入

● CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

● 番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
(CMの前後が少し切れた状態で再生されます)

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	早送り再生	再生

● 次のようなときは正しく働きません。
・番組がステレオ放送のとき
(CMも通常どおり再生されます)
・CMがモノラル放送または二重放送のとき
・CM以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
・外部入力録画したカセットを再生するとき

■解除する
[CM]を押し、“ 自動CM早送り 切 ”を表示させる。
● 電源を切っても解除されます。

画質を変えて見る

通常の再生画質以外に、2種類の画質に切り換えることができます。
レンタルソフトなどを見るときに、用途に合わせて切り換えてください。

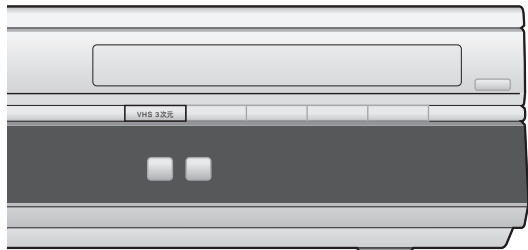
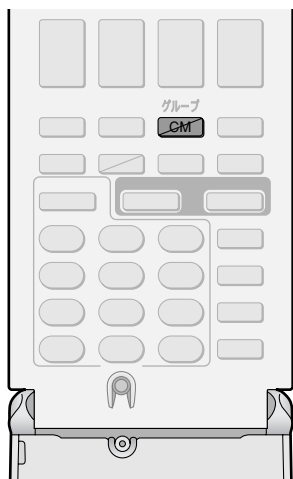
1

クイックリプレイ
レンタル
再生中に、
数回押す

ダイナミック

● 好みの画質を選んでください。

● 再生中の画質を変えるための機能ですので、それ以外では働きません。

画質の種類
● **スタンダード(工場出荷時)**
通常の画質です。
● **ダイナミック**
輪郭をすっきりさせ、メリハリのある映像が楽しめます。
● **ソフト**
通常の画質よりもソフトな映像にします。

ノイズをおさえて見る

準備
● テレビに本機の画面を出す。(➜19)
● VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

デジタル3次元NRを働かせる

ワイドテレビや大画面テレビで見るときに、より高画質で映像をお楽しみいただけます。

1 VHS 3次元 **押す**

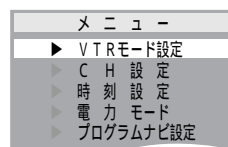
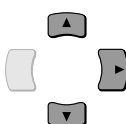
【本体】

● 押すごとに、" 3次元DNR 入 "⟷" 3次元DNR 切 "と変わります。
● 工場出荷時は、" 3次元DNR 入 "にしていますので、通常はこのままお使いください。

デジタル3次元NR(ノイズ・リダクション)について
● テープの映像信号に混入している輝度ノイズ(ちらつき・ざらつき)や色ノイズ(色にじみ・ざわつき)を取り除き、よりくっきりとしたきれいな映像で再生することができます。
● 外部入力録画(➜72)などで本機を再生機として使うときは、かえって画質が劣化することがありますので、[VHS 3次元]を押し、" 3次元DNR 切 "にしてください。

デジタルTBCを働かせる

繰り返し録画したカセットや、ビデオカメラで撮影したカセットの細かいゆれやゆがみをおさえてくれます。

1 メニュー/プレイリスト **押す**

2 実行/決定 「VTRモード設定」が選ばれている状態で、**押す**

3 「TBC」(2/2面)を選ぶ
[▲][▼]を押す
「入」を選ぶ
[▶]を押す
● 工場出荷時は、「入」にしていますので、通常はこのままお使いください。

4 メニュー/プレイリスト **押す**

デジタルTBC(タイム・ベース・コレクター)について
● テープが変形(伸びているなど)しているカセットの再生時や、録画・再生時にテープの走行が不安定になったときなどは、「入」にしておくとゆれやゆがみの少ない安定した映像で再生することができます。
● お使いになるカセットによっては、「入」にして再生すると、映像が乱れることがあります。このときは「切」にしてください。

■ふたをひらいたところ

VHSの再生(つづき)

きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るときは、次の3つの要素が考えられます。

①トラッキングがずれている
(白い帯状のノイズが出るときなど)

②ビデオヘッドが汚れている
(画面全体にノイズが出るときなど)

③テープがいたんでいる
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となるおそれがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

テレビ画面

①トラッキングを調整する

通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別のビデオで録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

1

チャンネル ［＋トラッキング－］

再生中に、

どちらかを押し続ける

- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- 2つ同時に押すと、自動調整に戻ります。

- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
- 本体の**チャンネル[∨][∧]**でも調整できます。

②ビデオヘッドをクリーニングする

再生中、本体表示窓に“ U11 ”が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。
またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。

本体表示窓 U11

テレビ画面 ヘッドをクリーニングしてください

1

録画

乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)を入れ、

約10秒間録画する

- 約10秒後に**[停止■]**を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。

- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるとき

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

1

チャンネル ［＋トラッキング－］

静止画再生中に、

どちらかを押し続ける

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- 2つ同時に押すと、元の状態に戻ります。

- 本体の**チャンネル[∨][∧]**でも調整できます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)
- デジタルTBCが働いている(“ TBC 入 ”になっている)と働きません。

録画する

VHS

テレビ番組を録画する

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜22)

1 チャンネル 1〜12 チャンネルを選ぶ **押す** 本体表示窓 CH 4

2 標準/3倍/5倍 録画モードを選ぶ **数回押す** 3倍

標準：カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍：標準に対して3倍の録画ができます。
5倍：標準に対して5倍の録画ができます。

3 録画 **押す**

さらに録画中に…

■一時停止したい

一時停止/スロー **押す**
- もう一度押すと録画を続けます。[録画●]を押しても再開できます。
- 本体表示窓は、[一時停止/スローII/I▸]を押した時点の状態で停止します。動作状態を示すリング部分は、一部が欠けた状態になっています。

■CMをとばして録画したい(CMカット録画)

グループ CM “ ✂ ”を表示させる **押す**
- CM中に押したときは、そのCMの間はとばすことができません。

■録画をやめる
[停止■]を押す。

- 録画中にチャンネルを変えることはできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止を5分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。

CMカット録画について
番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。(CMの前後が少し切れた状態で録画されます)

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
録画	録画の一時停止	録画

- 次のようなときは、正しく働きません。
・番組がステレオ放送のとき
・CMがモノラル放送または二重放送のとき
(このようなときは、次のCMからはCMカットは働きません)
・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
・外部入力チャンネルを録画するとき

CMカットを解除する
もう一度、[CM]を押す。
- “ ✂ ”が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

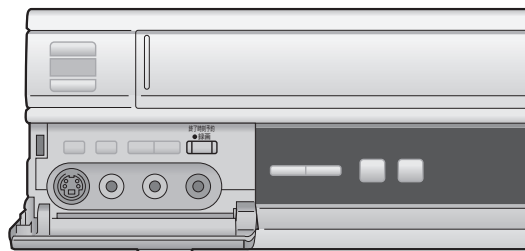
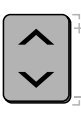
■ふたをひらいたところ

5倍モードについて
- 録画を始めたあとの約8秒間、本体表示窓の“ 5倍 ”が点滅します。
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。
カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- より高画質で録画・再生するときは、S-VHSカセットを使ってS-VHS方式で録画してください。
- S-VHS ETで録画することはできません。
「VTRモード設定」の「S-VHS ET録画」を「入」にしても働きません。(➜42)
- 他のビデオで再生したり保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。

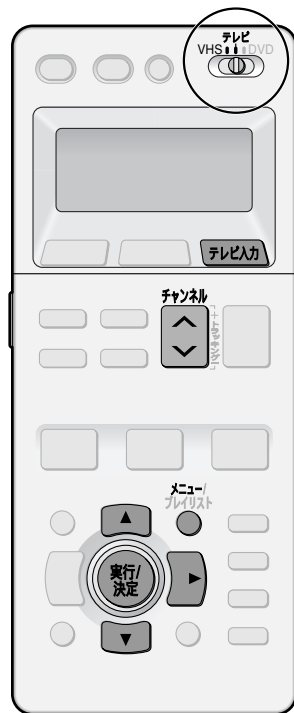
録画する(つづき)

録画中にDVDを再生する

VHSの録画中に、DVDの再生をお楽しみいただけます。(➔44)

- 録画に影響はありません。

録画中にテレビで別番組を見る

録画中に、テレビで別のチャンネルの番組を見ることができます。

- 録画に影響はありません。
- 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

1 録画中に、
[テレビ]にする

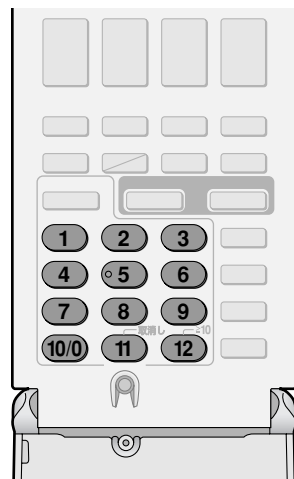
2 テレビが受信しているチャンネルに切り換える
数回押す

3 見たいチャンネルを選ぶ
押す

■ふたをひらいたところ

終了時刻だけを予約して録画する
(終了時刻予約録画)

指定した時刻になると、自動的に録画をやめ電源を切ります。

- 急なお出かけの際や、おやすみになる前などに、簡単な予約録画としてお使いください。

1 録画中に、
押す

【本体】

- 本体表示窓に現在時刻と録画終了時刻“ ーー：ーー ”が表示されます。

2 **続けて数回押す**

- 30分単位で録画終了時刻が変わります。
- 最大2時間先まで予約できます。
- 本体表示窓は右図のように変わります。

- リモコンの[**録画●**]では働きません。
- 予約録画(Gコード予約やフリーセット予約)中は働きません。

■解除する

本体の[**●録画/終了時刻予約**]を数回押し、録画終了時刻を“ ーー：ーー ”にする。

- 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。

より高画質で録画する

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

VHSカセットにS-VHSの画質で録画する

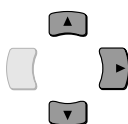
VHSカセットにS-VHSの画質で録画できます。

- 下記の操作をしてVHSカセットを入れると、本体表示窓に“ S-VHS ET ”が点灯し、S-VHS ET録画できるようになります。
  また、S-VHS ET録画された番組の再生中にも点灯します。

1 メニュー/プレイリスト **押す**

テレビ画面

メニュー
▶ VTRモード設定
C H 設 定
時 刻 設 定
電 力 モード
プログラムナビ設定

2 実行/決定 「VTRモード設定」が選ばれている状態で、**押す**

3 「S-VHS ET録画」を選ぶ **[▲][▼]を押す**

「入」を選ぶ **[▶]を押す**

VTRモード設定 1/2
テープ長さ [−120] [−160] [180]
オンスクリーン [切] [自動]
リモコンモード [1] [2] [3]
共用出力選択 VTR 手動 [自動]
ワイドモード [切] [S 1]
S−VHS録画 [切] [入]
▶S−VHS ET録画 切 [入]

4 メニュー/プレイリスト **押す**

S-VHS ETとは

- Super VHS Expansion Technology(スーパーブイエッチエスエクスパンション テクノロジー)の略です。
- S-VHS ET録画したカセットは、ラベルに「S-VHS ET」と記入するなどして区別されることをおすすめします。
- S-VHS ET録画したVHSカセットは下記のビデオでも再生できます。
  ・S-VHSビデオ
  ・SQPB(S-VHS簡易再生)機能付きVHSビデオ(機種によっては再生できないものがあります)

- 5倍モードでは録画できません。(「入」にしても働きません)
- カセットの種類によっては、十分な画質が得られないことがあります。
  あらかじめ試し録画をして、画質を確認されることをおすすめします。
  高画質で録画できるカセットの目安として、HG(ハイグレード) VHSカセットをおすすめします。
- 次のようなときは、画面が一瞬乱れることがあります。
  ・「入」の状態で、ふつうのVHS録画した番組を再生したとき
  ・「切」の状態で、S-VHS ET録画した番組を再生したとき
- より高画質で録画、再生、長期保存をするときは、S-VHSカセットを使ってS-VHS方式で録画してください。

デジタル3次元Y/C分離を働かせる

録画時に働かせておくと、再生時にワイドテレビや大画面テレビで見るときは、より高画質の映像をお楽しみいただけます。

1 メニュー/プレイリスト **押す**

メニュー
▶ VTRモード設定
C H 設 定
時 刻 設 定
電 力 モード
プログラムナビ設定

2 実行/決定 「VTRモード設定」が選ばれている状態で、**押す**

3 「3次元Y/C」(2/2面)を選ぶ **[▲][▼]を押す**

「入」を選ぶ **[▶]を押す**

- 工場出荷時は、「入」にしていますので、通常はこのままお使いください。

VTRモード設定 2/2
TBC 切 [入]
▶3次元Y/C 切 [入]

4 メニュー/プレイリスト **押す**

デジタル3次元Y/C分離について

- 「入」にしておくと、放送局から送られてくる映像信号のY信号(輝度信号)とC信号(色信号)を正確に分離し、ノイズをおさえてすっきりきれいに録画することができます。
- 動きの速い映像の録画時は、残像現象が起こることがあります。
  このときは、「切」にしてください。

予約録画する

Gコードで予約する

予約したい番組のGコードをリモコンに入力し、本機に転送するだけで予約できます。
1カ月以内の番組を最大16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜19)**
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[**VHS**]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜22)**

1
[Gコード] **押す**

リモコン表示部: Gコード -- -- -- --

2
[1]～[10/0] **Gコードを入れる**

リモコン表示部: Gコード 転送 7886 4- --

- 間違えて押したときは、[**Gコード**]を2回押し、入れ直してください。

さらにお好みで…

■録画モードを選びたい

[標準/3倍/5倍] **数回押す**
- " 標準 "、" 3倍 "、" 5倍 "、" 標準3倍 " から選びます。
- " 標準3倍 "について、詳しくは**(➜右ページ)**

■CMをとばして録画したい(CMカット予約)

[グループ CM] **押す**
- " ✂ "を表示させます。
- 詳しくは**(➜27)**

■野球放送などの延長に備えて、録画終了時刻を延長しておきたい(予約延長)

[予約延長] **数回押す**
- 詳しくは**(➜右ページ)**

3
[転送 5 修正(長押し)] **押す**

テレビ画面: タイマー予約 録画日 CH 開始 終了 23[木] 4 20:00 21:00 3倍 テープ残量 6:00 3倍 予約ができました 終了[実行]

予約録画の待機状態になりますが、自動的に電源は切れません
- 予約録画待機中でも、DVDの再生をお楽しみいただけるようになっています。

4
[VHS/DVD 電源] **DVDの再生をしないときは、電源を切る**
押す

■続けて予約を追加する
手順1～3を繰り返す。(予約待機状態でも予約できます)

■予約録画の待機状態になったあとに予約内容を修正したいとき
予約内容を修正する**(➜34)**

Gコードとは
テレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。(最大8けた)

00 夜のワイドショー ▽私の結婚観 田村純子 ▽あの有名選手に迫る 市原幸子 松公子 78864
55 N天 20668

- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。

予約を正しく行うために
- ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。

- 選ばなくても予約できます。ただし、本体の現在の録画モードによって、以下のように自動的に設定されます。
  - ・本体が「標準」のとき➜" **標準3倍** "
  - ・本体が「3倍」のとき➜" **3倍** "
  - ・本体が「5倍」のとき➜" **5倍** "

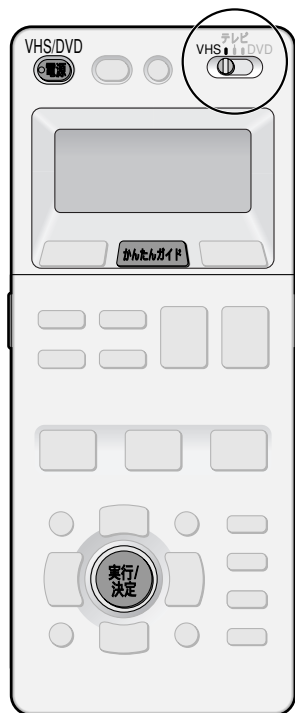
- " 予約内容 "画面は、テープ残量も表示されます。転送時の本体の録画モード(標準、3倍または5倍)で計算されます。ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。そのあと、予約録画の待機状態になります。(本体表示窓に" ◴ "が表示されます)

転送直後に予約内容を修正する
- テレビ画面に予約内容が出ている間(約14秒間)は、以下のボタンで修正できます。

[1曜日/日]	：毎日・毎週予約など**(➜32)**
[2チャンネル]	：予約チャンネル
[3開始]	：開始時刻
[4終了]	：終了時刻
[CM]	：CMカットする・しない
[標準/3倍/5倍]	：録画モードの変更

- 「CH」の項目が" Gーー "(点滅)になっているときは、予約したチャンネルのガイドチャンネルが正しくありません。このときは、[**＋チャンネルー**]で、予約したいチャンネルに合わせ、[**実行/決定**]を押す。予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。

タイマー予約 録画日 CH 開始 終了 23[木] G-- 20:00 21:00 3倍

- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。

■ふたをひらいたところ

- テレビ画面に" 予約ミス "と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- 本体表示窓に" FULL "と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。

予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたとき

- Gコード予約は、番組開始・終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することはできません。ただし、前もって終了時刻を延長しておくことはできます。(➜下記)

標準3倍(ぴったり録画)について

[標準/3倍/5倍]で" 標準3倍 "を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
  例)2番目の番組の途中から3倍モードで録画

予約内容

1番目(30分)	2番目(60分)	

実際の録画状態

" 標準 "で 30分録画	" 標準 "で 15分録画	" 3倍 "で 45分録画

(60分カセットを使ったとき)

- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- 5倍モードでは働きません。
- 以下のときは正しく働かないことがあります。
  - ・「VTRモード設定」の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき

予約録画の終了時刻を延長する(予約延長)

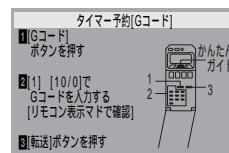
- 予約した番組の終了時刻を最大2時間先まで延長できます。
- **[予約延長]**を押すごとに延長される時間が変わります。
  15分→30分→45分→60分→90分→120分→延長しない

Gコード予約のしかたがわからないとき

テレビ画面の指示に従って予約の操作ができます。

1 かんたんガイド **押す**

- 表示を消すには、2回押しします。

タイマー予約[Gコード]
1 [Gコード]ボタンを押す
2 [1]‥[10/0]で Gコードを入力する [リモコン表示マドで確認]
3 [転送]ボタンを押す

予約録画する(つづき)

Gコードなしで予約する (フリーセット予約)

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。
1カ月以内の番組を最大16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜19)**
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[VHS]**にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜22)**

1

＋曜日/日1－　＋チャンネル2－　＋開始3－　＋終了4－

予約する

リモコン表示部

1予約日
2予約チャンネル
3開始時刻
4終了時刻

さらにお好みで…

■録画モードを選びたい

標準/3倍/5倍

数回押す
- “ 標準 ”“ 3倍 ”“ 5倍 ”“ 標準3倍 ” から選びます。
- “ 標準3倍 ”について、詳しくは**(➜31)**

■CMをとばして録画したい(CMカット予約)

グループ CM

押す
- “ ✂ ”を表示させます。
- 詳しくは**(➜27)**

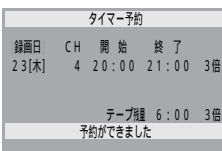
2

転送 5 修正(長押し)

押す

テレビ画面

録画日	CH	開始	終了	
23[木]	4	20:00	21:00	3倍

テープ残量 6:00 3倍
予約ができました

予約録画の待機状態になりますが、自動的に電源は切れません
- 予約録画待機中でも、DVDの再生をお楽しみいただけるようになっています。

すぐに予約録画を始めたいとき
2**予約チャンネル**と4**終了時刻**だけ合わせて**[転送/修正(長押し)]**を押すと、終了時刻までの予約録画を始めます。

3

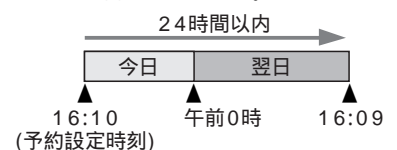
VHS/DVD 電源

DVDの再生をしないときは、電源を切る
押す

■続けて予約を追加する
手順1〜2を繰り返す。(予約待機状態でも予約できます)

■予約録画の待機状態になったあとに予約内容を修正したいとき
予約内容を修正する**(➜34)**

1予約日(曜日/日)の変わりかた
[＋]側を押すごとに、
→**今日の予約**
(今の時刻から、24時間以内に始まる番組を予約)
現在時刻が16時10分ならば、翌日の16時09分までが“ 今日 ”になります。

24時間以内
今日 | 翌日
16:10 (予約設定時刻)　午前0時　16:09

→**1週間以内**→**1カ月以内**→**毎日**→**毎週**
と変わります。([－]側を押すと逆方向)
- 毎日・毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

2予約チャンネルの変わりかた
[＋]側を押すごとに、
→**VHF/UHF**→**BS**→**CATV**(工場出荷時はとばされています)→**外部入力**
と変わります。([－]側を押すと逆方向)
- 押し続けると、10ずつ変わります。
- 必ず本体表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネルで合わせてください。
それ以外のチャンネルは予約できません。

3開始時刻・4終了時刻の変わりかた
- 押し続けると、30分単位で変わります。
- 時刻は24時間表示です。

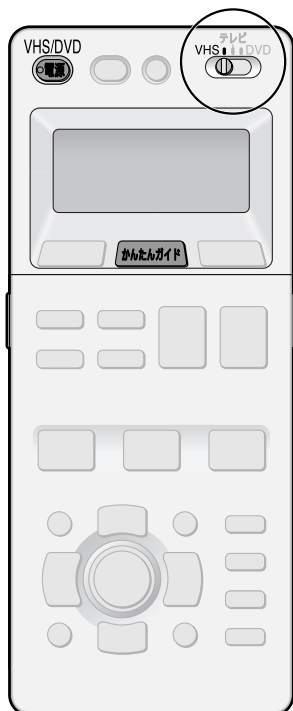
- 転送後、テープ残量も表示されます。転送時の本体の録画モード(標準、3倍または5倍)で計算されます。
ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
そのあと、予約録画の待機状態になります。
(本体表示窓に“ ◴ ”が表示されます)

- 電源を入れたまま予約録画が実行されると、終了後も電源が入ったままになります。
自動的に電源は切れません。

- 本体表示窓に“ FULL ”と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。

■ふたをひらいたところ

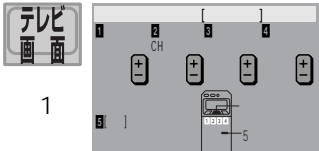
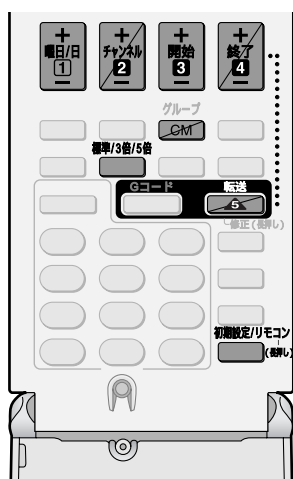
リモコンの予約チャンネル表示を設定する

本体の表示チャンネルに合わせて、使わない予約チャンネルはとばしておくと、素早く合わせせることができます。
- CATVを受信される方は、必ず下記の操作を行って必要な予約チャンネルを表示させてください。
  (工場出荷時は、CATVチャンネルはすべてとばされています)

1 初期設定/リモコン（長押し）
☎マークが出るまで押し、
さらに1回押す

リモコン表示部

2 チャンネル
とばしたい(表示させたい)予約チャンネルを選ぶ
数回押す
- 押し続けると、10ずつ変わります。

3 開始
“ OFF ”か“ On ”を選ぶ
押す
OFF：とばす
On　：表示させる

4 リモコンのふたを
閉じる

- 必ず表示チャンネル(本体で表示させているチャンネル)で設定してください。
- 2つ以上のチャンネルをとばしたい(表示させたい)ときは、手順2～3を繰り返してください。
- とばされたチャンネルは、フリーセット予約できません。

フリーセット予約のしかたがわからないとき

テレビ画面の指示に従って予約の操作ができます。

1 かんたんガイド
2回押す
- 表示を消すには、もう1回押します。

テレビ画面

予約録画する(つづき)

予約内容を確認する・取り消す・修正する

予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消し・修正することができます。
● 電源が入っているとき、または予約録画の待機状態で操作してください。

準備
● テレビに本機の画面を出す。(➜19)
● VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

確認する・取り消す

1 確認

テレビ画面に
予約一覧画面を出す
押す

テレビ画面

録画日	CH	開 始	終 了	
26[日]	8	16:00	17:00	標準
25[土]	6	19:00	20:00	3倍
23[木]	4	20:00	21:00	3倍
--[-]	--	--:--	--:--	標3

さらに、取り消したいときは…

確認

取り消したい予約内容を選ぶ
数回押す
● 押すごとに、1つ下の予約内容が選ばれます。

2 ■取り消すときは、

再生モード
予約取消し

押す
● 予約が取り消されます。

録画日	CH	開 始	終 了	
26[日]	8	16:00	17:00	標準
--[-]	--	--:--	--:--	標3
23[木]	4	20:00	21:00	3倍
--[-]	--	--:--	--:--	標3

■予約一覧画面を消す
[メニュー]を押す。

修正する

1 確認

修正したい予約内容を選ぶ
数回押す
● 押すごとに、1つ下の予約内容が選ばれます。

録画日	CH	開 始	終 了	
26[日]	8	16:00	17:00	標準
25[土]	6	19:00	20:00	3倍
23[木]	4	20:00	21:00	3倍
--[-]	--	--:--	--:--	標3

2 転送 5 修正(長押し)

2秒以上押す

3 曜日/日 1　チャンネル 2　開始 3　終了 4　標準/3倍/5倍　グループ CM

修正する(➜32)

タイマー予約

録画日	CH	開 始	終 了	
25[土]	6	19:00	20:54	3倍

4

リモコンのふたを
閉じる

5 実行/決定

押す

予約録画中の番組の終了時刻を延長する

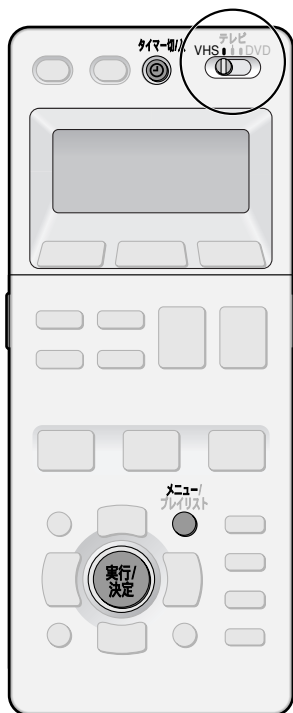
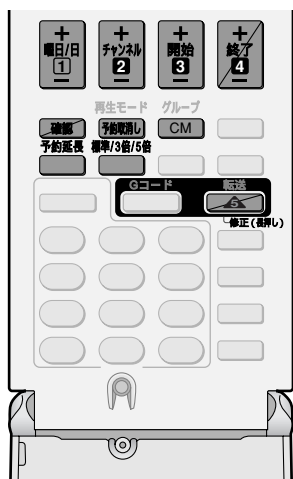
準備 ● VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

1 予約延長

予約録画中に、
数回押す

本体表示窓 -- 21:15

● 押すごとに延長される時間が変わります。
＋15分→＋30分→＋45分→＋1時間
→＋1時間30分→＋2時間→延長しない

● 終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
● 予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。

■ふたをひらいたところ

予約録画を解除する

予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除する必要があります。
また、始まった予約録画を途中でやめることができます。

準備 ● VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

予約録画の待機を一時解除する

1 タイマー切/入

押す

本体表示窓

● 本体表示窓の“ ◴ ”が消え、電源が入ったときの状態になります。
● もう一度押すと元の状態に戻ります。

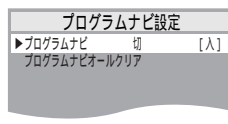
予約録画を途中でやめる

1 タイマー切/入

予約録画中に、
押す

● 録画をやめ、電源が入ったときの状態になります。

● 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
● 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[**タイマー 切/入**◴]を押すと予約録画が再開されます。

番組を探す

ナビデータを使って予約録画した番組を探す (プログラムナビ)

ナビデータ(予約録画情報)を使って予約録画した番組を簡単に探すことができます。

準備
● テレビに本機の画面を出す。**(➜19)**
● **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[**VHS**]にする。

プログラムナビを「入」にして予約録画する

1 メニュー/プレイリスト **押す**

テレビ画面
メニュー
▶ VTRモード設定
C H 設 定
時 刻 設 定
電 力 モード
プログラムナビ設定

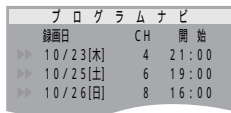
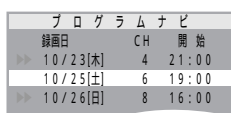
2 [▲][▼]で「プログラムナビ設定」を選び、
[実行/決定]を押す

3 「プログラムナビ」が選ばれた状態で、「入」を選ぶ
押す

プログラムナビ設定
▶プログラムナビ　切　[入]
プログラムナビオールクリア

4 メニュー/プレイリスト **押す**

5 **予約録画する(➜30〜33)**
● 自動的にナビデータが登録されます。

ナビデータについて
● プログラムナビを「入」にして予約録画すると、予約録画情報が自動的に登録されます。
● 登録できる数
・カセットで20本分
・全体の番組数で50番組
(1本のカセットにつき最大14番組)
● 1本のカセットに15番組以上予約録画したときは、古い番組から削除されていきます。
● 予約操作の完了後に、登録可能な残りプログラム数が表示されます。

● 「切」にしていると、予約録画してもナビデータが登録されません。

● カセットを入れると、自動的にナビデータを確認します。

本体表示窓　P-NAVI
テレビ画面　プログラムナビデーター確認中

● カセットを入れてもナビデータが確認できなかったときは、**[プログラムナビ]**を押すと、もう一度確認します。
● 未録画部分で**[プログラムナビ]**を押しても、ナビデータを確認できません。
必ず本機で予約録画した番組の部分で、**[プログラムナビ]**を押してください。それでも確認できなかったときは、テレビ画面に“ プログラムナビデーターが確認できません ”と表示されます。このときは頭出しできません。

見たい番組を頭出しする

準備
● プログラムナビを「入」にする。**(➜上記)**
● プログラムナビ「入」で予約録画したカセットを入れる。

1 プログラムナビ/トップメニュー **押す**

プログラムナビ

録画日	CH	開始
10/23[木]	4	21:00
10/25[土]	6	19:00
10/26[日]	8	16:00

● 予約録画した番組の一覧「録画日・CH(チャンネル)・録画開始時間」が表示されます。

2 プログラムナビ/トップメニュー
頭出ししたい番組を選ぶ
数回押す
● 押すごとに、1つ上の番組が選ばれます。

プログラムナビ

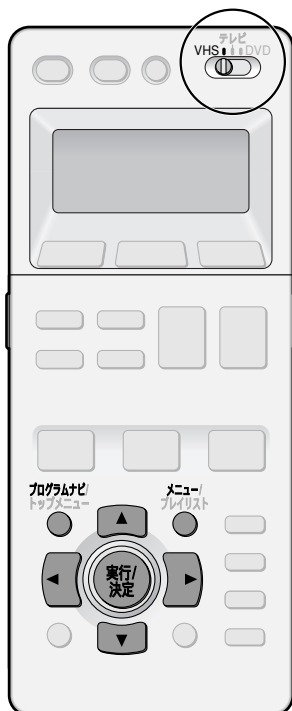
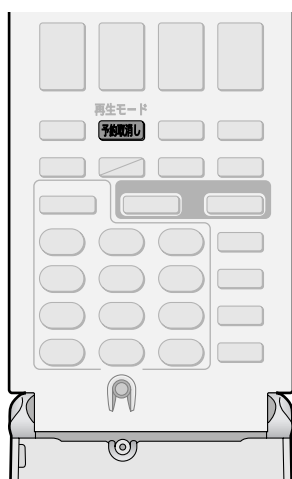
録画日	CH	開始
10/23[木]	4	21:00
10/25[土]	6	19:00
10/26[日]	8	16:00

選んだあと、3秒以上たつと頭出し開始

番組が見つかると、自動的に再生

● 再生中に押したときは、再生をやめ、プログラムナビ画面を表示します。
● **[プログラムナビ]**を押すごとに、“ ビデオ1 ”などの表示が出たり、画面が一瞬黒くなったりすることがあります。
この現象が気になるときは、「今すぐ再生」機能を解除してください。

● 頭出しが始まったあとや、自動的に再生が始まったあとでも、**[プログラムナビ]**を押して別の番組を選ぶことができます。

■頭出しを途中でやめる
[メニュー]を押す。
● プログラムナビ画面が消え、停止します。

■ふたをひらいたところ

正しくナビデータを登録するために

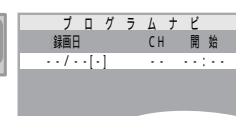
- テープの始端から、番組と番組の間をあけないよう予約録画してください。
- 以下のときはナビデータは登録されません。
  - ・通常の録画
  - ・終了時刻予約録画
  - ・映像のない(音声のみの)予約録画
  - ・短い時間の予約録画
    約15分(5倍モード時は約25分)以上必要です。
  - ・すでにカセット20本分、または50番組を登録しているとき
    新しい予約をすると、予約操作の完了後に、“ プログラムナビ、残り0カセット、データーを消してください ”または
    “ プログラムナビ、残り0プログラム、データーを消してください ”と表示されます。
- 以下の場合は正しく働かないことがあります。
  - ・「VTRモード設定」の「テープ長さ」**(➜41)**を正しく合わせていないとき
  - ・本機以外のビデオで予約録画したカセットを使ったとき
    (当社製の同機能付きビデオも含む)
  - ・ナビデータのある予約録画番組のところに新しく予約録画したとき
    録画した時間によっては、以前のナビデータが削除されます。

カセット単位でナビデータを消去する

消去したナビデータは、元に戻すことができません。
消去してよいかよく確かめてから行ってください。

1 再生モード [予約取消し]

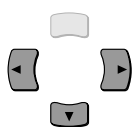
プログラムナビ画面の表示中に、
約5秒以上押す

テレビ画面

プ ロ グ ラ ム ナ ビ		
録画日	CH	開 始
--/--(-)	--	--:--

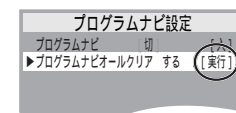
- ナビデータを1番組ずつ消去することはできません。

すべてのカセットのナビデータを消去する

左ページ“ プログラムナビを「入」にして予約録画する ”手順2のあと、

3

[▼]で「プログラムナビオールクリア」を選び、「実行」を表示させる
[◀]または[▶]を押す

プログラムナビ設定
プログラムナビ 切 [入]
▶プログラムナビオールクリア する [実行]

4 実行/決定

押す
- すべてのカセットのナビデータが消去されます。

■メニュー画面を消す
[メニュー]を押す。

- この操作を行っても本体内部のナビデータが消えるだけで、カセットにはナビデータが残ったままになります。
  このため、本体内部のナビデータを消去したカセットを入れて**[プログラムナビ]**を押しても、正しく表示されません。
- カセットに記録されているナビデータも消去したいときは、テープリフレッシュされることをおすすめします。**(➜39)**
  ただし、テープリフレッシュを行うと、録画した番組などもすべて消去されます。

番組を探す(つづき)

頭出しで番組を探す

本機で録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

1番組単位で頭出しする

1 スキップ/頭出し [⏮] [⏭]

数回押す

テレビ画面

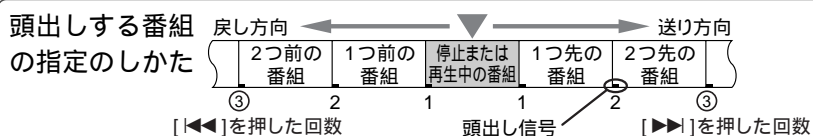
早送り方向…[⏭]
巻戻し方向…[⏮]
- 早送り(巻き戻し)を始め、番組を探します。

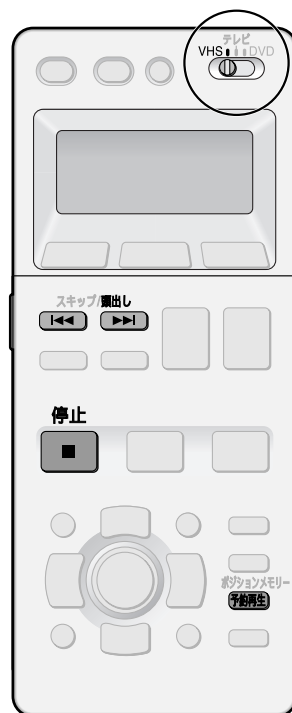
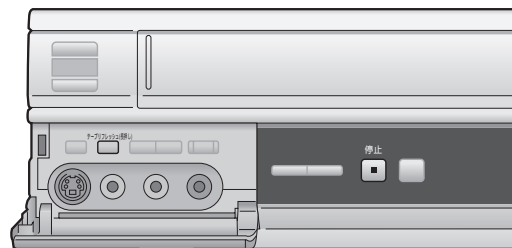
頭出し02⏩ CH 1
0:12.34 標準
再生▶

頭出しする番組の指定のしかた

戻し方向 ←→ 送り方向

③	2	1		1	2	③
	2つ前の番組	1つ前の番組	停止または再生中の番組	1つ先の番組	2つ先の番組	

[⏮]を押した回数　頭出し信号　[⏭]を押した回数

- 最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - [録画●]、[●録画/終了時刻予約]を押して録画を始めたとき。(録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
  - 予約録画が始まったとき。
  - 録画中に、リモコンの[録画●]を押したとき。
- 次のときは、正しく探せないことがあります。
  - 頭出し信号どうしの間隔が短いとき。録画は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。

テープ/フレッシュ(長押し)　停止　テレビ　VHS　DVD　スキップ/頭出し　停止　ポジションメモリー　予約再生

予約録画した番組をすぐに見る (かんたん予約再生)

直前に予約録画した番組をワンタッチ操作ですぐに見ることができます。

準備
- 見たい番組を予約録画する。(➜30〜33)
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

1 ポジションメモリー [予約再生]

押す

テレビ画面

かんたん予約再生 ◀◀◀◀

- 予約録画した番組の先頭まで自動的に巻き戻したあと再生を始めます。

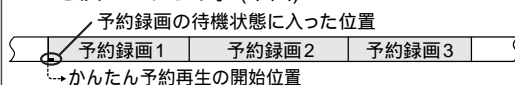
■途中でやめる
[停止■]を押す。

直前に予約録画したカセットを一度でも取り出すと、その番組のかんたん予約再生はできません。
このときは、通常の再生を行ってください。
- かんたん予約再生できる番組がない場合は、テレビ画面に“ かんたん予約再生データが確認できません ”と表示されます。

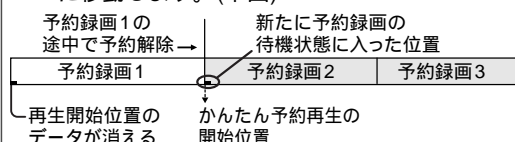
- 次のようなときは正しく働かないことがあります。
  - 短い時間の予約録画
    予約録画は約15分(5倍モードは約25分)以上行ってください。
  - かんたん予約再生する番組のところに新しく通常録画したとき
    録画した時間によっては、再生開始位置のデータが削除されます。(右図)

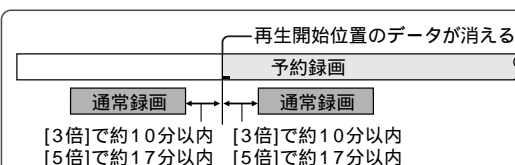
- 予約録画の待機状態に入った時点の場所を再生位置として記憶します。
  - 複数の番組を連続して予約録画した場合は、一番最初に予約録画された番組の先頭まで巻き戻しされます。(下図)

予約録画の待機状態に入った位置
予約録画1	予約録画2	予約録画3

かんたん予約再生の開始位置

  - 途中で**いったん予約を解除したとき(➜35)は、再生開始位置は次の予約録画番組の先頭に移動**します。(下図)

予約録画1の途中で予約解除　新たに予約録画の待機状態に入った位置
予約録画1	予約録画2	予約録画3

再生開始位置のデータが消える　かんたん予約再生の開始位置

予約録画の途中で[**タイマー 切/入**◷]を押さないでください。
- 次のようなときは働きません。
  - 予約録画の待機中のとき
  - 通常の録画をしたとき(➜27)
  - 終了時刻だけを予約して録画したとき(➜28)

再生開始位置のデータが消える
予約録画
通常録画　通常録画
[3倍]で約10分**以内**　[3倍]で約10分**以内**
[5倍]で約17分**以内**　[5倍]で約17分**以内**

テープリフレッシュする VHS

カセットの録画内容をすべて消す (テープリフレッシュ)

この操作をすると映像、音声、ナビデータはすべて消え、元に戻すことができません。
消してよいかよく確かめてから行ってください。
※テープが新しくなるわけではありません。

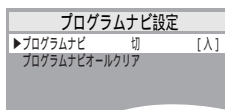
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。
- テープリフレッシュしたいカセットを入れる。

テープリフレッシュを行う前に

■本機でプログラムナビ「入」で予約録画したカセットのとき

「プログラムナビ設定」の「プログラムナビ」を「入」にしておく。(➜36)

テレビ画面

プログラムナビ設定
▶プログラムナビ　切　[入]
プログラムナビオールクリア

■本機以外で予約録画したカセットのとき
(当社製プログラムナビ機能付ビデオも含む)
「プログラムナビ設定」の「プログラムナビ」を「切」にしておく。

プログラムナビ設定
▶プログラムナビ　[切]　入
プログラムナビオールクリア

本機でプログラムナビ「入」で予約録画したカセットのとき
- 必ず「プログラムナビ」を「入」にしてください。

消去前	消去後
本体内部 カセット1の予約録画情報あり	カセット1の情報 **➜消える**
本機で予約録画したカセット1 予約録画情報あり	**カセット**1の情報 **➜消える**

- 「切」にして消去すると、本体内部は消去したカセットの情報が残ったままになってしまいます。

本機以外で予約録画したカセットのとき
(当社製プログラムナビ機能付ビデオも含む)
- 必ず「プログラムナビ」を「切」にしてください。

消去前	消去後
本体内部 カセット1の予約録画情報あり	カセット1の情報 **➜そのまま残る**
他機で予約録画したカセット1 予約録画情報あり	**カセット1**の情報 **➜消える**

本機で予約録画したカセット1の情報
➜そのまま残る

- 「入」にして消去すると、本体内部は、本機で録画したカセット番号(例では1)の情報も消えてしまいます。
- 「VTRモード設定」の「テープ長さ」(➜41)を正しく合わせておかないと、テープの残り時間が正しく表示されません。
- テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。

1 テープリフレッシュ(長押し) **【本体】**

5秒以上押す

本体表示窓　TR

2 テープリフレッシュ(長押し)

本体表示窓の“TR”点滅中に、もう一度
2秒以上押す

- テープリフレッシュが始まります。

TR
TAPE R
“TAPE REF”と、右から左へ文字が流れて消えます。
1:58 残量

■途中でやめる
[停止■]を押す。
- 止めたところまでは消去されています。

テープリフレッシュの動作
1. テープを始端まで巻き戻す。
2. 早送りしながら、録画された内容を消去していく。
3. 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する。

テープの始端　現在のテープ位置
巻き戻し　**早送りしながら消去する**

- 120分カセットで約21分かかります。(目安です)
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが「OFF」になっているカセットはテープリフレッシュできません。

便利機能

画面表示・音声切換・設定

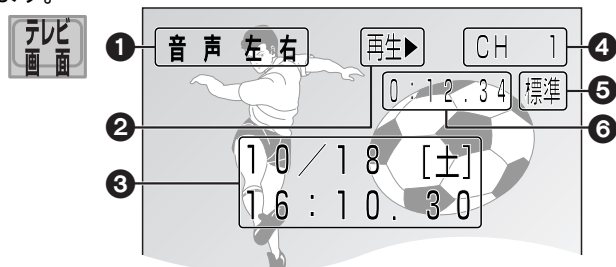
画面表示について (オンスクリーン)

画面表示の一例

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。

テレビ画面

音声 左右　再生▶　CH 1
0：12.34　標準
10／18 [土]
16：10．30

❶ **音声(➔下記)/自動CM早送り(➔24)/レンタルモード(➔24)/3次元DNR(➔25)**
❷ **動作表示：**再生、早送りなど、本機の動作状態。
❸ **日付/現在時刻表示(➔下記)**
❹ **チャンネル表示：**チャンネル切換時、録画開始時。
❺ **録画モード表示：**録画開始時、テープ残量表示時など。
❻ **テープカウンター/テープ残量表示(➔下記)**

- 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
  - ・静止画、スロー再生中
  - ・「VTRモード設定」の「オンスクリーン」を「切」にしているとき**(➔右ページ)**
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

時刻、テープカウンター、テープ残量を確かめる

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➔19)**
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[VHS]**にする。

1 時計/残量/画面表示 **数回押す**
- 5秒以内に押すごとに、

日付/現在時刻表示 → **テープカウンター表示** → **テープ残り時間表示**

10／18 [土] 16：10．30 → 再生▶ 0：12.34 標準 → 再生▶ 残量 2：00 標準

- ボタンを押して5秒以上たつと自動的に消えます。

- 自動時刻合わせ機能**(➔43)**が働いているときは、秒まで表示されます。
- テープカウンター表示になっているときに**[リセット]**を押すと、値が“ 0：00．00 ”になります。

テープ残量表示について
- 表示は目安です。
- カセットを入れた直後などは表示されません。テープ残量表示にすると、すぐに計算を始めます。多少時間がかかることがあります。
- 次のときは、正しい表示になりません。
  - ・「VTRモード設定」の「テープ長さ」**(➔右ページ)**を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき

テレビ VHS DVD
メニュー/プレイリスト
実行/決定
時計/残量 画面表示
リセット/リターン

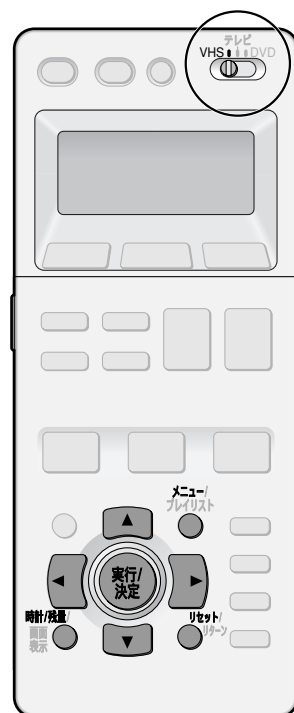
■ふたをひらいたところ

音声 音声切換

音声の種類を切り換える

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

また、再生中の音声がステレオ放送のときは「ステレオ」音声が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➔19)**
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[VHS]**にする。

■2カ国語オート再生機能について
- 次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
  - ・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中
  - ・外部入力録画または“ dc ”チャンネル**(➔69)**で録画したカセットを再生中
  - ・**[音声切換]**を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)
  - ・番組の途中から再生を始めたとき
    この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは**[音声切換]**で音声を選んでください。

音声の種類を切り換える (つづき)

- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
- 選んだ音声だけを録音することはできません。
- 録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
- 次のときは音声を選ぶことができません。
  - ・ノーマル音声しか記録されていないカセットの再生中
  - ・“ dc ”チャンネル(➜69)を選んでいるとき
  - ・Pinミュージック中(➜70)

1 音声 [音声切換] 聞きたい音声を選ぶ **数回押す**

- 押すごとに切り換わります。

■テレビ放送受信中

ステレオ放送：
ステレオ音声→左音声→右音声

二重放送(2カ国語放送など)：
主音声+副音声→主音声→副音声

モノラル放送(外部入力チャンネルも含む)：
左音声+右音声→左音声→右音声

■録画したテレビ番組の再生中

ステレオの番組：
ステレオ音声→左音声→右音声→ノーマル音声(左+右)

二重音声の番組(2カ国語など)：
主音声+副音声→主音声→副音声→ノーマル音声(主音声)

モノラルの番組：
左音声+右音声→左音声→右音声→ノーマル音声(モノラル)

いろいろな項目の設定を変える (VTRモード設定/電力モード設定)

使う条件に合わせて、いろいろな項目を変えることができます。(VTRモード設定)
不要な電力の消費をおさえることができます。(電力モード設定)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[VHS]**にする。

1 メニュー/プレイリスト **押す**

テレビ画面: メニュー ▶ VTRモード設定 / CH設定 / 時刻設定

2 **[▲][▼]で「VTRモード設定」または「電力モード」を選び、**
[実行/決定]を押す

3 **設定したい項目を選ぶ**
[▲][▼]を押す
設定を変える
[◀][▶]を押す

4 メニュー/プレイリスト **押す**

VTRモード設定 1/2

項目			
テープ長さ	[−120]	−160	180
オンスクリーン	切		[自動]
▶リモコンモード	1	[2]	3
共用出力選択	VTR	手動	[自動]
ワイドモード	切		[S 1]
S−VHS録画	切		[入]
S−VHS ET録画	切		[入]

VTRモード設定 2/2

項目		
▶TBC	切	[入]
3次元Y/C	切	[入]

電力モード

項目			
時刻表示	切	[入1]	入2
▶自動電源 切	[切]	2H	6H

VTRモード設定　　電力モード設定

VTRモード設定

■1/2面

テープ長さ

▶−120(工場出荷時)
T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき。

▶−160
T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)カセットを使うとき。

▶180
T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき。

※ D-VHSカセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。

オンスクリーン

▶切
テレビ画面に表示を出さないようにするとき。

▶自動(工場出荷時)
操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。

リモコンモード(詳しくは➜42)

▶1(工場出荷時)
通常はこの位置。

▶2
複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。

▶3
複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。

共用出力選択

▶VTR
VHS出力のみで使うとき。

▶手動
VHSとDVDの出力を手動で切り換えるとき。
- **[VHS/DVD出力切換]**を押すごとに切り換わります。

■次ページへつづく■

画面表示・音声切換・設定

いろいろな項目の設定を変える(VTRモード設定/電力モード設定)(つづき)

VTRモード設定 (つづき)

▶自動(工場出荷時)
操作や本機の動作に応じて、自動的に出力を切り換えるとき。
- **[VHS/DVD出力切換]**を押しても切り換えできます。

ワイドモード

▶切
テレビのS映像入力端子に接続したとき。

▶S1(工場出荷時)
テレビのS1映像端子入力端子に接続したとき。
ワイドモードの映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的にフルモードに切り換えられます。
- 予約録画中のテレビ番組を見るときに、本体表示窓のDVD操作部が消えていると、正しく画面サイズが切り換わらないことがあります。(予約録画には影響ありません)このときは、**[VHS/DVD電源]**を押して、DVD側の電源を「入」にしてください。

S-VHS録画

▶切
S-VHSカセットにVHS方式で録画するとき。

▶入(工場出荷時)
S-VHSカセットにS-VHS方式で録画するとき。(通常はこの位置)

S-VHS ET録画

▶切(工場出荷時)
VHSカセットにS-VHSの画質で録画しないとき。

▶入
VHSカセットにS-VHSの画質で録画するとき。

■2/2面

TBC

▶切
繰り返し録画したカセットや、ビデオカメラで撮影したカセットの再生時に、「入」にしていると映像が乱れるとき。

▶入(工場出荷時)
繰り返し録画したカセットや、ビデオカメラで撮影したカセットの再生時に、細かいゆれやゆがみをおさえるとき。

3次元Y/C

▶切
動きの速い映像のときに起きやすい残像現象を軽減して録画するとき。

▶入(工場出荷時)
放送局から送られてくる映像信号の「Y信号(輝度信号)」と「C信号(色信号)」とを正確に分離し、ノイズをおさえて録画するとき。

■複数の当社製ビデオを使うとき(リモコンモード)
複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いの方は、機種別にリモコンモードを変えておくと別々に操作できます。

本体のモードを変える
1. 41ページ手順で、リモコンモード[1][2][3]のいずれかを選ぶ。

リモコンのモードを変える
2. **[初期設定/リモコン(長押し)]**を☎マークが出るまで押し続け、さらに3回押す。
3. **[④終了]**を数回押し、リモコンモードを選ぶ。
   - 押すごとに、「1」⟷「2」⟷「3」と変わります。
   - 本体のモードに合わせてください。
4. リモコンのふたを閉じる。

リモコン表示部

操作できずに、本体表示窓に下図のような表示が出るとき

本体表示窓

本体のリモコンモード番号(例は「2」)

- 本体とリモコンのリモコンモードが合っていないので、操作できません。リモコン側のモードを本体に合わせてください。
- 複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いのとき、本機を操作すると別のビデオに上図のような表示が出ることがあります。このとき別のビデオが録画中や予約録画の待機状態などになっていても影響はありません。この表示は約3秒間表示され、そのあと元の状態に戻ります。

- 当社製ビデオのほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作をすると、本機以外の別のビデオにも影響してしまいます。このときは、リモコンモードを変えてください。
- 通常は工場出荷時のまま「リモコンモード1」でお使いください。(当社製ビデオが本機しかないときなど)
- この設定は当社製ビデオが複数台あるときのみ働きます。当社製DVDプレーヤーやテレビに対しては働きません。
当社製DVDレコーダーをお持ちの方で、同じ場所で本機をお使いの場合は、DVDレコーダー側のリモコンモードを変えてください。

電力モード

時刻表示

▶切
電源「切」時に本体表示窓の表示をすべて消すとき。
- 電源「切」時の消費電力を約1.2ワットにすることができます。
- 何も表示されていないときでも、**[時計/残量]**で時刻表示を確かめたり、予約録画の待機中は**[確認]**で予約内容を確かめたりすることはできます。

▶入1(工場出荷時)
電源「切」時に、本体表示窓に現在時刻を暗く表示するとき。

▶入2
電源「切」時に、本体表示窓に現在時刻を明るく表示するとき。

自動電源　切

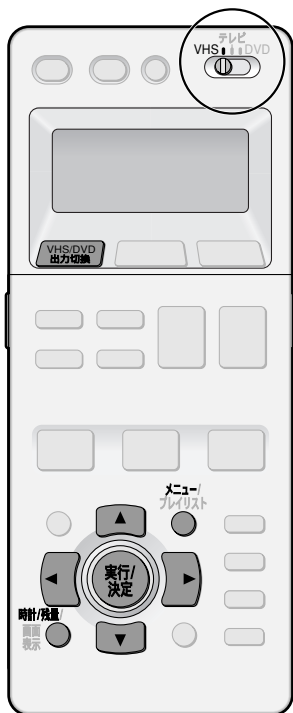
▶切
「自動電源 切」機能を働かせないとき。

▶2H
約2時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。

▶6H(工場出荷時)
約6時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。
- 続き再生メモリー機能(➜44)動作中は働きません。

時刻を合わせ直す (時刻設定)

時刻が合っていないときは、合わせ直してください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[VHS]にする。

1 メニュー/プレイリスト **押す**

2 [▲][▼]で「時刻設定」を選び、**[実行/決定]を押す**

テレビ画面
時 刻 設 定
2000. 1. 1 [土] 0:00
自動時刻CH 自動

3 設定したい項目を選ぶ **[◀][▶]を押す**

時 刻 設 定
2003.10. 1 [水] 16:10
自動時刻CH 3

合っていないところで、修正する **[▲][▼]を押す**

■時刻設定画面を消す
[メニュー]を押す。

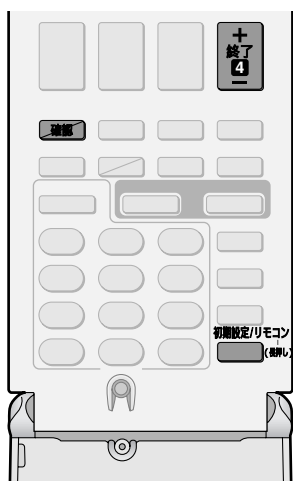
「時刻」について
- 24時間表示です。
- [▲][▼]を押し続けると30分単位で変わります。

「自動時刻CH」について
- NHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。
  表示チャンネルで合わせてください。

「年」について
- 西暦1988～2087年までです。

自動時刻合わせ機能について
- 「自動時刻CH」をNHK教育テレビに合わせておくと、本機が毎日7、12、19時に時報が放送されるかどうかを確認します。
  そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正します。
  (2分以内の誤差が修正されます)
- 「自動時刻CH」を「自動」にすると、本機が自動的にNHK教育テレビを探し出します。
  地域により、探し出すまでに数週間かかることもありますので、あらかじめご自分でNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。
- 自動時刻合わせ機能は、NHK教育テレビの時報を利用しています。正規の時報以外に番組の中で時報が放送されると、"時報"と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。時刻表示の誤差が2分以上あるときは、時刻設定で正しい時刻に合わせ直してください。
- 次のようなときは働きません。
  - 「自動時刻CH」を「－－」にしているとき。
    (自動時刻合わせ機能が働いていない状態)
  - 時報が放送される時刻に電源が入っているとき。
  - 予約録画の待機中のとき。
  - 時報のバックに音楽が流れているとき。
  - 「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
- 電源コードを抜いたあとや停電したあとなどは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。

■ふたをひらいたところ

DVDの再生

再生する

DVD-V RAM DVD-A VCD CD MP3 WMA JPEG

準備
- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。**(➜19)**
- 「VTRモード設定」の「共用出力選択」を「手動」にしているときは、**[VHS/DVD出力切換]**を押し、DVDの映像にする。**(➜22)**
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[DVD]**にする。

1

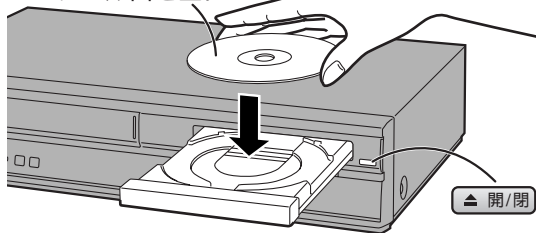
⏏ 開/閉

ディスクトレイを開ける
押す

ディスクを取り出すとき
[⏏開/閉]を押す。
- ディスクトレイが出てきます。
- 電源が切れていても取り出せます。

2

再生したい側の
ラベル面を上に

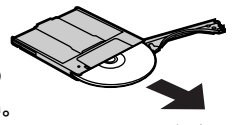
⏏ 開/閉

ディスクを
置く

- カートリッジ付きディスクは取り出してください。ディスクに付属の説明書もお読みください。
- JPEGと音楽ファイル(WMA/MP3)を両方含むディスクのときは、ディスクを入れる前に、初期設定の " 混在ディスク 音声＆静止画 "**(➜67)**で再生するファイル形式を選んでください。

3

再生 ▶

押す

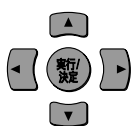
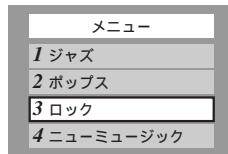
- ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
- テレビ画面に " ディスクを確認してください。" または本体表示窓に" CHECK DISC "が表示されて再生できないときは、ディスクの信号面に指紋やほこりなどの汚れが付いていることが考えられます。ディスクを水を含ませた柔らかい布でふいてください。**(➜10)**

このあと、テレビ画面にメニューが表示されたときは…

DVD-V DVD-A VCD

[◀][▲][▼][▶]で項目を選び、
[実行/決定]を押す

テレビ画面

メニュー
1 ジャズ
2 ポップス
3 ロック
4 ニューミュージック

Rock!!

- 数字ボタンで選べるディスクもあります。
- " *3* "を選んだ例。
  例） 3の場合…**[3]**
  10の場合…**[≧10]**→**[1]**→**[10/0]**
  25の場合…**[≧10]**→**[2]**→**[5]**
- メニュー画面に戻すときは、下記のボタンを押してください。

DVD-V DVD-A：**[トップメニュー]**(最初のメニュー画面)
DVD-V：**[メニュー]**(メニュー画面)
VCD：**[リターン]**

- メニュー画面表示中は、ディスクが回り続けています。本体のモーター保護と、テレビ画面の焼き付き等を防止するため、再生しないときは、**[停止■]**を押し、停止させてください。
- 電源を入れたときにディスクがディスクトレイに入っていると、自動的にディスクが回転し始めます。

■再生をやめる
[停止■]を押す。
- 表示窓の動作状態表示点滅中に**[再生▶]**を押すと、止めた位置から再生が始まります。**(続き再生メモリー機能)**

本体表示窓
動作状態表示

DVD-V
表示窓の動作状態表示点滅中に**[再生▶]**を2回押すと、各チャプターの冒頭を再生できます。
(あらすじリプレイ)

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります。
AUDIO/VIDEO

- 止めた位置までの各チャプターの頭を約5秒ずつ再生したあと、止めた位置から再生が始まります。
- 同一タイトル内でのみ働きます。

止めた位置を解除する
・数回**[停止■]**を押すと動作状態表示の点滅が消え、消去されます。
・電源を切るかディスクトレイを開けても消去されます。

停止 再生

テレビ VHS DVD

VHS/DVD 出力切換

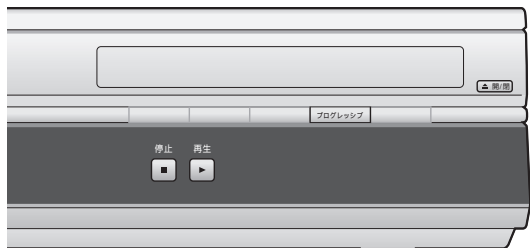
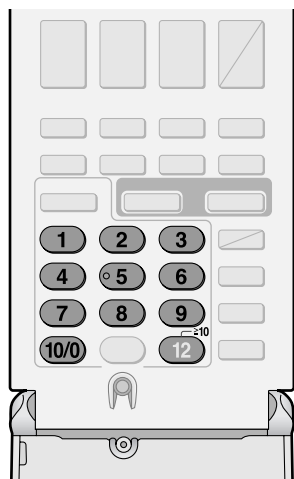
停止 再生

プログラムナビ/トップメニュー メニュー/プレイリスト

実行/決定

リセット/リターン

■ふたをひらいたところ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 12

再生する (つづき)

CDテキスト **MP3** **WMA**

- 再生が始まると、テレビ画面に文字情報が表示されます。
- メニュー画面を使って再生すると、より便利に操作できます。(➜52)

テレビ画面

グループ:ロックコンサート2002
トラック:HEY!SAY!

- 本体にディスクが入っているときに電源を入れると、ディスクによっては自動的に再生を始めることがあります。
- ボタン操作中、テレビ画面に"⃠"(禁止)マークが表示されたときは、その操作がディスクまたは本機で禁止されているためできません。
  このときは、次のようなマークが表示されます。

ディスク側で禁止されている操作のとき

本機側で禁止されている操作のとき

プログレッシブ出力で見る

「プログレッシブ」とは

- 従来の映像信号(NTSC)は525I(I:インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P(P:プログレッシブ=順次走査)といいます。
- 本機後面のD1/D2映像出力端子とテレビを接続(➜16)し、下記の手順を行うと、プログレッシブ映像が出力できます。
  従来の映像出力端子、S映像出力端子よりも高画質な映像が楽しめます。

1 プログレッシブ 【本体】

再生前または再生中に、押す

本体表示窓

PR ON

- VHSの映像をプログレッシブ出力することはできません。
- テレビ画面に" プログレッシブ出力が不可になっています "と表示されたときは、プログレッシブ出力できません。初期設定の「プログレッシブ出力」が「不可」になっています。「可能」に設定してください。(➜66)

プログレッシブ出力中の画面サイズの調節について

4:3(標準)サイズのソフトを16:9(ワイド)テレビで見ると、画面サイズが合っていないため、映像が左右に引き伸ばされるように映ることがあります。
このような場合は、

- **テレビ側でプログレッシブ映像の画面サイズを調節できる場合:**
  テレビ側の機能で調節してください。(テレビの説明書をお読みください)
- **テレビ側でプログレッシブ映像の画面サイズを調節できない場合:**
  [プログレッシブ]を押して、プログレッシブ出力を解除してください。
  (本体表示窓に" PR OFF "を表示させる)

DVDの再生(つづき)

再生する (つづき)

準備
- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[**DVD**]にする。

位置を記憶させたまま、電源を切ったりディスクを入れ換える(ポジションメモリー)

1 ポジションメモリー 予約再生

再生中、位置を記憶させたいところで
押す

テレビ画面 位置を記憶しました●●●●●

- ディスク1枚につき1カ所で、計5枚分記憶することができます。
  6枚目以降記憶させると、メモリーの古い順から消えていきます。

2 **電源を切る**
または
ディスクを取り出す

3 再生 ►

電源を入れる、または位置が記憶されたディスクを入れ、
押す
- 前回記憶させた位置から再生が始まります。
  メモリーはこの時点で消去されます。

- 再生を始めると、"位置情報をクリアしました"と表示され、記憶させた位置は解除されます。

場面や曲を頭出しする

準備
- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[**DVD**]にする。

DVD-V RAM DVD-A VCD CD MP3 WMA JPEG

番組・場面・曲などを飛びこす

1 スキップ/頭出し ⏮ ⏭

再生中または静止(一時停止)中に、
押す
[⏮]…戻る
[⏭]…進む
- 押した回数だけ飛びこします。

- 再生中に操作したときは、飛びこしたあとも再生、静止(一時停止)中に操作したときは、飛びこしたあとも静止(一時停止)になります。
- DVDやビデオCDのメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。またディスクによっては働かないことがあります。

2 再生 ►

停止中に[⏮][⏭]を押したときは、
押す

頭出しする位置の指定のしかた

DVD-V DVD-A VCD CD MP3 WMA

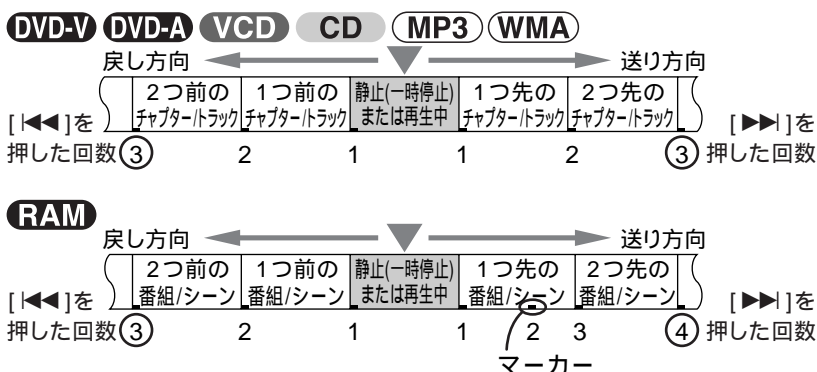
戻し方向 ◄── ▼ ──► 送り方向

[⏮]を押した回数	2つ前のチャプター/トラック	1つ前のチャプター/トラック	静止(一時停止)または再生中	1つ先のチャプター/トラック	2つ先のチャプター/トラック	[⏭]を押した回数
③	2	1		1	2	③

RAM

戻し方向 ◄── ▼ ──► 送り方向

[⏮]を押した回数	2つ前の番組/シーン	1つ前の番組/シーン	静止(一時停止)または再生中	1つ先の番組/シーン	2つ先の番組/シーン	[⏭]を押した回数
③	2	1		1　2	3	④

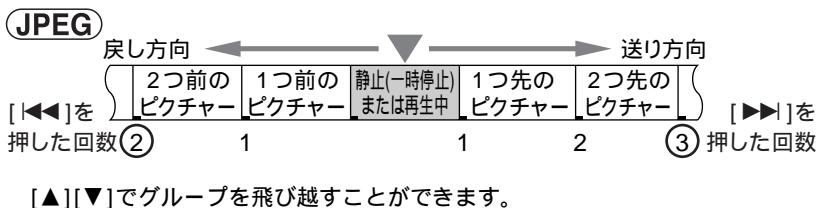
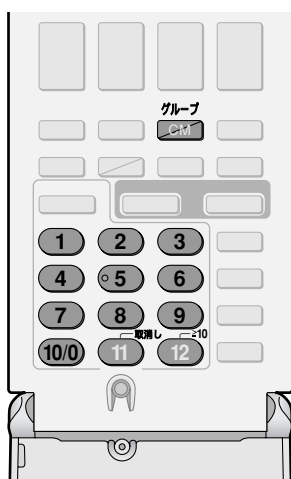
マーカー

RAM
- コマーシャルなどが録画されていると、そこにスキップすることがあります。

場面や曲を頭出しする (つづき)

JPEG

戻し方向 ◀———▼———▶ 送り方向

[I◀◀]を押した回数	2	1		1	2	[▶▶I]を押した回数
	2つ前のピクチャー	1つ前のピクチャー	静止(一時停止)または再生中	1つ先のピクチャー	2つ先のピクチャー	

● [▲][▼]でグループを飛び越すことができます。

タイトル(トラック)の番号を直接選ぶ

1 [1]～[10/0] [≧10 12] 押す

例) 3の場合…[3]
10の場合…[≧10]→[1]→[10/0]
25の場合…[≧10]→[2]→[5]

● 選んだタイトル(トラック)の再生が始まります。
● ＭＰ3、WMA、JPEGディスクは、 MP3 WMA JPEG
例)16の場合…[1]→[6]→[実行/決定]または[再生▶]と押します。

● 停止中のみ働くディスクもあります。
● ディスクや再生状態によっては働かないことがあります。
● DVDオーディオでは、まずグループを選んでください。(➜下記)

グループを直接選ぶ

DVD-A MP3 WMA JPEG

1 [グループ CM] 押す

テレビ画面

G 1 / T 1 / Total 1/18

グループ番号
グループ内のトラック番号
ディスク内のトラック番号/総トラック数

例)MP3

2 [▲][▼]で見たいグループを選び、
[実行/決定]を押す

3 [▲][▼]で見たいトラックまたはピクチャー番号を選び、
[実行/決定]を押す

● 番組のプログラム番号は、[1]～[10/0]や[≧10]を押して直接選ぶこともできます。
例) 3の場合…[3]
10の場合…[≧10]→[1]→[10/0]
25の場合…[≧10]→[2]→[5]

■ボーナスグループを再生する DVD-A

暗証番号の入力により再生可能になる“ ボーナスグループ ”を収録したディスク(ディスクのジャケットなどもご参照ください)を再生できます。

1.停止中、ボーナスグループを選ぶ。(上記手順1、2)
● 暗証番号の入力画面が表示されます。
2.[1]～[10/0]と[実行/決定]で、暗証番号を入力する。
● 修正するときは、[取消し]を押すと、1つ前の文字が消えます。
● 電源を切るかトレイを開けると、再び暗証番号の入力が必要になる場合があります。

テレビ VHS DVD
スキップ/頭出し
再生
ポジションメモリー 予約再生
実行/決定

■ふたをひらいたところ

グループ CM
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
取消し ≧10

● 再生状態によっては番号を選べないこともあります。
● DVDオーディオでは、すべてのグループを再生することもできます。(➜50)

DVDの再生(つづき)

いろいろな再生

準備
- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチを[DVD]にする。**

DVD-V RAM DVD-A VCD CD MP3 WMA JPEG

見逃したシーンをもう一度見る(クイックリプレイ)

1 クイックリプレイ レンタル

再生中に、
押す
- 押すごとに、約7～10秒戻って再生します。

JPEG
- 約5～6画像戻って再生を続けます。

- 戻る時間は、ディスクの記録状態によって変わります。
- ディスクまたは再生している場所によっては、戻る秒数や画像数が変わったり、機能が働かないこともあります。

早送り(早戻し)再生する

DVD-V RAM DVD-A VCD CD MP3 WMA

1 巻戻し 早送り サーチ/スロー

再生中に、
押す
- 押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。(5段階)

- DVDビデオ/ビデオCDは早送り・最低速時のみ音声が聞こえます。音声を消すこともできます。(初期設定の「早送り時の音声」(➜67))
- DVD、ビデオCDのメニュー画面で押すと、前のメニューに戻ることがあります。

早見(遅見)･早聞き(遅聞き)再生する

DVD-V DVD-A (動画部のみ)

映画のセリフなどを、早聞きしたり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときに再生速度を微調節できます。詳しくは(➜57)

静止画(一時停止)・スロー・コマ送り(戻し)で見る

1

■**静止画(一時停止)**

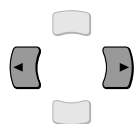
一時停止/スロー

再生中に、
押す
- 静止(一時停止)中でもディスクは回り続けています。

■**コマ送り(戻し)再生**

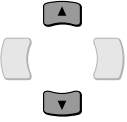
DVD-V RAM DVD-A (動画部のみ) VCD

静止中に、
押す
[◀]…戻る(DVDのみ)
[▶]…進む

- 送り方向のみ、[**一時停止/スロー❚❚/❙▶**]を押してもコマ送りできます。
- 押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。
- 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。

■**スロー再生**

DVD-V RAM DVD-A (動画部のみ) VCD

巻戻し 早送り サーチ/スロー

静止中に、
押す
[◀◀]…戻る(DVDのみ)
[▶▶]…進む
- 押すごとに速度が速くなります。(5段階)

■**早送り、静止画、コマ送り、スロー再生などを通常再生に戻す**

[再生▶]を押す。

DVD

● 一部のDVDではできないことがあります。
● タイトルが2つ以上あるDVDは、ディスク全体を繰り返すことはできません。
● DVDビデオ、MP3、WMAのディスク全体、およびDVD-RAMの全プレイリストのリピート再生は選ぶことができません。

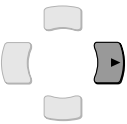
繰り返し再生する(リピート再生)

1 再生中に、
再生設定(本機情報)のGUI画面を出して(➜56)、リピートモードアイコン(➜58)を選ぶ
2回押す

2 再生の種類を選ぶ
押す

例)DVDビデオ

押すごとに、
DVD-V
T(タイトル)*1⟷C(チャプター)⟷切
RAM
A(オール：ディスク全体)⟷PG(プログラム)⟷切
● プレイリスト再生中のときは、
PL(プレイリスト)*2⟷S(シーン)*2⟷切
VCD CD
A(オール：ディスク全体)⟷T(トラック)⟷切
DVD-A MP3 WMA
G(グループ)*1⟷T(トラック)⟷切
JPEG
G(グループ)⟷切

*1オールグループ/プログラム/ランダム再生(➜50)時は“ A(オール) ”と表示されます。
*2プレイリストの再生(➜54)

● HighMAT規格に準拠して記録されたディスクでは、“ G(グループ) ” /“ C(コンテンツ) ”が表示されます。

■好みのチャプター/トラックを繰り返して再生するとき
チャプター/トラックをプログラム再生(➜50)中に“ A(オール) ”を選ぶ。

指定した2点間を繰り返す(A-Bリピート)

DVD-V RAM DVD-A VCD CD MP3 WMA

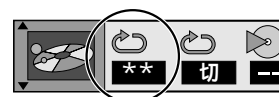
同一タイトル(トラック)内で、お好みの2点(A点とB点)を選んで、その2点間を繰り返し再生することができます。

1 再生中に、
再生設定(本機情報)のGUI画面を出して(➜56)、A-Bリピートアイコン(➜58)を選ぶ
押す

2 開始位置(A点)を選ぶ
押す

3 終了位置(B点)を選ぶ
押す

● A－B間の繰り返し再生が始まります。

■A-Bリピートをやめる
[実行/決定]を押して、“ ＊＊ ”を表示させる。

● 一部のDVDではできないことがあります。
● 終了位置(B点)を指定する前に、タイトル(トラック)が終了したときは、タイトル(トラック)の終了点がB点となります。
● 字幕が出るDVDの場合、A-B間の前後の字幕は表示されないことがあります。
● A-Bリピート中に[クイックリプレイ]を押すと解除されます。(➜左ページ)

DVDの再生(つづき)

再生の種類を選んで再生する

準備
- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[DVD]にする。

DVD-V DVD-A VCD CD MP3 WMA

再生の種類を選んでおく

再生モード 予約取消し

停止中に、再生の種類を切り換える
数回押す
- 押すごとに、下記のように切り換わります。

オールグループ再生(DVD-A)→プログラム再生→ランダム再生→通常再生→(オールグループ再生に戻る)

- DVDオーディオのディスクを使用時にプログラム/ランダム画面でボーナスグループを選んだときは、暗証番号(4けた)を入力してください。(➜47)
- DVDビデオでは、プログラム／ランダム再生できないものもあります。

すべてのグループを順に再生する(オールグループ再生)

DVD-A

1 再生の種類を選ぶ
オールグループ再生を選ぶ(➜上記)

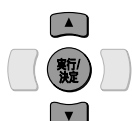
2 再生 ►
押す
- オールグループ再生が始まります。

好みの順に再生する(プログラム再生)

1 再生の種類を選ぶ
プログラム再生を選ぶ(➜上記)

- 一部のDVDソフトでは働かないことがあります。

2 実行/決定
押す

3 ▲ ▼ 実行/決定

DVD-V DVD-A MP3 WMA

1.[▲][▼]で"T(タイトル番号)"/"G(グループ番号)"を選び、
[実行/決定]を押す

テレビ画面

例)DVDビデオ

2.[▲][▼]で"C(チャプター番号)"/"T(トラック番号)"を選び、
[実行/決定]を押す

VCD CD

[▲][▼]でトラック番号を選び、
[実行/決定]を押す

例)CD　プログラムの合計時間

- [1]〜[10/0]や[≧10]を押して直接選ぶこともできます。このときは[実行/決定]を押す必要はありません。
  例) 3の場合…[3]
  10の場合…[≧10]→[1]→[10/0]
  MP3 WMA:
  - [≧10]は不要です。
  - チャプター番号やトラック番号を選んだあとは、[実行/決定]を押してください。

- 「ALL」を選ぶと、全曲(ディスクまたはタイトル、グループ内の全曲)が予約できます。
- DVD-V MP3 WMA:タイムは表示されません。

さらにプログラムするとき
DVD-V DVD-A MP3 WMA
手順3を繰り返す。
VCD CD
手順2〜3を繰り返す。

■ふたをひらいたところ

4 再生 ▶ 押す

● プログラムした順番、または設定した順番に再生が始まります。

● 手順3で[▶]で「再生」を選んで[実行/決定]を押しても再生が始まります。
● プログラム再生が終了すると停止し、プログラム入力画面になります。

■プログラム再生を途中でやめる

1. プログラム再生中に、[停止■]を2回押す。
2. [再生モード]を2回押す。

● プログラムは保持されています。もう一度[再生モード]を押すと、現在のプログラム入力状態が表示されます。

■プログラムを変更する

1. [▲][▼]で変更したいプログラム番号を選び、[実行/決定]を押す。
2. 左ページ手順3を行い、変更するタイトル、チャプター(トラック)番号を選ぶ。

■プログラムを取り消す

1. 取り消したいプログラムを[▲][▼]で選ぶ。
2. [▶][▼]で「クリア」を選び、[実行/決定]を押す。

● [取消し]を押しても取り消すことができます。

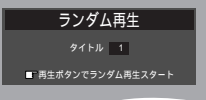
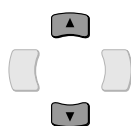
■プログラムをすべて取り消す

1. [▶][▼]で「オールクリア」を選ぶ。
2. [実行/決定]を押す。

順不同に再生する(ランダム再生)

1 再生の種類を選ぶ
ランダム再生を選ぶ(➔左ページ)

テレビ画面

ランダム再生
タイトル 1
再生ボタンでランダム再生スタート

例)DVDビデオ

2 DVD-V DVD-A
ランダム再生したいタイトルまたはグループ番号を選ぶ
押す

DVD-A

● [◀][▶]でランダム再生したいグループを選び、[実行/決定]を押して、＊を表示させてください。
● 複数のグループを選ぶことができます。
● すべてのグループを選ぶには、「オール」を選んでください。
● 選んだグループを取り消すには、[◀][▶]で取り消したいグループの番号を選んで[実行/決定]を押し、＊を消してください。
● [1]～[10/0]でも、グループの選択や選択の取り消しを行うことができます。

3 再生 ▶ 押す

● ランダム再生が始まります。

● ランダム再生が終わると、停止してランダム再生画面に戻ります。

■ランダム再生を途中でやめる

1. ランダム再生中に、[停止■]を押す。
2. [再生モード]を押す。

メニュー画面を使って再生する

CDテキスト/MP3/WMA/JPEGを再生する

上記のディスクをメニューを使って再生することができます。

CDテキスト MP3 WMA JPEG

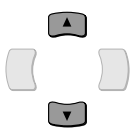
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[**DVD**]にする。
- ディスクを入れる。

1 メニュー/プレイリスト または プログラムナビ/トップメニュー

テレビ画面

メニュー画面を表示させる

押す

例)MP3

2 **再生したいトラックまたはピクチャーを選ぶ**

数回押す

- トラック： MP3 WMA CDテキスト
  ピクチャー：JPEG
- 前後のページを表示するには、[◀][▲][▼][▶]で「前ページ」、「次ページ」を選んで[**実行/決定**]を押します。1グループのすべてのトラックを表示したあとは、前後のグループを表示します。

3 実行/決定

再生を始める

押す

- "☞"は、再生中の曲を示します。

■停止する

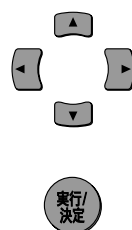
[**停止■**]を押す。

■メニュー画面を消す

[**メニュー**]または[**トップメニュー**]を押す。

ディスクの全体図(ツリー画面)を見てグループを選ぶ

MP3 WMA JPEG

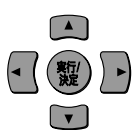
上記手順1のあと、

2 MP3 WMA

[▶]を押す

JPEG

[◀][▲][▼][▶]で「ツリー」を選び、

[実行/決定]を押す

選べないグループ

3 **再生したいグループを選ぶ**

[◀][▲][▼][▶]で選び、[実行/決定]を押す

- 選んだグループのメニュー画面が表示されます。

■ひとつ前の画面に戻る

[**リターン**]を押す。

JPEGと音楽ファイル(WMA/MP3)を両方含むディスクのとき

"混在ディスク 音声＆静止画"(➜67)で再生するファイル形式を選択し、ディスクトレイを開閉してディスクを読み込んでください。

パソコンなどでファイルを作るとき

MP3 WMA JPEG

パソコン等でフォルダやファイルに付けた名前をそれぞれグループ名、トラック名/ピクチャー名として表示します。

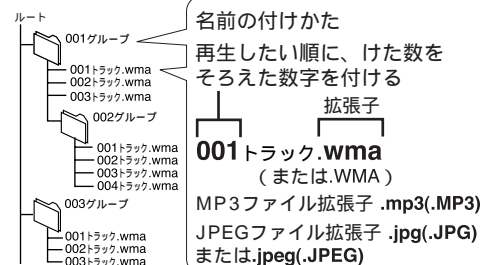
名前の付けかた

再生したい順に、けた数をそろえた数字を付ける

拡張子

001トラック**.wma**
(または.WMA)

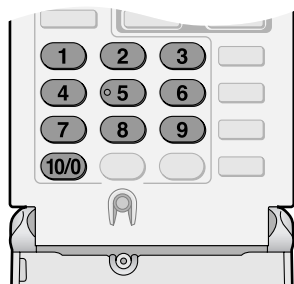
MP3ファイル拡張子 **.mp3(.MP3)**

JPEGファイル拡張子 **.jpg(.JPG)**
または**.jpeg(.JPEG)**

CDテキスト

市販のソフト等で作ったCDテキストは、タイトルの数字に関係なく作成したトラック順に再生します。

(詳しくはソフト等の説明書をご参照ください)

- 使用できるフォーマットは、ISO9660 level 1およびlevel 2(拡張フォーマットを除く)です。
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
- 8階層より深い階層にあるグループは、8階層目と同じ列に表示されます。
- 表示できる漢字は、JIS第一水準のみです。
  それ以外の漢字は"＿(アンダーバー)"で表示されます。
- メニュー画面での表示順は、パソコンのディスプレイでの表示順とは異なることがあります。
- ディスクの作りかたによっては、順番どおりに再生できないこともあります。

■ふたをひらいたところ

WMA

● 著作権保護されたファイルは再生できません。
● 再生できないファイルを選んだときは、表示窓に" TRACK PROTECTED "または" CANNOT PLAY THIS TRACK "と表示されます。

MP3

● 静止画データの入ったMP3ファイルを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まっても正確に時間が表示されないことがあります。
● 基本的な操作はCDと同じです。
● ID3タグには対応していません。

JPEG

● DCF(Design rule for Camera File system)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータを表示します。(デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります)
● パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
● MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画(TIFFなど)および音声付画像は再生できません。

トラックのテキスト情報を見る　CDテキスト

左ページ手順1のあと、

2 情報を見たいトラックを選ぶ　テレビ画面

[▲][▼]で選び、[▶]を押す

● [◀][▶]で、他のトラックの曲情報が確認できます。
● [実行/決定]を押すと再生されます。

タイトル名を検索して再生する　CDテキスト　MP3　WMA

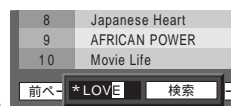
ひらがな、カタカナ、英数字をローマ字入力で検索します。
(大/小文字は区別されません)

左ページ手順1のあと、

2 「検索」を選ぶ

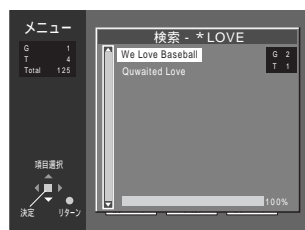
[▲][▼]で選び、[実行/決定]を押す

3 ■例：" LOVE "という言葉を含むトラックを探す

[▲][▼]で" L "を選び、[実行/決定]を押す

● [▲]を押すごとに、「A～Z」→「0～9」と変わります。
● 数字は、[1]～[10/0]を使っても入力することができます。
● この手順を繰り返して" O "、" V "、" E "と入力します。
● [|◀◀][▶▶|]で「A、E、I、O、U」にスキップします。
● 文字を間違えたときは、[◀]を押すと1つ前に戻ります。

4 「検索」を選ぶ

[▶]で選び、[実行/決定]を押す

● 検索結果が表示されます。

5 再生したい曲を選ぶ

[▲][▼]で選び、[実行/決定]を押す

" ＊ "(アスタリスク)について

● 検索する言葉の前に" ＊ "を付けて検索すると、その言葉が含まれるすべてのトラックが検索されます。
● " ＊ "を消して検索すると、その言葉がタイトルの先頭にくるトラックのみ検索されます。このときは「We love Baseball」などは検索されません。

メニュー画面を使って再生する

DVD-RAMを再生する

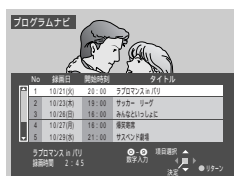
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[**DVD**]にする。
- 録画済みのディスクを入れる。プレイリストを再生するときは、プレイリスト作成済みのディスクを入れる。

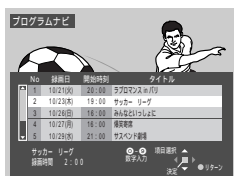
RAM

プログラムナビ番組リストから再生する

当社製DVDビデオレコーダー(別売)で録画した番組の一覧から見たい番組を探して再生することができます。

1 プログラムナビ/トップメニュー **押す**

テレビ画面

- プログラムナビ番組リストは、最大99番組まで表示されます。
- 市販のDVDビデオソフトやCDなどでは働きません。

2 [▲][▼]で見たい番組を選び、**[実行/決定]を押す**
- 選んだ番組の再生が始まります。
- リストが消え、選んだ番組をそのまま見ることができます。

- 番組のプログラム番号は、[**1**]〜[**10/0**]や[**≧10**]を押して直接選ぶこともできます。
  例) 3の場合…[**3**]
  10の場合…[**≧10**]→[**1**]→[**10/0**]
  25の場合…[**≧10**]→[**2**]→[**5**]

■停止する
[**停止■**]を押す。

■プログラムナビ番組リスト画面を消す
[**プログラムナビ**]または[**リターン**]を押す。

お好みのシーンだけを再生する(プレイリストの再生)

当社製DVDビデオレコーダー(別売)で作成したプレイリストを再生することができます。

1 メニュー/プレイリスト **押す**
- プレイリスト一覧画面が表示されます。

プレイリストとは
当社製DVDレコーダー(別売)を使って、番組のお好みのシーンだけを集めたり、ストーリーの順番を入れ換えたりなどして編集したリストのことです。
- 本機では、当社製DVDビデオレコーダーで作成されたプレイリストを再生することができます。

2 [▲][▼]で再生したいプレイリストを選び、**[実行/決定]を押す**
- 選んだプレイリストが再生されます。

- プレイリスト番号は、[**1**]〜[**10/0**]や[**≧10**]を押して直接選ぶこともできます。
  例) 3の場合…[**3**]
  10の場合…[**≧10**]→[**1**]→[**10/0**]
  25の場合…[**≧10**]→[**2**]→[**5**]

■停止する
[**停止■**]を押す。
- プレイリスト一覧画面に戻ります。

■プレイリスト一覧画面を消す
[**プレイリスト**]または[**リターン**]を押す。

- プレイリスト再生中でも、通常再生と同じように早送り(早戻し)、一時停止、スロー再生ができます。
- プレイリストは、最大99まで表示されます。

- タイトル欄で表示できる漢字は、JIS第一水準のみです。それ以外の漢字や一部の記号は“ _ (アンダーバー) ”で表示されます。
- 本機では、タイトルの入力/変更やプレイリストの作成はできません。
- 本体表示窓に“ S-PIC ”と表示されたら静止画を再生しています。

HighMAT規格に準拠して記録されたディスクを再生する

HighMAT規格に準拠して記録されたディスク(➜9)のMP3やWMA、JPEGを再生することができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜19)**
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[DVD]**にする。
- HighMAT規格に準拠して記録されたディスクを入れる。

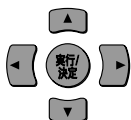
停止

プログラムナビ/トップメニュー

メニュー/プレイリスト

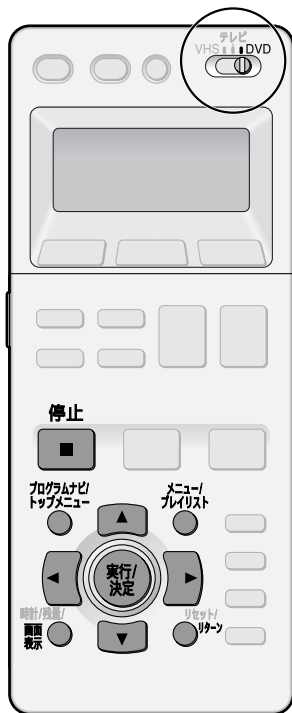
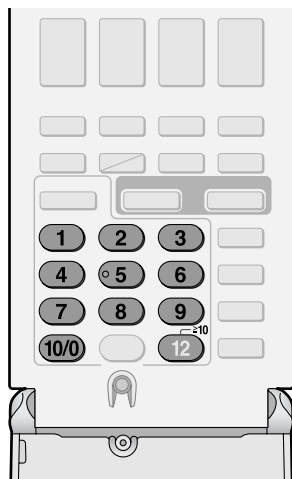
実行/決定

時計/残量/画面表示

リセット/リターン

■ふたをひらいたところ

1 **[◀][▲][▼][▶]で再生したい項目を選び、**

[実行/決定]を押す

- メニュー：
  このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。
- プレイリスト：
  再生が始まります。

■再生をやめる
[停止■]を押す。

■メニュー画面に戻る
[トップメニュー]を押す。
- **[リターン]**を押すと、1つ前のメニューに戻ります。

■ディスクに記録されたメニュー画面に切り換える
メニュー画面の表示中に、**[画面表示]**を押す。

■リスト画面から選んで再生する
1.再生中に、**[メニュー]**を押す。
2.**[◀][▲][▼]**でプレイリスト/グループ/コンテンツのリストを切り換える。
3.**[▶][▲][▼]**で再生したい項目を選び、**[実行/決定]**を押す。
- 選んだ項目の再生が始まります。
- リスト画面を消すには、**[メニュー]**を押してください。

テレビ画面

再生中

- HighMAT規格に準拠して記録されたディスクはプログラム/ランダム再生できません。プログラム/ランダム再生するときは、初期設定の“ HighMAT再生 ”**(➜67)**で“ しない ”を選んだあと、ディスクトレイを開閉してディスクを読み込んでください。

GUI画面で操作する

操作のしかた

DVD-V RAM DVD-A VCD CD MP3 WMA JPEG

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[DVD]にする。

1

時計/残量/ 画面表示

再生中または停止中に、操作したいGUI画面を出す

数回押す

- 押すごとに、

ディスク情報画面 (➜下記) ➜プログレスインジケーター画面 (➜右ページ) ➜ 本機情報画面 (➜58) ➜ なし ➜ ディスク情報画面

例)ディスク情報画面

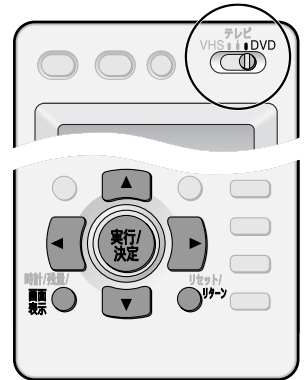
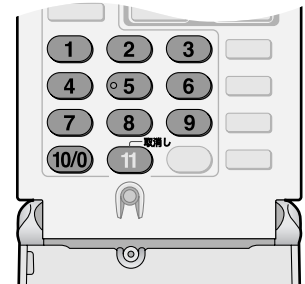
2

設定したい項目を選ぶ

[◀][▶]を押す

設定を変える

[▲][▼]を押す

- 各項目の操作について(➜56〜59)
- 各枠に"▲ ▼"マークが出ているときは、[▲][▼]で変更できることを示します。
- 項目によっては、[1]〜[10/0]や[実行/決定]を押して選びます。

■GUI画面を消す

[画面表示]を数回押す。または[リターン]を押す。

GUI画面の位置を変える

- テレビ画面上でGUI画面の一部が欠けたり、表示されなかったりする場合は、GUI画面を移動させてください。
 1. [◀][▶]で[バー上下移動](右はし)を選ぶ
 2. [▲][▼]で位置を変える(5段階)

- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態(停止中など)によっては操作できない項目があります。
- GUI画面以外でも行える項目の詳細は、それぞれのページをご覧ください。

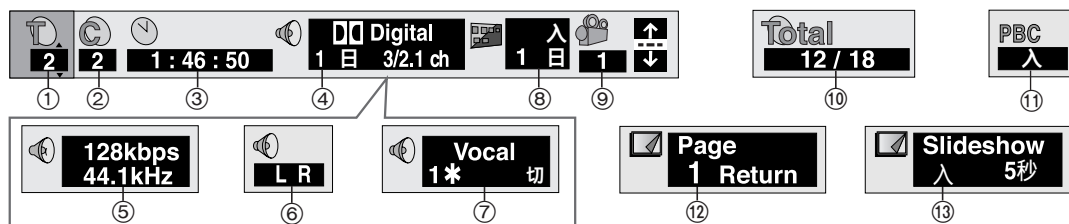
GUI(Graphical User Interface)バーとは

「画面を見ながら操作できる」ことを意味し、本機ではこの画面を「GUI画面」と呼びます。

■本機情報画面を選んだときは

設定切換アイコン(左はし"▲ ▼"マーク)が選ばれている状態で、[▲][▼]を数回押す。
- 押すごとに切り換わります。

再生設定 ⟷ 画質設定 ⟷ 音声設定 ⟷ 表示設定

■ふたをひらいたところ

GUI画面の内容

ディスク情報画面

① タイトル番号(T) DVD-V
プログラム番号(PG) RAM
プレイリスト番号(PL) RAM
グループ番号(G) DVD-A MP3 WMA JPEG
トラック番号(T) VCD CD
[▲][▼]で番号を選び、[実行/決定]を押す。

② チャプター番号(C) DVD-V
グループ内のトラック番号(T) DVD-A MP3 WMA
グループ内のピクチャー番号(P) JPEG
[▲][▼]で番号を選び、[実行/決定]を押す。

GUI画面の内容 (つづき)

ディスク情報画面 (つづき)

③ **時間指定再生** DVD-V RAM DVD-A
指定した時間から再生する。
例)1時間46分50秒から再生するとき
[1]→[4]→[6]→[5]→[10/0]→[実行/決定]

時間表示
DVD-V RAM DVD-A VCD CD
(VCD (SVCDのみ) MP3 WMA :
経過時間のみ表示)
[▲][▼]で選ぶ。

→ **タイトル/番組/プレイリスト/トラックの経過時間**
↓↑
グループ(DVD-A)/ディスク(VCD CD)の残り時間
↓↑
→ **タイトル/番組/プレイリスト/トラックの残り時間**

④ **音声番号(➔63)** DVD-V RAM DVD-A

⑤ **現在のビットレート(kbps)** MP3 WMA
サンプリング周波数(kHz) MP3 WMA
● 操作はできません。

⑥ **音声モード(➔63)** RAM VCD
[▲][▼]で選ぶ。

⑦ **カラオケボーカル入/切** DVD-V
(カラオケDVDのみ)
[▲][▼]で選ぶ。
● デュエットディスクで「V1」か「V2」を選ぶと、1人でもデュエットできます。

⑧ **字幕番号(➔63)**
DVD-V DVD-A (動画部のみ) VCD (SVCDのみ)
字幕入/切(➔63)
DVD-V RAM DVD-A (動画部のみ)
VCD (SVCDのみ)
トラック情報入/切 CDテキスト MP3 WMA
画像情報「日付」「詳細」「切」 JPEG
[▲][▼]で選ぶ。

⑨ **アングル番号(➔62)** DVD-V DVD-A (動画部のみ)
[▲][▼]で番号を選び、**[実行/決定]**を押す。

アングル JPEG
回転方向を選ぶ。
[▲][▼]で回転方向を選ぶ。

⑩ **トータルトラック番号** MP3 WMA
トータルピクチャー番号 JPEG
[▲][▼]で番号を選び、**[実行/決定]**を押す。
● 再生・選択中のトラックまたはピクチャー番号/ディスク内の総トラックまたはピクチャー数を表示します。

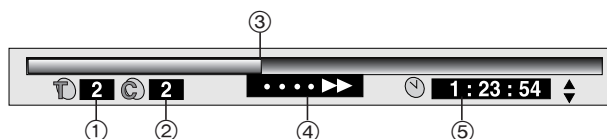
⑪ **メニュー再生の入/切状態表示** VCD
(プレイバックコントロール付ビデオCDのみ)
● 操作はできません。

⑫ **静止画番号** DVD-A (静止画付)
[▲][▼]で選ぶ。
● Page1に戻るには:
[◀][▶]で「Return」を選んで**[実行/決定]**を押します。

⑬ **スライドショー入/切** JPEG
スライドショー表示間隔 0〜30 秒 JPEG
[▲][▼]で選ぶ。

スライドショー状態表示 DVD-A
● 操作はできません。

プログレスインジケーター画面

③ ① 2 ② 2 ④ ••••▶▶ ⑤ 1:23:54

現在どの部分を再生しているかを表します。再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

① **再生中のタイトル番号**(T) DVD-V
トラック番号(T) VCD CD
プログラム番号(PG) RAM
プレイリスト番号(PL) RAM
グループ番号(G)
DVD-A MP3 WMA JPEG

② **再生中のチャプター番号**(C) DVD-V
トラック番号(T) DVD-A MP3 WMA
ピクチャー番号(P) JPEG

③ **現在の再生位置**(目安)

④ **再生状態**
再生速度

■早見(遅見)・早聞き(遅聞き)再生する
DVD-V DVD-A (動画部のみ)
(ドルビーデジタルのディスク)
映画のセリフなどを、早聞きしたり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときに再生速度を微調節できます。
再生中に、**[◀][▶]**を押す。 例)1.2倍速 ×1.2 ▶ 速度表示
● 5段階に変化します。
×0.8↔×0.9↔×1.0↔×1.2↔×1.4
● **[再生▶]**を押すと、通常再生に戻ります。
● 速度調節中(速度表示がオレンジ色の間)は、
・2チャンネル出力になります。
・アドバンスドサラウンドは働きません。
・デジタル出力が"PCM"に切り換わります。
● ディスクによっては働かない箇所があります。

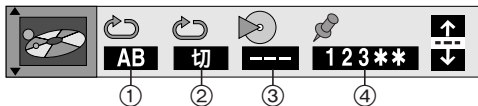
⑤ **時間**
タイトル/番組/プレイリスト/トラックの
経過時間↔残り時間
(VCD (SVCDのみ) MP3 WMA : 経過時間のみ表示)
[▲][▼]で選ぶ。

GUI画面で操作する(つづき)

GUI画面の内容 (つづき)

本機情報画面

再生設定

AB 切 --- 123** ①②③④

① **A-Bリピート(➔49)**
DVD-V RAM DVD-A VCD CD MP3 WMA
[実行/決定]で選ぶ。

② **リピートモード(➔49)**
DVD-V RAM DVD-A VCD CD MP3 WMA JPEG
[▲][▼]で選ぶ。

③ **再生モード(➔50)**
DVD-V DVD-A VCD CD MP3 WMA
内容変更はできません。
ーーー：通常再生
PGM：プログラム再生
RND：ランダム再生
ALL：オールグループ再生 DVD-A

④ **マーカー**
DVD-V RAM DVD-A VCD CD MP3 WMA JPEG
もう一度再生したいところで位置を記憶させる。(最大5カ所*)
*RAM：最大999カ所(当社製DVDビデオレコーダー(別売)などで付けたマーカーも表示されます)
1. **[実行/決定]**を押す。
 ● RAM のみ：続けて**[▶]**を押してください。
2. 記憶させたいところで、もう一度**[実行/決定]**を押す。

● **他にマーカーを付ける**
1. **[▶]**を押し「＊」を選ぶ。
2. 記憶させたいところで**[実行/決定]**を押す。

● **11カ所以上マーカーを付けるには** RAM
1. **[◀][▶]**で「1－10」を選び、**[▲][▼]**で「11－20」を選ぶ。
2. **[▶]**を押す。
3. 記憶させたいところで**[実行/決定]**を押す。

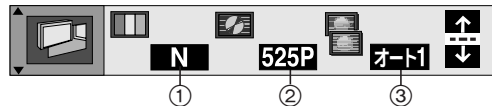
11－20 ＊＊＊

● **マーカーを呼び出す**
1. **[実行/決定]**を押す。
2. **[◀][▶]**で呼び出したい番号を選ぶ。
3. **[実行/決定]**を押す。

● **マーカーを取り消す**
1. **[実行/決定]**を押す。
2. **[◀][▶]**で取り消したい番号を選ぶ。
3. **[取消し]**を押す。
本機で付けたマーカーは、電源を切るか、ディスクトレイを開けると取り消されます。

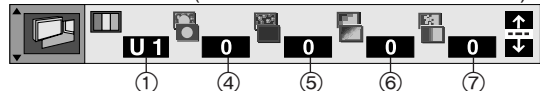
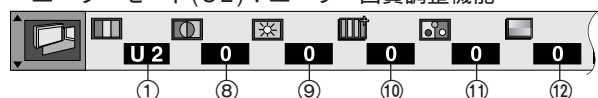
RAM
● プレイリスト再生時は働きません。
● マーカー番号はディスクの時間経過順に並び替わります。追加や取消しをすると、付けたときの番号と、呼び出したときの番号が異なることがあります。
● DVDビデオレコーダーなどでRAMディスクに記録したマーカーも取消すことができます。ただし、電源を切るか、トレイを開けると再び表示されます。

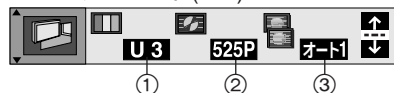
画質設定

N 525P オート1 ①②③

■ユーザーモード(U1)：MPEG. D.N.R.(デジタル・ノイズ・リダクション)

U1 0 0 0 0 ①④⑤⑥⑦

■ユーザーモード(U2)：ユーザー画質調整機能

U2 0 0 0 0 0 ①⑧⑨⑩⑪⑫

■ユーザーモード(U3)

U3 525P オート1 ①②③

① **画質モード**
DVD-V RAM DVD-A VCD JPEG
[▲][▼]でお好みの画質モードを選ぶ。
N ：ノーマル(通常)
C1 ：シネマ1(**➔60**)
C2 ：シネマ2(**➔60**)
U1、U2、U3※：ユーザー(自分で好みの画質にする)
●「ユーザー」モードに切り換えるには、
1. **[▲][▼]**で画質モード「U」を選ぶ。
2. **[▶]**で「U」の右横の数字を選ぶ。
3. **[▲][▼]**で「1」、「2」、「3」のいずれかを選ぶ。

U2

② **ビデオ出力モード**
DVD-V RAM DVD-A VCD JPEG
プログレッシブ出力できるディスクをプログレッシブ出力する、しないを選ぶ。
[▲][▼]で選ぶ。
525I：インターレース出力(プログレッシブ出力しない)
525P：プログレッシブ出力(プログレッシブ出力する)

上記の「ビデオ出力モード」で「525P」を選んだときのみ表示されます。

③ **変換モード**
DVD-V RAM DVD-A VCD
プログレッシブ出力変換方式を素材(**➔右ページ**)に合わせて選ぶ。
[▲][▼]で選ぶ。
オート1(標準)：映画再生。
オート2：オート1の変換方法に加え、30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応。
ビデオ：ビデオ素材。

④ **デプスエンハンサー(0～＋4)(➔60)**
[▲][▼]で調節する。

⑤ **3次元NR(0～＋4)/ドットNR(ON)**
0～＋4：画面全体のノイズを取り除く。
ドットNR：色と色の境界に見られるドット状のノイズを軽減する。
[▲][▼]で調節する。

⑥ **ブロックNR(0〜＋3)**
動画に見られるモザイク状のノイズを取り除く。
[▲][▼]で調節する。

⑦ **モスキートNR(0〜＋3)**
周囲とのコントラストがはっきりした部分に見える、もやのようなノイズを取り除く。
[▲][▼]で調節する。

⑧ **コントラスト(−7〜＋7)**
映像の白い部分と黒い部分に強弱をつける。
[▲][▼]で調節する。

⑨ **明るさ(0〜＋15)**
画面全体を明るくする。
[▲][▼]で調節する。

⑩ **シャープネス(−7〜＋7)**
水平方向の鮮鋭度(解像度)を変える。
[▲][▼]で調節する。

⑪ **カラー(−7〜＋7)**
色の濃さを変える。
[▲][▼]で調節する。

⑫ **ガンマ(0〜＋5)**
暗い部分を明るくする。
[▲][▼]で調節する。

音声設定

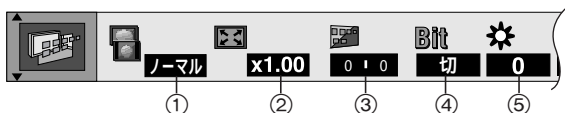
SP 切　切/48kHz　切
①　②　③

① **アドバンスドサラウンド(VSS)(➜61)**
DVD-V RAM VCD
[▲][▼]で選ぶ。

② **ダブル リ.マスター(➜62)**
DVD-V RAM DVD-A CD MP3 WMA
[▲][▼]で選ぶ。

③ **ダイアログエンハンサー(➜61)** DVD-V RAM
[▲][▼]で選ぶ。

表示設定

ノーマル　x1.00　0 ı 0　切　0
①　②　③　④　⑤

① **4：3アスペクト**
DVD-V RAM DVD-A VCD JPEG
16：9テレビへの4：3映像の表示のしかたを選ぶ。
[▲][▼]で選ぶ。
ノーマル　：テレビの画面幅いっぱいに引きのばす。
オート　：通常は“ シュリンク ”に、レターボックスの映像は“ ズーム ”に、自動的に切り換える。
シュリンク：テレビ画面中央に4：3の画面比にして映す。
ズーム　：4：3の画面比で拡大する。

② **ズーム(➜60)**
DVD-V RAM DVD-A(動画部のみ) VCD
[実行/決定]を押し、[◀][▶]でズームの種類を選んで**[実行/決定]**を押す。

ズーム倍率を微調節する
[▲][▼]で調節する。

③ **字幕位置移動/字幕明るさ(➜60)** DVD-V DVD-A
[▲][▼]で調節する。

④ **ビットレート表示**
DVD-V RAM DVD-A(動画部のみ) VCD
映像の種類(I/P/B)とビットレートの目安を表示する。
[▲][▼]で選ぶ。
切⟷入

● **表示の切り換えについて(ビットレート表示「入」時)**
1. **[画面表示]**を数回押し、ビットレート表示を出す。
2. [◀][▶]で切り換える。

押すごとに、

9.438 Mbps ▶ Ⓑ
• ビットレート Cur. 7.507 Mbps Ave. 6.730 Mbps 5.0 Mbps
Ⓑ Ⓐ Ⓒ

Ⓐ 平均ビットレート
Ⓑ 現在のビットレート
Ⓒ サンプリング期間中のビットレート履歴

動画再生時　：再生画像の平均ビットレート
静止時　　　：映像の種類とフレームのデータ量

⑤ **OSD明るさ(−3〜0〜＋3)**
画面表示の明るさを調節する。
[▲][▼]で調節する。

DVDソフトの素材(映像情報)について
以下の2とおりが一般的です。
本機は、DVDソフトに記録された映像情報がどちらの素材かを判別し、最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。
● **フィルム素材**
フィルムのイメージが24コマ/秒で記録されているもの。
(映画撮影で使われるフィルムには、24コマ/秒で画像が記録されています)最近では30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像も登場しつつあります。
● **ビデオ素材**
映像情報が30コマ/秒で記録されているもの。

ビットレートについて
1秒間の映像・音声などのデータ量を表します。
単位は“ bps(bit per second=ビット/秒) ”が使われます。数値が大きいほど画質・音質もよくなりますが、記録時間は短くなります。

I/P/Bについて
DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録する方式をとっています。
● I-picture(ピクチャー)　：共用データの基準として、単独で記録されるフレーム。
● P-picture(ピクチャー)　：過去のI-pictureまたはP-pictureを元に作られるフレーム。
● B-picture(ピクチャー)　：I-picture、P-picture両方を元に作られ、両者の間をうめるフレーム。
I-pictureの画質が最もよいため、画質調整などをするのに向いています。

映画や音楽をもっと楽しむ

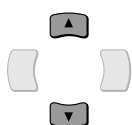
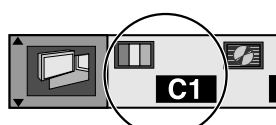
ソフトに合わせて設定を変える

DVD-V RAM DVD-A VCD CD MP3 WMA JPEG

準備
- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[DVD]にする。

映画鑑賞向けの画質にする(シネマ)

DVD-V RAM DVD-A VCD JPEG

1 画質設定(本機情報)のGUI画面を出して(➜56)、画質モードアイコン(➜58)を選ぶ
押す

2 モードを選ぶ
押す

- 押すごとに切り換わります。
  C1(シネマ1)⟷C2(シネマ2)⟷U1/2/3(ユーザー)⟷N(ノーマル)
- C1(シネマ1)：
  映画館で見ているようなしっとり感、さらに暗い場面では細部をはっきりさせます。
  C2(シネマ2)：
  昔の映画などをくっきり、さらに暗い場面では細部をはっきりさせます。
- GUIの本機情報「画質モード」の「ユーザー」で、好みの画質に調整することもできます。(➜58)

映像を拡大する(ズーム)

DVD-V RAM DVD-A(動画部のみ) VCD

いろいろな横縦比の映像を拡大してお使いのテレビ画面サイズに近づけます。

準備
- 表示設定(本機情報)の「TVアスペクト」をテレビに合わせて設定する。(➜59)
- 初期設定の「TVアスペクト」をテレビに合わせて設定する。(➜66)

1 再生中に、
押す

ズーム倍率
スクリーンサイズ ズーム-4:3標準
字幕位置移動/字幕明るさ

- 押すごとに切り換わります。
  4：3 標準 ⟶ ヨーロピアンビスタ ⟶16：9 標準
  シネマスコープ2 ⟵ シネマスコープ1⟵アメリカンビスタ

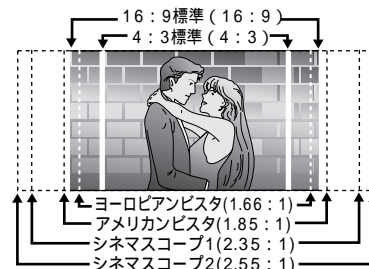
- 次の場合はズーム倍率が“ ×1.00 ”になります。
  - メニュー画面表示中
    (“ ×1.00 ”にならない場合もあります)
  - 電源を切るかトレイを開けたとき

スクリーンサイズ(横縦比)
- 映画にはいろいろな横縦比のものがあります。

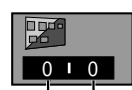
16：9標準（16：9）
4：3標準（4：3）
ヨーロピアンビスタ(1.66：1)
アメリカンビスタ(1.85：1)
シネマスコープ1(2.35：1)
シネマスコープ2(2.55：1)

■ズーム倍率を微調節する

ズームアイコンの表示中に、[▲][▼]で微調節する。

1.00倍〜1.60倍:0.01倍刻み
1.60倍〜2.00倍:0.02倍刻み

字幕位置/明るさを調節するとき

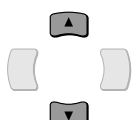
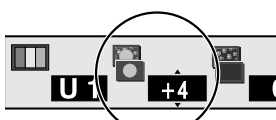
DVD-V DVD-A

1. ズームアイコンの表示中に、[◀][▶]で“ 字幕位置移動 ”/“ 字幕明るさ ”をハイライトさせる。
2. [▲][▼]で調節する。
   - 字幕位置移動
     (0 〜 −60)：2段階ずつ調節
   - 字幕明るさ(オート＊/0〜−9)
     ＊画面の明るさに応じて自動的に調節

字幕位置移動
字幕明るさ

映像に奥行き感を出す(デプスエンハンサー)

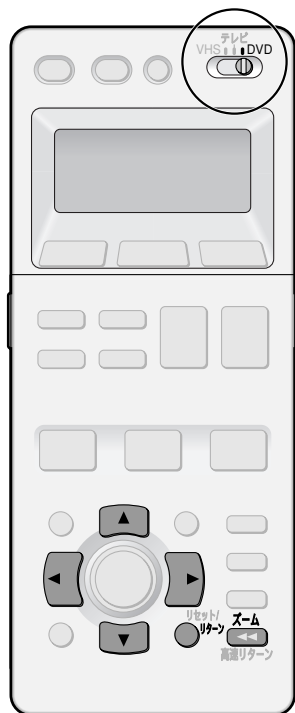
DVD-V RAM DVD-A VCD JPEG

主に背景部分に現れるノイズを除去することで、奥行き感のある映像を楽しめます。

1 画質設定(本機情報)のGUI画面を出して(➜56)、画質モードで“ U1 ”を選び(➜58)、デプスエンハンサーアイコン(➜58)を選ぶ
押す

2 奥行き感の数値を選ぶ
押す

- 押すごとに切り換わります。
  0⟷+1⟷+2⟷+3⟷+4

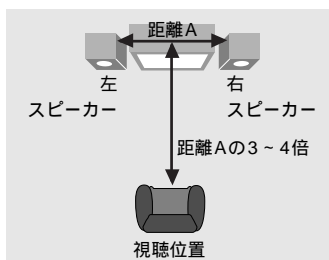
- シネマ画質(C1またはC2)(➜58,上記)のときには働きません。

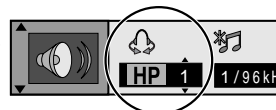
2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ (アドバンスドサラウンド＝V.S.S.) DVD-V RAM VCD

音に広がりを与え、フロントスピーカー(L、R)だけでサラウンド効果を楽しめます。

1 **音声設定(本機情報)のGUI画面を出して(➔56)、アドバンスドサラウンド(VSS)アイコン(➔59)を選ぶ**
数回押す

2 **モードを選ぶ**
押す
テレビ画面
- 押すごとに切り換わります。
  SP1(標準)⟷SP2(強)⟷SP切(スピーカー時)
  HP1(標準)⟷HP2(強)⟷HP切(ヘッドホン時)

■**フロントスピーカーで聞くときの効果的な聞きかた**

距離A
左 スピーカー
右 スピーカー
距離Aの3〜4倍
視聴位置

- 左右フロントスピーカー間の約3〜4倍離れて視聴すると効果的です。
- 「SP1」、「SP2」にしたときは、フロントスピーカーからしか音声は出ません。
- 働かせるときは、接続した機器側のサラウンド機能を「切」にしてください。
- ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- 音声がひずむときは、「切」にしてください。

- サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。
- ヘッドホンを使っても同様に楽しめます。
  右図の画面が出ている間に、[◀]で「SP」を選んだあと、[▲][▼]で「HP」を選びます。
- 2ch以上のディスクで働きます。
- 「入」時は、スピーカーを3本以上つないでいても、2チャンネルで出力されます。
- ドルビープロロジックを楽しむときは、正しいサラウンド効果を得るために「切」にしてください。

映画のセリフを聞き取りやすくする (ダイアログエンハンサー) DVD-V

1 **音声設定(本機情報)のGUI画面を出して(➔56)、ダイアログエンハンサーアイコン(➔59)を選ぶ**
数回押す

2 **モードを選ぶ**
押す
- 押すごとに切り換わります。
  入⟷切

- センターチャンネルにセリフが入っているディスクで働きます。
- 「入」にしていても、ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。

GUI画面やアイコン表示を消す
[リターン]を押す。

映画や音楽をもっと楽しむ(つづき)

ソフトに合わせて設定を変える(つづき)

準備
- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[DVD]にする。

より自然な音質で聴く(ダブル リ.マスター)

DVD-V RAM DVD-A CD

ディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然で豊かな音質をお楽しみいただけます。
- LPCM 2ch 44.1 kHzまたは48 kHzで記録されたディスクで働きます。

MP3 WMA

圧縮時に失われた周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。
- 44.1 kHzまたは48 kHzで記録されたディスクで働きます。

1 再生中に、音声設定(本機情報)のGUI画面を出して(➜56)、ダブル リ.マスターアイコン(➜59)を選ぶ
数回押す

2 奥行き感の数値を選ぶ
押す
- 押すごとに切り換わります。
1⟷2⟷3⟷切

テレビ画面

SP 切 1 96kHz 切

現在のサンプリング周波数

設定	DVD-V RAM DVD-A CD 音源に適した設定を選択	MP3 WMA 効果の強弱を選択
1	テンポの速い曲 (ポップス・ロックなど)	弱
2	さまざまなテンポの曲 (ジャズなど)	中
3	テンポの遅い曲 (クラシックなど)	強
切	切	切

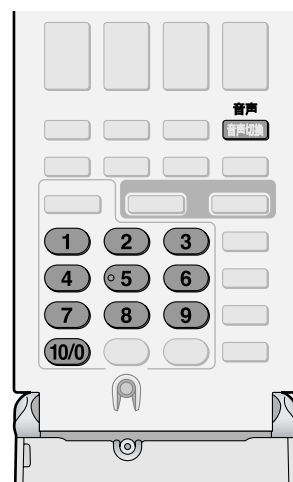
- デジタル接続(➜15)時は、“PCMダウンサンプリング変換”(➜67)の設定により表示どおりに効果が働かない場合があります。

テレビ VHS DVD

リセット/リターン

■ふたをひらいたところ

音声 音声切換

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0

アングルを切り換える

DVD-V DVD-A(動画部のみ)

準備
- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[DVD]にする。

アングルを切り換える

1 ディスク情報のGUI画面を出して(➜56)、アングルアイコン(➜57)を選ぶ
数回押す

2 アングルを選ぶ
押す
- 押すごとに切り換わります。

テレビ画面

ch 1 1

GUI画面やアイコン表示を消す
[リターン]を押す。

字幕、音声を切り換える

DVD-V RAM DVD-A VCD

準備
- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[DVD]にする。

字幕言語を切り換える・字幕を切/入する

DVD-V RAM DVD-A(動画部のみ) VCD(SVCDのみ)

字幕の変更と切/入ができます。
ただし、RAM は字幕の切/入のみ操作できます。

1 ディスク情報のGUI画面を出して(➜56)、字幕アイコン(➜57)を選ぶ
数回押す

2 字幕言語(➜下記)を選ぶ
押す
- 字幕の表示まで少し時間がかかることがあります。
- "――"表示：字幕が記録されていません。

テレビ画面 字幕言語

字幕を切/入するとき
1.右記手順1のあと、[▶]を押す。
(DVD-V DVD-A VCD のみ)
2.[▲][▼]で、「切」または「入」を選ぶ。

音声を切り換える

1 再生中に、
音声 音声切換
押す
- 押すごとに切り換わります。

DVD-V
音声属性(➜左記)
Digital 1 日 3/2.1 ch
音声言語(➜左記) チャンネル(➜77)

DVD-A
再生中の音声番号
1 LPCM 1 192k24b 2ch
選んだ音声番号

RAM VCD
L R
L R(左音声+右音声)→L(左音声)→R(右音声)

- "—"表示：音声が記録されていません。
- カラオケディスクではボーカルの切/入ができます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。
- RAM DVD-A (静止画付トラックと音声のみのトラック)：音声が切り換わると、曲の先頭に戻ります。
- DVD-A：
2つ目の音声がなくても、通常は選んだ音声番号を2まで表示します。
(再生中の音声番号は1のままです)

音声属性
LPCM/PPCM/Dolby Digital/DTS/MPEG：信号タイプ
k：サンプリング周波数　**b**：ビット数
ch：チャンネル数

音声/字幕言語
日：日本語	**蘭**：オランダ語
英：英語	**中**：中国語
仏：フランス語	**露**：ロシア語
独：ドイツ語	**韓**：韓国語
伊：イタリア語	**＊**：その他
西：スペイン語	

字幕、音声、アングル操作について
- それぞれ切り換えて操作することができるのは、字幕や音声、アングルが複数記録されているディスクの場合です。
- メニュー画面でのみ切り換えできるディスクもあります。
- [1]～[10/0]、[▲][▼]で選ぶこともできます。
- VCD(SVCDのみ)：
複数の字幕や音声が記録されていなくても、番号が切り換わります。

■**GUI画面やアイコン表示を消す**
[リターン]を押す。

初期設定を変える

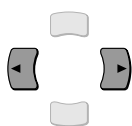
設定のしかた

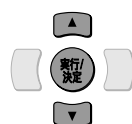
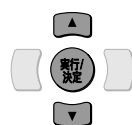
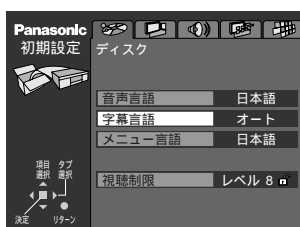
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜19)
- VHS/テレビ/DVDスイッチを[DVD]にする。

1 初期設定/リモコン(長押し) **押す**

❶メニュー項目(タブ)
- ディスク、映像、音声、画面表示、その他の5項目があります。これを選んで、各項目の詳細画面を呼び出します。

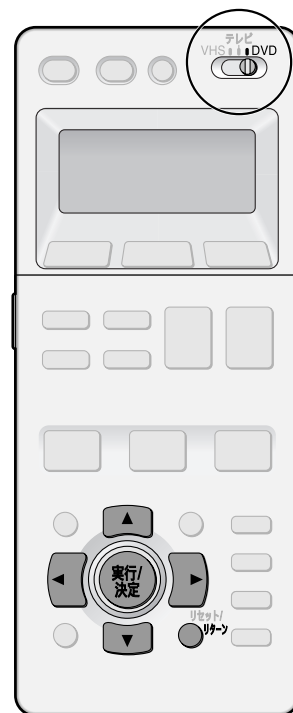
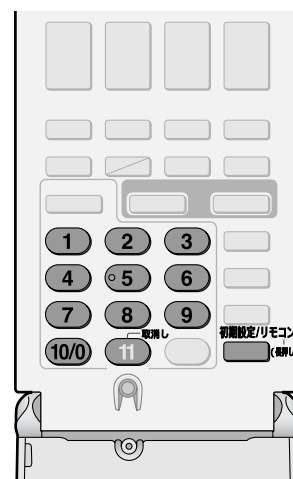
❷設定項目
- 上記で選んだメニュー項目内の詳細項目です。

❸設定内容
- 設定状態を表示します。項目を選ぶと、設定内容を変更することができます。

2 ❶メニュー項目(タブ)を選ぶ
数回押す

3 ❷設定項目を
[▲][▼]で選び、[実行/決定]を押す

❸設定内容を変える
[▲][▼]で選び、[実行/決定]を押す

4 初期設定/リモコン(長押し) **押す**

■ひとつ前の画面に戻る
[リターン]を押す。

- 電源を切っても、変更した内容は記憶されています。
- 操作によって異なる画面が出ることがありますが、そのときは画面の指示に従ってください。

■ふたをひらいたところ

初期設定の項目

ディスク

音声言語
- 言語(音声)を選ぶとき。

▶日本語(工場出荷時)

▶英語

▶オリジナル

ディスクの最優先言語が選ばれます。

▶その他＊＊＊＊

[1]～**[10/0]**で言語番号を入力する。**(➜下記)**

字幕言語
- 言語(字幕)を選ぶとき。

▶オート(工場出荷時)

「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示する。

▶日本語

▶英語

▶その他＊＊＊＊

[1]～**[10/0]**で言語番号を入力する。**(➜下記)**

ディスクの言語について
- 選んだ言語がディスクに記録されていない場合や、言語があらかじめディスク内で決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

メニュー言語
- メニューなど、テレビ画面に表示される言語を選ぶとき。

▶日本語(工場出荷時)

▶英語

▶その他＊＊＊＊

[1]～**[10/0]**で言語番号を入力する。**(➜下記)**

視聴制限
- お子さまなどに見せたくないソフトを再生できないようにしたり、再生を制限するとき。
  暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

▶8 すべて視聴可(工場出荷時)

すべてのディスクが再生可。

▶7～1

制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が再生不可。

▶0 すべて不可

すべてのディスクが再生不可。

■7以下を選んだとき

1. **[1]**～**[10/0]**で暗証番号(4けた)を入力し、**[実行/決定]**を押す。
2. もう一度**[実行/決定]**を押す。
   - ロックがかかります。

Panasonic 初期設定
視聴制限
暗証番号4ケタを入力して決定ボタンを押してください。
数字入力
項目選択
暗証番号 1 2 3 4
決定 リターン

■間違った暗証番号を入力してしまったとき
- 上記手順1で**[実行/決定]**を押す前は、**[取消し]**または**[◀]**を押すと取り消せます。
- 制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは「0 すべて不可」を選んでください。
- ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変えることができません。暗証番号は忘れないでください。

■制限内容を変えるとき(レベル7～0のとき)

[1]～**[10/0]**で暗証番号(4けた)を入力し、**[実行/決定]**を押す。

Panasonic 初期設定
視聴制限
ロック解除
暗証番号変更
レベル変更
一時解除
項目選択
決定 リターン

ロック解除　：制限を解除して「8 すべて視聴可」に戻す。
暗証番号変更：暗証番号を変える。
レベル変更　：制限レベルを変える。
一時解除　　：一時的に制限を解除する。電源を切るかディスクトレイを開けるまで、「8 すべて視聴可」の状態が続きます。

言語番号一覧表

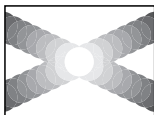
言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6588
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アプハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ヴォラピュック	8679
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国(朝鮮)語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール(スコットランド)	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
スペイン	6983
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タタール	8484
タミル	8465
タガログ	8476
タジク	8471
チェコ	6783
中国語	9072
チベット	6679
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア(白ロシア)	6669
ベンガル(バングラ)	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マライ(マレー)	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マダガスカル	7771
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア(レット)	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

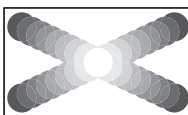
初期設定を変える(つづき)

初期設定の項目 (つづき)

映像

TVアスペクト
- テレビ画面サイズに合わせて画面表示方法を選ぶ。

▶4：3パン＆スキャン(工場出荷時)
画面サイズ比が4：3の従来のテレビを使うときで、パン＆スキャン指定されたワイドサイズのソフトをパン＆スキャン(左右の切れた画面)で映したいとき。

▶4：3レターボックス
画面サイズ比が4：3の従来のテレビを使うときで、ワイドサイズのソフトをレターボックス(上下に黒い帯のある画面)で映したいとき。

▶16：9
画面サイズ比が16：9のワイドテレビを使うとき。

- 従来サイズ比のテレビに接続し、ワイドサイズの映像をパン&スキャンで映したいときは、工場出荷時の設定を変える必要はありません。
- DVDの画面横縦比はディスクによってさまざまです。
従来サイズ比(4：3)のテレビへの表示方法は上記の設定で選べますが、ワイドテレビ(16：9)をお持ちのときは、テレビ側の画面モードで表示方法を変えることができます。
- ワイドサイズのソフトによっては、この設定にかかわらずレターボックスでしか映らないものがあります。

プログレッシブ出力
- 映像信号の出力方式を選ぶ。

▶不可(工場出荷時)
プログレッシブに対応していないテレビを使うとき。

▶可能
プログレッシブ対応のテレビを使うとき。
DVD専用・出力2端子のD1/D2映像端子と、テレビのコンポーネントビデオ入力端子またはD映像入力端子を接続すると、プログレッシブ映像が楽しめます。

スチルモード
- 静止画像の表示方法を選ぶ。

▶オート(工場出荷時)

▶フィールド
粗めの静止画像になります。
「オート」に設定するとぶれが生じるときに選びます。

▶フレーム
画質のよい静止画像が表示されます。
「オート」のままでは小さい文字や、細かい絵柄がはっきり見えないときに選びます。

■プログレッシブ対応テレビのご紹介

(当社製テレビのみ・2003年10月現在)

BSデジタルハイビジョンテレビ
- TH-36DH200
- TH-36DH100
- TH-36(32)D100
- TH-36(32)D30T
- TH-36(32/28)D30
- TH-36(32/28)D20
- TH-36(32/28)D10

ハイビジョンテレビ
- TH-36(32)FH10
- TH-36(32)FH1
- TH-36(32)HG1
- TH-28HW3
- TH-28HW2

プログレッシブワイドテレビ
- TH-36(32/28)FP50
- TH-36(32/28)FP30
- TH-36(32/28)FP25
- TH-36(32/28)FP20
- TH-36(32/28)FP15
- TH-36(32)FP10
- TH-32(28)FS10
- TH-32(28)FY10

プログレッシブテレビ
- TH-29FP5
- TH-29FP3
- TH-33(29)FP2

DVDビデオ内蔵ワイド液晶テレビ
- TH-15DTX1
- TH-15DT2
- TH-15LV1

ワイド液晶テレビ
- TH-32LX10
- TH-22LH10
- TH-22(15)LT1

4:3液晶テレビ
- TH-20(17/14)TA3
- TH-20(17/14)LA1

プラズマディスプレイ
- TH-42(37)PAS10
- TH-37PD10
- TH-42(37)PD2
- TH-50PH50
- TH-50PH3
- TH-42(37)PM50
- TH-42PM30
- TH-42(37)PM20
- TH-42(37)PD10
- TH-42(37)PM2
- TH-50(42)PXS10
- TH-50(42)PX10

リアプロジェクター
- TH-48FH10
- TH-47FP10

液晶プロジェクター
- TH-AE300
- TH-AE200
- TH-AE100

当社製以外のテレビをお使いになる場合は、「DVDプログレッシブ出力のコピー禁止処理システム(マクロビジョン方式)」に対応している525P映像入力端子が付いているか、テレビメーカーにお問い合わせください。

音声

デジタル：デジタル接続(➜15)
アナログ：アナログ接続(➜14, 15)

PCMダウンサンプリング変換 デジタル
- 96 kHzまたは88.2 kHz音声の再生方法を選ぶ。

▶しない(工場出荷時)
96 kHzまたは88.2 kHzで出力するとき。

▶する
48 kHzまたは44.1 kHzに変換して出力するとき。

- 接続機器が96 kHzまたは88.2 kHzに対応していないときは、"**する**"を選んでください。
- 以下の場合は、設定にかかわらずダウンサンプリング変換します。
  - ・サンプリング周波数が96 kHzをこえるとき
  - ・ディスクが著作権保護されているとき
- 96 kHzに対応している接続機器でも、88.2 kHzに対応していないことがあります。(詳しくは、接続機器の説明書をお読みください)

Dolby Digital デジタル
- 接続機器がデコーダー内蔵かどうかに応じて、信号の出力状態を選ぶ。

▶Bitstream(工場出荷時)
ドルビーデジタルデコーダー内蔵機器と接続するとき。

▶PCM
ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していない機器と接続するとき。

DTS Digital Surround デジタル
- 上記の「Dolby Digital」と同様の選択をDTS信号に対して行います。

▶PCM(工場出荷時)
DTSデコーダーを内蔵していない機器と接続するとき。

▶Bitstream
DTSデコーダー内蔵機器と接続するとき。

音声のダイナミックレンジ圧縮 デジタル アナログ
(ドルビーデジタルのみ)
- 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

▶切(工場出荷時)

▶入

早送り時の音声 デジタル アナログ
(DVD-V RAM VCD)
- 早送りするときに、音声が聞こえるようにするかしないかを選ぶ。(➜48)

▶あり(工場出荷時)

▶なし

- DVD-A：
「なし」にしても音声が聞こえるものがあります。

画面表示

画面メニュー言語
- 初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語を選ぶ。

▶日本語(工場出荷時)

▶English

画面メッセージ
- 操作時の表示をテレビ画面に表示するかしないかを選ぶ。

▶入(工場出荷時)

▶切

その他

HighMAT再生
- HighMAT方式で記録したディスクの再生方法を選ぶ。(設定を切り換えたあと、ディスクトレイを開閉してディスクを読み込んでください)

▶する(工場出荷時)
HighMAT規格に準拠して記録されたディスクとして再生するとき。

▶しない
MP3/WMA/JPEGディスクとして再生するとき。

混在ディスク 音声＆静止画
(音楽ファイル(MP3/WMA)とJPEGを両方含むディスク)
- 再生するファイル形式を選ぶ。(設定を切り換えたあと、ディスクトレイを開閉してディスクを読み込んでください)

▶音声(MP3/WMA)(工場出荷時)

▶静止画(JPEG)

DVDビデオモード
(DVDビデオとして再生できるDVDオーディオディスク)
- DVDオーディオに収録された映像の再生方法を選ぶ。(電源を切るかトレイを開けると「しない」に戻ります)

▶しない(工場出荷時)
ディスクをDVDオーディオとして再生するとき。

▶する
ディスクをDVDビデオとして再生するとき。

デモモード
▶しない(工場出荷時)

▶する
テレビ画面上でデモンストレーション表示が始まります。
デモンストレーションは、どのボタンを押しても停止します。

クイックセットアップ
- テレビ画面上で、基本的な初期設定の5つの項目を対話形式で設定できます。
各項目の詳しい内容については、それぞれのページをお読みください。(➜65〜67)

▶する
クイックセットアップの項目
- ・画面メニュー言語
- ・音声言語
- ・字幕言語
- ・TVアスペクト
- ・プログレッシブ出力

▶しない(工場出荷時)

DVDからダビングする

ワンタッチ操作で簡単にダビングする (ワンタッチダビング)

ディスク※に録画された番組をビデオカセットにワンタッチ操作でダビングすることができます。
※カセットにダビングする再生用ディスクは、当社製DVDビデオレコーダー(別売)で録画したDVD-RAMをお使いください。
DVDビデオなど、DVD-RAM以外のディスクはワンタッチダビングすることはできません。

1枚のディスク全部をカセットに自動的にダビングします。

準備
- テレビにDVD側の画面を出す。**(➜19)**

DVD側:
- ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。

VHS側:
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜22)**
- テープに十分な残量があることを確認しておく。
- 録画モードを選んでおく。**(➜27)**

1 ワンタッチダビング

VHS･DVDともに停止状態で、

テレビ画面

ダビング▶ DC 標準

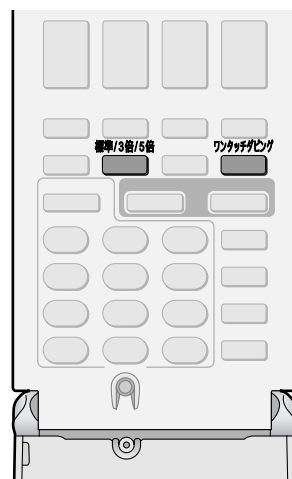
約5秒以上押し、ダビングが始まるのを確認する

- ディスクの再生が終わるか、またはテープの終端になったとき、自動的にダビングを終了します。

■ダビングをやめる
[停止■]を押す。
- ダビングが終了すると、ダビング終了のメッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます。

- 予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。**(➜35)**
- ダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます。
  - ・VHS側の録画チャンネル表示→“ DC ”**(➜右ページ)**
    (DC:ダビング入力チャンネル)
  - ・テレビへの出力→VHSより出力
  - ・DVD側の初期設定の「画面メッセージ」→「切」**(➜67)**
  - ・DVDの再生時の音声出力→ステレオ(L R)
- 「VTRモード設定」の「共用出力選択」を「手動」**(➜41)**にしている場合、ダビング開始時にDVDからの出力を選んでいたときは、ダビングが始まってもVHS側に出力が切り換わりません。
- ダビングが開始･実行されない場合は、本体表示窓のカセットマークとDVD動作表示が約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- ダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます。
  - ・電源の切/入
  - ・**[停止■]**によるダビングの中止
- 本体表示窓でDVD動作状態表示が点滅時にダビングを開始すると、その位置からダビングが実行されます。

本体表示窓

DVD動作状態表示

頭出し信号の書き込みについて
DVDからVHSへのワンタッチダビング時には、１つの番組ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます。
カセットへのダビング後は、**頭出し[|◀◀][▶▶|]**を使って番組を探すことができます。

テレビ VHS DVD

スキップ/頭出し チャンネル トラッキング

停止 一時停止/スロー 再生

録画

■ふたをひらいたところ

標準/3倍/5倍 ワンタッチダビング

VHS DVD 共通

録画開始位置を指定してダビングする

ディスクの内容をビデオカセットに録画することができます。
ただし、コピー禁止処理のされていないものに限ります。
- **ディスクの多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、以下の方法でも録画・録音できないようになっています。**

準備
- 初期設定の「画面メッセージ」を「切」にしておく。(➜67)
  不要な文字や表示を出さなくなります。
- DVD側に再生するディスク、VHS側に「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜22,44)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[VHS]**にする。

- VHSの入力チャンネルが“ dc ”のときのみ録画することができます。
  テレビ画面には、“ DC ”と表示されます。
- “ dc ”チャンネルにしてディスクを再生すると、テレビ画面はDVDの映像が映っていますが、VHS/DVD出力切換はVHS側になっています。

1 チャンネル

“ dc ”チャンネルを選ぶ

数回押す

- テレビにDVDの映像が表示されます。

本体表示窓　CH dc

2 VHS テレビ DVD

[DVD]にする

3 再生

ディスクを再生し、録画の開始点を探す

押す

一時停止/スロー

録画の開始点で、静止画にする

押す

4 VHS テレビ DVD

[VHS]にする

5 再生

録画の開始点を探す

押す

一時停止/スロー

録画の開始点で、静止画にする

押す

録画

録画の一時停止にする

押す

6 標準/3倍/5倍

録画モードを選ぶ

数回押す

- “ 標準 ”、“ 3倍 ”、“ 5倍 ”から選びます。

7 一時停止/スロー

押す

- VHSの録画とDVDの再生が同時に始まります。

録画　CH dc

- コピー禁止処理がされているディスクを入れていると、テレビ画面に“ 録画できません ”と表示されます。そのまま録画を続けたときは、映像が乱れて録画されてしまいます。

■録画をやめる

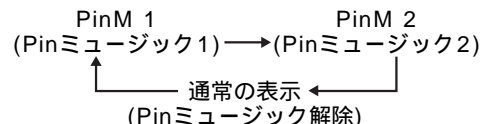
1. **[停止■]**を押す。録画が停止します。
2. **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[DVD]**にする。
3. **[停止■]**を押す。DVDの再生が停止します。

映像に音楽を付ける(Pin(ピーイン)ミュージック)

映像に音楽を付けて再生・録画する (Pinミュージック)

デジタルカメラやビデオカメラで撮影した映像や、JPEGなどDVD側の映像を再生しながら、ディスクや外部音響機器などからの音声をBGMのようにして楽しむことができます。

Pinミュージックには2種類あり、**[Pinミュージック]**を押すごとに右図のように切り換えることができます。

PinM 1(Pinミュージック1) → **PinM 2**(Pinミュージック2) → **通常の表示**(Pinミュージック解除) → PinM 1

- **Pinミュージック1：**
  - ・デジタルカメラやビデオカメラで撮影した映像を再生しながら、ディスクの音声をBGMのようにして楽しむことができます。
  - ・自動的に映像は外部入力2(L2)端子から入力されます。音声はDVD側になります。
  - ・最初は“ L2 ”チャンネルが選ばれていますが、カメラで再生しない(外部入力を使わない)ときは、**チャンネル[∧][∨]**を押して、テレビ番組などの映像にすることもできます。(音声はDVD側のままです)
- **Pinミュージック2：**
  - ・JPEGなどDVD側の映像を再生しながら、外部音響機器などからの音声をBGMのようにして楽しむことができます。
  - ・自動的に音声は外部入力2(L2)端子から入力されます。映像はDVD側になります。
  - ・最初は“ L2 ”チャンネルが選ばれています*が、外部音響機器などから音源を取り込まない(外部入力を使わない)ときは、カセットを再生してVHS側からの音声にしたり、**チャンネル[∧][∨]**を押して、テレビ番組などの音声にすることもできます。(映像はDVD側のままです)
  - ＊Pinミュージック1で“ L2 ”チャンネル以外を選んでいた場合、Pinミュージック2での最初のチャンネルはPinミュージック1で選んでいたチャンネルになります。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜19)**
- Pinミュージック1をするときは、DVD側にBGMなどに使いたいディスクを入れる。**(➜44)**
- Pinミュージック2をするときは、外部音響機器などにBGMなどに使いたい音源を用意する。

映像に音楽を付けて再生する

準備 ● **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を**[DVD]**にする。

1

■**Pinミュージック1の場合**

再生 ▶ 一時停止/スロー ❚❚/❚▶

[再生▶]でDVD側の再生開始点を探し、
[一時停止/スロー❚❚/❚▶]を押す
- 再生開始点で一時停止(静止)します。

■**Pinミュージック2の場合**

外部音響機器側で、
音源を準備する

2

Pinミュージック

“ PinM 1(Pinミュージック1) ”または
“ PinM 2(Pinミュージック2) ”を選ぶ
押す

本体表示窓 PinM 1

例)Pinミュージック1

3

■**Pinミュージック1の場合**
カメラ側で
再生を始める

■**Pinミュージック2の場合**
外部音響機器側で
再生を始める

4

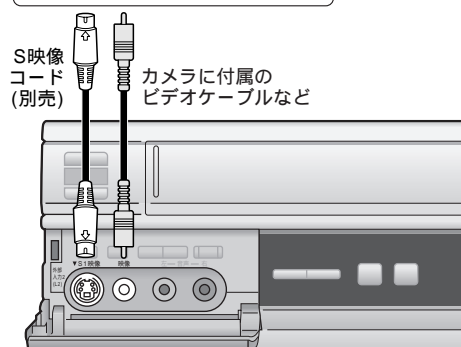
再生 ▶

DVD側で再生を始める
押す

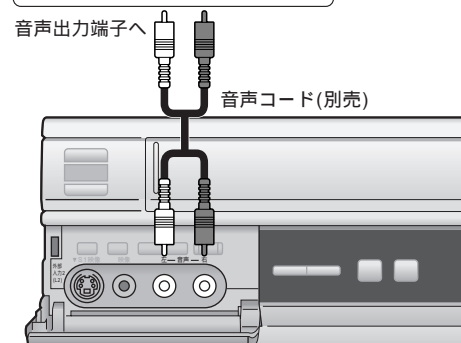
■**DVDの再生をやめる**
[停止■]を押す。

■**Pinミュージック1の場合**

デジタルカメラ(別売)
ビデオカメラ(別売)　など

S映像コード(別売)
カメラに付属のビデオケーブルなど

■**Pinミュージック2の場合**

外部音響機器(別売)　など

音声出力端子へ
音声コード(別売)

映像に音楽を付けて再生しているものを録画する

Pinミュージック機能を使って再生している内容をビデオカセットに録画することができます。
ただしPinミュージック2の場合、ディスクがコピー禁止処理のされていないものに限ります。

準備
- VHS側に「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜22)
- **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[**VHS**]にする。

1 **[再生▶]で録画開始点を探し、[一時停止/スロー❚❚/❚▶]を押して、**
[録画●]を押す
- 録画の一時停止になります。

2 **録画モードを選ぶ**
数回押す
- "標準"、"3倍"、"5倍"から選びます。

3 **[DVD]にする**

4 **[再生▶]でDVD側の再生開始点を探し、**
[一時停止/スロー❚❚/❚▶]を押す
- 再生開始点で一時停止(静止)します。

5 **"PinM 1(Pinミュージック1)"または"PinM 2(Pinミュージック2)"を選ぶ**
押す

本体表示窓 PinM 2

例)Pinミュージック2

6 **[VHS]にする**

7
■Pinミュージック1の場合
カメラ側で
再生を始める

■Pinミュージック2の場合
外部音響機器側で
再生を始める

8 **押す**
- VHSの録画とDVDの再生が同時に始まります。

■録画をやめる
1. [**停止■**]を押す。録画が停止します。
2. **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[**DVD**]にする。
3. [**停止■**]を押す。DVDの再生が停止します。

■ふたをひらいたところ

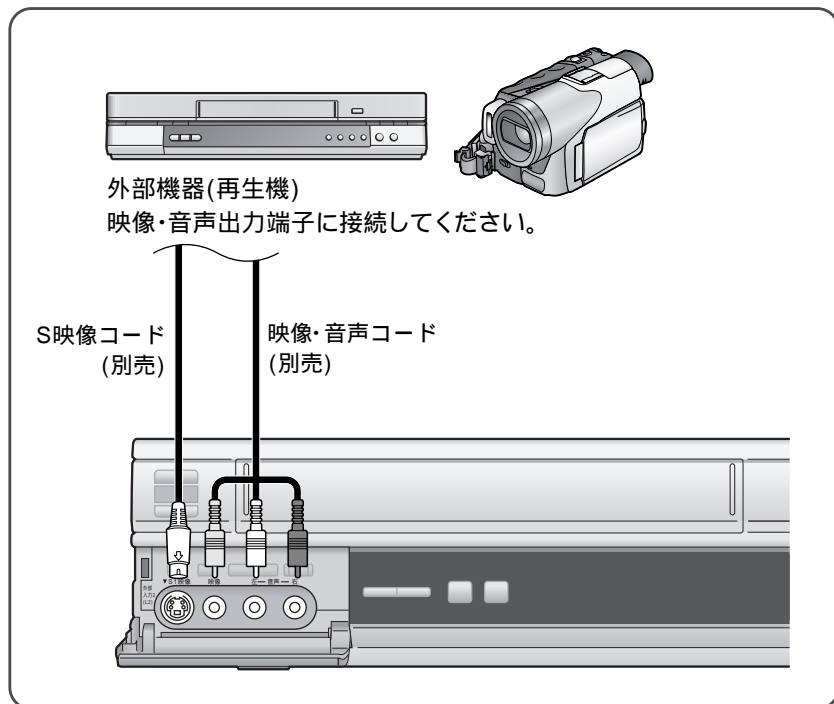
- Pinミュージック中は、[**VHS/DVD出力切換**]を押しても出力を切り換えることはできません。

Pinミュージックを解除するとき
[**Pinミュージック**]を1回、または2回押して、本体表示窓を通常の表示にする。(➜左ページ)

外部入力を録画する VHS DVD 共通

他のビデオなどから録画する

外部機器(再生機)
映像・音声出力端子に接続してください。

S映像コード(別売)
映像・音声コード(別売)

■ふたをひらいたところ

準備
● **VHS/テレビ/DVDスイッチ**を[**VHS**]にする。
●「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜22)

1 チャンネル
外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ
押す
本体表示窓 CH L2
L1：外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき

2 再生
録画の開始点を探す
押す

一時停止/スロー
録画の開始点で、静止画にする
押す

録画
録画の一時停止にする
押す

3 標準/3倍/5倍
録画モードを選ぶ
数回押す
● "標準"、"3倍"、"5倍"から選びます。

4
再生機で、
再生を始める

5 一時停止/スロー
録画を始めたい場面で、
押す

■録画をやめる
[停止■]を押す。
● 再生機も停止させてください。

BSチューナー内蔵テレビからBS番組を予約録画するとき
● 本機後面の外部入力1(L1)端子とテレビのモニター出力端子を接続している場合は、Gコード予約でBS番組を録画することができます。
その際、本機の録画チャンネルは自動的に外部入力チャンネル"L1"が選ばれます。
詳しくは、テレビの説明書もお読みください。

● 外部機器の音声出力端子がモノラルのときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

映像が乱れたり、色合いが悪くなったりするとき
● 市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)やBSデジタル/CSデジタル放送などには、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。
コピー禁止処理されている信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

本機を再生機として使うとき
● VTRモード設定(➜41)の「オンスクリーン」を「切」にすると、画面に不要な文字や表示を出さなくなります。

テレビの近くで操作するとき
● 再生機をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

故障かな？

修理を依頼される前に、症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(**➜83**)にお問い合わせください。

VHS/DVD共通

電源

■電源プラグをコンセントに差し込んでいるのに、操作できない
- 予約録画の待機中になっている。(**➜35**)

■自動的に電源が切れた
- 電力モード設定「自動電源 切」が「2H」または「6H」になっている。(不要な電力の消費をおさえます)(**➜42**)

接続･設置

■テレビに本機の画面が出ない
- テレビの入力を切り換えていない。(**➜19**)

リモコン

■リモコンが操作できない
- 電池が消耗している。(**➜12**)(リモコン表示部は点灯していても、操作できないときがあります)
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していない。(**➜12**)
- リモコンと本体の間に障害物などがある。(**➜12**)

■本機(VHS側)が操作できない
- **[VHS/テレビ/DVD]スイッチ**が**[VHS]**になっていない。
- 予約録画の待機中になっている。(**➜35**)
- 本体とリモコンモードが合っていない。(**➜42**)

■テレビが操作できない
- **[VHS/テレビ/DVD]スイッチ**が**[テレビ]**になっていない。
- メーカー番号が合っていない。(**➜18**)

■本機(DVD側)が操作できない
- **[VHS/テレビ/DVD]スイッチ**が**[DVD]**になっていない。

VHS

カセット

■カセットが取り出せない
- 予約録画の待機中、または実行中になっている。(**➜35**)
- 録画中になっている。(**➜27**)

再生

■再生できない
- 他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは再生できません。

■再生画面がチラチラする
- ビデオヘッドが汚れている。(**➜26**)
- テープが古い、またはいたんでいる。(**➜8**)

■再生画面がブルーバックになる
- テープの未録画部分、または記録状態の悪い部分を再生している。
- 汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。
  →このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

録画･予約録画

■録画できない
- カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。(**➜22**)
- カセットの誤消去防止用つまみが「OFF」になっている。(**➜22**)

■テレビ番組が録画できない
- 録画したい番組のチャンネルを選んでいない。(**➜27**)

VHS (つづき)

■Gコード予約ができない
- ガイドチャンネルが正しく設定されていない。(**➜21**)
- 複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。
  →ガイドチャンネルを正しく設定する。また、不要なチャンネルは削除する。(**➜21**)

■予約録画が正しくできない
- 予約内容(予約チャンネルや開始・終了時刻など)が間違っている。(**➜34**)
- 予約録画の待機状態になっていない。(**➜35**)
- 予約録画の時間帯が重なっている。

■[停止■]を押しても、予約録画が終わらない
- 予約録画実行中は**[停止■]**を押しても停止しません。(**➜35**)

■予約録画が終わっても、予約内容が消えない
- 毎日・毎週予約のときは消えません。

表示

■テープカウンター表示の値が動かない
- テープの未録画部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。

汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。
このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■本体表示窓の時刻表示が“ 0：00 ”で点滅している
- 時刻が合っていない。(**➜43**)

■電源を切ったら、本体表示窓の表示が消えた
- 電力モード設定「時刻表示」が「切」になっている。(**➜42**)

音声

■聞きたい音声が聞こえない
- 正しい音声を選んでいない。(**➜40**)

■音声がステレオではない
- 映像・音声コードで接続していない。(このときは常にモノラル音声になります)
- ステレオ音声を選んでいない。(**➜40**)

■ステレオ音声がブツブツと聞こえる
- トラッキングがずれている。(**➜26**)
- 再生中のテープに傷などが付いている。

編集

■黒い帯状のノイズが録画された
- 再生側ビデオがテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。
  →再生側のビデオをテレビから離す。

■外部機器から録画・録音できない
- 正しく接続していない。
- 再生機を接続した外部入力チャンネル“ L1 ”または“ L2 ”を選んでいない。(**➜左ページ**)

■ビデオソフトをダビングしたが、映像が乱れたり、色合いが悪くなったりする
- コピー禁止処理されているビデオをダビングした。
  →市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)などは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。コピー禁止処理された映像は正しく録画できません。

故障かな？(つづき)

VHS (つづき)

編集 (つづき)

■DVDから録画・録音できない
- DVDからビデオカセットへ録画するときに、“ dc ”チャンネルを選んでいない。(➜69)
- 市販されているDVD(レンタルDVDも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。
  このようなディスクは録画・録音できません。

■編集後の音声レベルがDVD側とVHS側で合っていない
- ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。
  会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、ビデオカセットに録画したときに音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。

DVD

再生

**■[再生▶]を押しても再生が始まらない
またはすぐに停止する**
- ディスクを正しく入れていない。(➜44)
- 再生できないディスクを入れている。(➜9)
- ディスクが汚れている。(➜10)
- 初期設定の「視聴制限」で再生を制限している。(➜65)

■本体表示窓に“ No DISC ”と表示された
- ディスクが正しく入っていない。(➜44)

■本体表示窓に“ No PLAY ”と表示された
- 再生できないディスクが入っている。(➜9)
- 初期設定の「視聴制限」で再生を制限されているディスクが入っている。(➜65)

■テレビ画面に“ ディスクを確認してください。”と表示された
- ディスクが汚れている。(➜10)
- ディスクが汚れていないのにこのメッセージが表示されるときは、光ピックレンズ※の汚れが考えられます。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
  ※ ディスクの信号を読みとるための本機に内蔵されているレンズ。
- ファイナライズされていないDVD-Rを再生しようとした。(➜9)

■テレビ画面に“ GXX PXX の画像ファイルは表示できません ”と表示された
- 本機で表示できない画像ファイルを再生しようとした。

■DVD-Rが再生できない
- 当社製DVDレコーダー(別売)で録画していない。
- 当社製DVDレコーダー側でファイナライズしていない。
  →このようなディスクを再生すると、しばらく読み込みしたあと、本体表示窓に“ No PLAY ”と表示され、再生できません。

■テレビに映像が映らない、または画面サイズがおかしい
- 正しく接続していない。
- テレビの入力切換が正しくない。
- 初期設定の「TVアスペクト」を正しく設定する。(➜66)
- テレビ側の画面モードを変更する。
- プログレッシブ入力に対応していないテレビでプログレッシブ映像を見ようとした。
  →プログレッシブ入力に対応していないテレビでは、本機のプログレッシブ映像はお楽しみいただけません。

DVD (つづき)

■プログレッシブ出力時に、映像の一部が二重にぶれて見える
- 映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する現象ですので、故障ではありません。
  →[プログレッシブ]を押して、本体表示窓に“ PR OFF ”を表示させる。(インターレースでは支障なく再生できます)(➜45)

■早送り(早戻し)をしたら映像が乱れる
- 多少乱れることがありますが、故障ではありません。

■音声が出ない、または音がおかしい
- 正しく接続していない。
- 接続した機器(アンプなど)で音量調節する。
- 接続した機器の入力切換が正しくない。
- 3本以上のスピーカーを接続しているときは、アドバンスドサラウンド(V.S.S.)を「切」にする。(➜61)
- 早見(遅見)･早聞き(遅聞き)再生中は、2チャンネル出力になります。
- 再生速度を切り換えるときに、音が途切れることがあります。
- マルチチャンネルのDVDオーディオディスク再生時に、ダウンミックスが禁止されているディスクの場合は、フロント(L/R)の信号のみ出力されます。ディスクに付属の説明書もあわせてお読みください。
- WMAの再生中に雑音が生じることがあります。

■音声効果が働かない
- 早見(遅見)･早聞き(遅聞き)再生中は、アドバンスドサラウンド(V.S.S.)は働きません。

■耳を刺激するような音が出る
- 他の機器とデジタル接続しているときは、接続した機器に応じて、初期設定の「Dolby Digital」および「DTS Digital Surround」を正しく設定する。(➜15,67)

■音声言語、字幕言語が切り換えられない
- 複数の言語が入っていないディスクは切り換えできません。
- [音声]などを押しても切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。

■字幕が出ない
- 字幕の入っていないディスクでは出ません。
- 字幕が「切」になっている。(➜63)
- A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーを付けたところの前後では、字幕が表示されないことがあります。

■アングルを変えて見ることができない
- 複数のアングルが記録されている場面でのみ働きます。

■GUI画面が欠ける、または表示されない
- GUI画面の表示位置を変える。(➜56)

■画面メッセージが出ない
- 初期設定の「画面メッセージ」を「切」にしている。(➜67)

■テレビ画面に“ プログレッシブ出力が不可になっています ”と表示された
- 初期設定の「プログレッシブ出力」が「不可」になっている。(➜66)

**■視聴制限で設定した暗証番号を忘れた
DVD側の設定を工場出荷時に戻したい**
- 以下の操作をすると、初期設定の内容を工場出荷時に戻すことができます。
  →1. 停止中に、本体の[再生▶](DVD操作部)、[⏏開/閉]、[巻戻し◀◀](VHS操作部)の3つを本体表示窓に“ INIT(イニシャライズ Initializeの略) ”と表示されるまで同時に押し続ける。
  2. 本体の電源を切/入する。

自己診断表示機能

本機は異常の状態をお知らせする自己診断表示機能を持っています。
- 本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示窓に下記のサービス番号を表示します。
- サービス番号は、例えば“ U11 ”のように、英文字と2けたの数字で表示されます。

■U11
ビデオヘッドが汚れている
- ビデオヘッドをクリーニングする。**(➜26)**

■U30
リモコンモードが合っていない
- リモコンモードを合わせる。**(➜42)**

■H□□またはF□□
異常と思われます
(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります)
- 「故障かな?」の項目に従って点検してください。
  それでもサービス番号が消えないときは、以下の操作をしてください。

  →1. 電源プラグをコンセントから抜き、数秒後再び差し込む。
  2. **[VHS/DVD電源]**を押し、電源を入れる。
  (直ることがあります)

  上記の操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。
  なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などとお知らせください。

Q&A

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。

VHS/DVD共通

電源

■転居先で使えるか?
- 日本国内であれば使えます。
  →転居先で受信チャンネルを正しく設定し直してください。
  (➜20,21)

■海外でも使えるか?
- 本機は日本国内専用です。
  海外では電源電圧などが異なるため使えません。

接続

■モノラルテレビと接続したいが?
- ステレオ↔モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。**(➜76)**

■ビデオ入力(映像･音声)端子がないテレビと接続したいが?
- 本機とは接続できません。

■ハイビジョンテレビに接続できるか?
- できます。
  特にDVDの場合は、高画質で楽しむために、DVD対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。
  ハイビジョン方式(MUSE)専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。

■S映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらよいか?
- DVD側の映像のみをお楽しみいただく場合は、コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続することをおすすめします。**(➜16)**
  コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像入力端子に接続したときよりも、さらに忠実に色を再現します。
  ただし、この接続でVHS側の映像を見ることはできません。
  VHS側の映像をお楽しみいただくときは、VHS/DVD共用・出力1端子とテレビのビデオ入力端子を接続してください。

■ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネル音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か?
- デコーダー内蔵のAVアンプと3本以上のスピーカーを用意すれば、マルチチャンネル音声が楽しめます。

その他

■電源を入れた直後、DVDの映像に切り換わるときがあるが、なぜか?
- 本体にディスクが入ったまま電源を入れると、ディスクによっては自動的に再生が始まることがあります。
  「VTRモード設定」の「共用出力選択」で「自動」を選んでいるときは、ディスクの再生が始まると自動的にDVD側の映像に切り換わる場合があります。映像を自動的にDVD側に切り換えたくないときは、「VTRモード設定」の「共用出力選択」で「手動」を選んでください。**(➜41)**
  「自動」にしていても、電源を入れるときにディスクが入っていないときは、DVD側の映像には切り換わりません。

VHS

カセット

■D-VHSカセットを使って、録画・再生できるか?
- できます。ただし、D-VHSカセットを使っても、S-VHS方式でしか録画できません。
- デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。**(➜23)**

■S-VHS-CまたはVHS-Cカセットを使って、録画・再生できるか?
- カセットアダプター(別売)を使えばできます。

ご参考

Q＆A(つづき)

VHS (つづき)

再生

■海外で録画したカセットを再生できるか?
- 同じNTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。

■本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか？
- できません。

録画･予約録画

■録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)に切り換えて聞くことはできるか?
- できます。(➜40)
  →[音声]で聞きたい音声を選んでください。
  ただし、“ dc ”チャンネルで録画をしているときは、音声を切り換えることはできません。

■ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)を録音できるか?
- できません。(➜40)

■予約録画の待機中に、他のカセットを見ることができるか?またはカセットを入れ替えることができるか?
- 予約録画の待機状態を解除しないとできません。(➜35)

■テレビの電源は入れていなくてもいいのか？
- 本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。
- テレビのチューナーを使ってBS番組などを予約録画する場合、予約録画中は電源を入れておく必要があります。
  テレビの説明書もお読みください。

■本機でディスクをビデオカセットに録画できるか?
- コピー禁止処理されていないディスクなら録画できますが、市販されているDVD(レンタルDVDも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。
  このようなディスクは録画・録音できません。

DVD

再生

■海外で買ったDVDは再生できるか?
- リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいるもので、映像方式がNTSCであれば再生できます。

■海外で買ったビデオCDは再生できるか?
- 映像方式がNTSCであれば再生できます。

■リージョン番号がないディスクは再生できるか?
- DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。
  規格を満たしていないDVDは再生できません。

別売品のご紹介

本書で紹介させていただいている別売品の一例です。
- 品番は2003年10月現在のものです。

■映像・音声コード(ステレオ⟷ステレオ)
- RP-CVP3G10(1.0 m)
- RP-CVP3G15(1.5 m)

■映像・音声コード(ステレオ⟷モノラル)
- RP-CVP2G10(1.0 m)
- RP-CVP2G20(2.0 m)

■音声コード(ステレオ⟷ステレオ)
- RP-CAP3G10(1.0 m)
- RP-CAP3G15(1.5 m)

■S映像コード
- RP-CVS0G10(1.0 m)
- RP-CVS0G20(2.0 m)

■D端子ピンケーブル
- RP-CVCDG15(1.5 m)
- RP-CVCDG30(3.0 m)

■D端子ケーブル
- RP-CVDG15(1.5 m)
- RP-CVDG30(3.0 m)

■光デジタルケーブル(光ミニプラグ⟷光角形プラグ)
- RP-CA2110A(1.0 m)
- RP-CA2120A(2.0 m)

■光デジタルケーブル(光角形プラグ⟷光角形プラグ)
- RP-CA2010A(1.0 m)
- RP-CA2020A(2.0 m)

■カセットアダプター
- VW-TCA7

■75Ω同軸ケーブル＊
- VUA7051(1.4 m)

■V・U分波器＊
- VUA7052F(F型接栓付き)

■75Ωアンテナプラグ(VHF/UHF入力端子専用)＊
- VSQ1035

■アンテナプラグ＊
- VUA7050

■ビデオヘッドクリーナー＊
- VFK0923FM(乾式、使用回数180回)
- VFK0923FS(乾式、使用回数30回)

■クリーニングクロス＊
- VUA7091(5枚入り)

■DVD-RAM/PDディスククリーナー＊
- RFKZ0093

■DVD-RAM/PDディスククリーナー
- LF-K200DCJ1

＊サービスルート扱いでご用意しております。

用語解説

■インターレース出力/プログレッシブ出力
従来の映像信号(NTSC)は525I(I：インターレース＝飛び越し走査)といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P(P：プログレッシブ＝順次走査)といいます。本機後面のD1/D2映像出力端子とテレビを接続し、**[プログレッシブ]**を押して“ PR ON ”にすると、プログレッシブ映像が出力できます。従来の映像出力端子、S映像出力端子よりも高画質な映像が楽しめます。

■サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

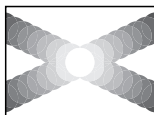
■ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

■デコーダー
DVDなどに符号化して記録した音声データを通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

■ドルビーデジタル
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。
ステレオ(2ch)はもちろん、最大5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

■ドルビープロロジック
4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、演算処理により、再び4チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

■パン＆スキャン/レターボックス
DVDソフトの多くは、ワイドテレビ画面(横縦比が16：9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4：3)のテレビに映し出そうとすると、16：9の映像が4：3に収まらなくなります。
4：3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン＆スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。
- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を映し出します。

■フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。
1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム ＝ フィールド ＋ フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質はよくなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

■プレイバックコントロール(PBC)
ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

■マルチセッション
CD-R/RWディスクに複数回に分けて記録することをいいます。
ディスク上のデータは[リードイン/プログラムエリア/リードアウト]で1つのセッションを構成しています。
CD-R/RWディスクに音楽などのデータを追加したときは、新しいセッションが追加されていきます。こうしてできたものがマルチセッションディスクです。
通常の音楽CDプレーヤーでは最初のセッションしか再生できませんが、本機では複数のセッションが再生できます。

■リニアPCM(LPCM)
圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

■Bitstream（ビットストリーム）
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダーによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード(復号)されます。

■DTS (Digital Theater Systems)（デジタル シアター システムズ）
多くの映画館で採用されている最大5.1chのサラウンドシステムです。
情報量が多いので、リアルな音響効果が得られます。

■DVDの音声チャンネル(ch)
出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。
例)5.1チャンネル

- フロントスピーカー　：L(1ch)/R(1ch)
- センタースピーカー　：1ch
- サラウンドスピーカー　：L(1ch)/R(1ch)
- LFE*[1]　：1ch×0.1*[2]= 0.1ch

*[1]Low Frequency Effects（ロー フリケンシー エフェクツ）の略。低域強調チャンネルのこと。
*[2]低音のみの出力なので、1 chに対し0.1 chと表現。

GUI画面では以下のように表示されます。

3 ／ 2 . 1

.1：LFE*[1]あり
(LFE*[1]がないときは表示されません)

0：サラウンド信号なし
1：サラウンド信号(モノラル)あり
2：サラウンド信号(ステレオ)あり

1：センター
2：フロント(L/R)
3：センター＋フロント(L/R)

■ID3タグ
MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

■MP3 (MPEG AUDIO Layer3)（エムペグ オーディオ レイヤー）
元の音質をあまり損なうことなく、音声を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。

■P.PCM(パックトPCM)
ひずみなく圧縮しデジタルに置き換えられた音声信号です。

市外局番入力チャンネル設定一覧表

市外局番入力チャンネル設定(➔20)を行うと、この表のように自動的に放送局が登録されます。
市外局番に変更があったときでも、この表の市外局番で設定してください。

都道府県	都市名	市外局番	PO(チャンネルポジション)／CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル																			
			PO 1				PO 2				PO 3				PO 4				PO 5			
			放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80	テレビ北海道	17	17	17	札幌テレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育	2	2	90												
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34	35									NHK総合	4	4	80				
	釧路/室蘭	0154/0143					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	29	29	17				
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	17	北海道文化	27	27	27	北海道テレビ	35	35	35	NHK総合	4	4	80				
青森	青森	017	青森放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	9
	八戸	0178													青森朝日	31	31	34				
秋田	秋田	018					NHK教育	2	2	90									秋田朝日	31	31	3
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合	4	4	80	秋田朝日	59	59	3
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこい	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合	4	4	80	岩手朝日	31	31	2
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	9
山形	山形	023													NHK教育	4	4	90	山形さくらんぼ	30	30	3
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合	3	3	80					山形さくらんぼ	24	24	3
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育	2	2	90					テレビュー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	テレビュー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビュー福島	32	32	31					NHK総合	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合	44	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	1
栃木	宇都宮	028	NHK総合	29	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	27	3	90	日本テレビ	25	4	4	とちぎテレビ	31	31	2
群馬	前橋	027	NHK総合	52	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	4
埼玉	さいたま	048	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
東京	東京	03	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
山梨	甲府	055	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
長野	長野	026					NHK総合	2	2	80					長野朝日	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日	44	44	20					NHK教育	3	3	90	NHK総合	4	4	80				
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	北陸放送	6	6	6	NHK総合	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育	3	3	90								
静岡	静岡	054					NHK教育	2	2	90					静岡第一	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一	30	30	31					NHK総合	4	4	80	中部日本放送	5	5	5
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	39	3	80					中部日本放送	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80					中部日本放送	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合	31	3	80	毎日テレビ	4	4	4	中部日本放送	5	5	5
滋賀	大津	077					NHK総合	28	28	80					毎日テレビ	36	4	4				
京都	京都	075					NHK総合	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日テレビ	18	4	4	テレビ大阪	19	19	1
奈良	奈良	0742					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4	NHK奈良	51	51	-
和歌山	和歌山	073					NHK総合	32	2	80					毎日テレビ	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	3
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80	NHK教育	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	1
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	8
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	0849	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	8
山口	山口	083	NHK教育	1	1	90	九州朝日	2	2	1	テレビQ	23	23	19	山口朝日	28	28	28	大分放送	5	5	5
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育	39	39	90	毎日テレビ	4	4	4	NHK総合	37	37	8
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合	3	3	80	毎日テレビ	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	3
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	3
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育	4	4	90	テレビ新広島	31	31	3
高知	高知	0888													NHK総合	4	4	80				
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	テレビQ	19	19	1
	北九州	093					九州朝日	2	2	1	福岡放送	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	23	23	1
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	1	NHK教育	40	40	90	福岡放送	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	14	14	1
長崎	長崎	095	NHK教育	1	1	90	九州朝日	57	57	1	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	1	NHK教育	2	2	90	熊本朝日	16	16	16	熊本県民	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	097	九州朝日	1	1	1					NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育	2	2	90					NHK総合	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育	5	5	9
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	28	NHK総合	2	2	80												

(VHF/UHF)

- 一覧表の ①～⑫ の放送局は、リモコンの[1]～[12]を押すだけで選ぶことができます。
- マニュアルチャンネル設定を行う方は、各放送局のガイドチャンネルを「ガイドCH」の項目のとおり合わせてください。
  (例：NHK総合テレビ→80、NHK教育テレビ→90)

PO(チャンネルポジション)／CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル)

PO ⑥				PO ⑦				PO ⑧				PO ⑨				PO ⑩				PO ⑪				PO ⑫				PO ⑬			
放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH
								北海道文化	27	27	**27**					北海道テレビ	35	35	**35**					NHK教育	12	12	**90**				
				札幌テレビ	7	7	**5**	北海道文化	37	37	**27**	NHK総合	9	9	**80**	北海道テレビ	39	39	**35**	北海道放送	11	11	**1**								
				札幌テレビ	7	7	**5**	北海道文化	59	59	**27**	NHK総合	9	9	**80**	北海道テレビ	61	61	**35**	北海道放送	53	53	**1**								
海道放送	6	6	**1**					北海道文化	32	32	**27**					札幌テレビ	10	10	**5**					NHK教育	12	12	**90**				
				札幌テレビ	7	7	**5**	北海道文化	41	41	**27**	NHK総合	9	9	**80**	北海道テレビ	39	39	**35**	北海道放送	11	11	**1**								
海道放送	6	6	**1**													NHK教育	10	10	**90**					札幌テレビ	12	12	**5**				
								北海道文化	27	27	**27**					青森朝日	34	34	**34**	北海道テレビ	35	35	**35**	青森テレビ	38	38	**38**				
				NHK教育	7	7	**90**					NHK総合	9	9	**80**					青森放送	11	11	**1**	青森テレビ	33	33	**38**				
												NHK総合	9	9	**80**					秋田放送	11	11	**11**	秋田テレビ	37	37	**37**				
田放送	6	6	**11**					NHK教育	8	8	**90**													秋田テレビ	57	57	**37**				
手放送	6	6	**6**	宮城テレビ	34	34	**34**	NHK教育	8	8	**90**					東日本放送	32	32	**32**					仙台放送	12	12	**12**				
				東日本放送	32	32	**32**					宮城テレビ	34	34	**34**									仙台放送	12	12	**12**				
レビュー山形	36	36	**36**					NHK総合	8	8	**80**					山形放送	10	10	**10**					山形テレビ	38	38	**38**				
HK教育	6	6	**90**					テレビュー山形	22	22	**36**													山形テレビ	39	39	**38**				
島中央	33	33	**33**	東日本放送	32	32	**32**	宮城テレビ	34	34	**34**	NHK総合	9	9	**80**	福島放送	35	35	**35**	福島テレビ	11	11	**11**	仙台放送	12	12	**12**				
島テレビ	6	6	**11**	東日本放送	32	32	**32**	福島中央	37	37	**33**	宮城テレビ	34	34	**34**	福島放送	41	41	**35**					仙台放送	12	12	**12**				
島中央	34	34	**33**					福島テレビ	8	8	**11**					NHK教育	10	10	**90**					福島放送	36	36	**35**				
BSテレビ	40	6	**6**					フジテレビ	38	8	**8**	千葉テレビ	39	46	**46**	テレビ朝日	36	10	**10**					テレビ東京	32	12	**12**				
BSテレビ	23	6	**6**					フジテレビ	21	8	**8**					テレビ朝日	19	10	**10**					テレビ東京	17	12	**12**				
BSテレビ	56	6	**6**	放送大学	40	16	**16**	フジテレビ	58	8	**8**	テレビ埼玉	38	38	**38**	テレビ朝日	60	10	**10**					テレビ東京	62	12	**12**				
BSテレビ	6	6	**6**	テレビ埼玉	38	38	**38**	フジテレビ	8	8	**8**	千葉テレビ	46	46	**46**	テレビ朝日	10	10	**10**	群馬テレビ	48	48	**48**	テレビ東京	12	12	**12**				
BSテレビ	6	6	**6**	TVKテレビ	42	42	**42**	フジテレビ	8	8	**8**	千葉テレビ	46	46	**46**	テレビ朝日	10	10	**10**	テレビ埼玉	38	38	**38**	テレビ東京	12	12	**12**				
BSテレビ	6	6	**6**	TVKテレビ	42	42	**42**	フジテレビ	8	8	**8**	千葉テレビ	46	46	**46**	テレビ朝日	10	10	**10**	テレビ埼玉	38	38	**38**	テレビ東京	12	12	**12**				
BSテレビ	6	6	**6**	TVKテレビ	42	42	**42**	フジテレビ	8	8	**8**					テレビ朝日	10	10	**10**					テレビ東京	12	12	**12**				
レビ山梨	37	37	**37**	TBSテレビ	6	6	**6**	フジテレビ	8	8	**8**					テレビ朝日	10	10	**10**					テレビ東京	12	12	**12**				
								NHK総合	8	8	**80**					新潟総合	35	35	**35**					NHK教育	12	12	**90**				
レビ信州	30	30	**30**									NHK教育	9	9	**90**	長野放送	38	38	**38**	信越放送	11	11	**11**								
越放送	6	6	**11**					テレビ信州	42	42	**30**					長野放送	40	40	**38**												
ューリップ	32	32	**32**													NHK教育	10	10	**90**					富山テレビ	34	34	**34**				
陸放送	6	6	**6**	北陸朝日	25	25	**25**	NHK教育	8	8	**90**					テレビ金沢	33	33	**33**					石川テレビ	37	37	**37**				
陸放送	6	6	**6**									NHK総合	9	9	**80**					福井放送	11	11	**11**	福井テレビ	39	39	**39**				
岡朝日	33	33	**33**									NHK総合	9	9	**80**					静岡放送	11	11	**11**	テレビ静岡	35	35	**35**				
岡放送	6	6	**11**	テレビ愛知	25	25	**25**	NHK教育	8	8	**90**					静岡朝日	28	28	**33**					テレビ静岡	34	34	**35**				
レビ愛知	25	25	**25**	岐阜放送	37	37	**37**	三重テレビ	33	33	**33**	NHK教育	9	9	**90**					メ～テレ	11	11	**11**	中京テレビ	35	35	**35**				
阜放送	37	37	**37**	中京テレビ	35	35	**35**	三重テレビ	33	33	**33**	NHK教育	9	9	**90**					メ～テレ	11	11	**11**	テレビ愛知	25	25	**25**				
BCテレビ	6	6	**6**	三重テレビ	33	33	**33**	関西テレビ	8	8	**8**	NHK教育	9	9	**90**	読売テレビ	10	10	**10**	メ～テレ	11	11	**11**	中京テレビ	35	35	**35**				
BCテレビ	38	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	40	8	**8**	びわ湖放送	30	30	**30**	読売テレビ	42	10	**10**					NHK教育	46	46	**90**				
BCテレビ	6	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	8	8	**8**	サンテレビ	36	36	**36**	読売テレビ	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
BCテレビ	6	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	8	8	**8**	サンテレビ	36	36	**36**	読売テレビ	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
BCテレビ	20	6	**6**					関西テレビ	22	8	**8**					読売テレビ	24	10	**10**					NHK教育	26	12	**90**				
BCテレビ	6	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	8	8	**8**	サンテレビ	36	36	**36**	読売テレビ	10	10	**10**	奈良テレビ	55	55	**55**	NHK教育	12	12	**90**				
BCテレビ	44	6	**6**					関西テレビ	46	8	**8**					読売テレビ	48	10	**10**					NHK教育	26	12	**90**				
																山陰放送	22	22	**10**					山陰中央	24	24	**34**				
HK総合	6	6	**80**					山陰中央	34	34	**34**					山陰放送	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
								山陰中央	58	58	**34**	NHK教育	9	9	**90**																
				瀬戸内海放送	25	25	**33**					西日本放送	9	9	**9**					山陽放送	11	11	**11**								
				NHK教育	7	7	**90**					広島ホーム	35	35	**35**									広島テレビ	12	12	**12**				
				中国放送	7	7	**4**					広島ホーム	57	57	**35**					広島テレビ	11	11	**12**								
				テレビ山口	38	38	**38**	RKB毎日	8	8	**4**	NHK総合	9	9	**80**	テレビ西日本	10	10	**9**	山口放送	11	11	**11**	福岡放送	35	35	**37**				
BCテレビ	6	6	**6**	瀬戸内海放送	33	33	**33**	関西テレビ	8	8	**8**	西日本放送	9	9	**9**	読売テレビ	10	10	**10**	山陽放送	29	29	**11**	岡山放送	31	31	**35**				
BCテレビ	6	6	**6**	サンテレビ	36	36	**36**	関西テレビ	8	8	**8**					読売テレビ	10	10	**10**					NHK教育	38	12	**90**				
HK総合	6	6	**80**	瀬戸内海放送	33	33	**33**	あいテレビ	29	29	**29**	西日本放送	9	9	**9**	南海放送	10	10	**10**	山陽放送	11	11	**11**	愛媛放送	37	37	**37**	愛媛朝日	25	25	**25**
海放送	6	6	**10**	瀬戸内海放送	33	33	**33**	あいテレビ	27	27	**29**	西日本放送	9	9	**9**	広島ホーム	35	35	**35**	山陽放送	11	11	**11**	愛媛放送	36	36	**37**	愛媛朝日	14	14	**25**
HK教育	6	6	**90**					高知放送	8	8	**8**					テレビ高知	38	38	**38**	高知さんさん	40	40	**40**								
HK教育	6	6	**90**									テレビ西日本	9	9	**9**					熊本放送	11	11	**11**	福岡放送	37	37	**37**				
HK総合	6	6	**80**					RKB毎日	8	8	**4**					テレビ西日本	10	10	**9**	熊本放送	11	11	**11**	NHK教育	12	12	**90**				
レビ熊本	34	34	**34**	長崎放送	5	5	**5**	RKB毎日	48	48	**4**	NHK総合	38	38	**80**	テレビ西日本	60	60	**9**	熊本放送	11	11	**11**	テレビ長崎	37	37	**37**				
レビ熊本	34	34	**34**	長崎国際	25	25	**25**	テレビ西日本	9	9	**9**	長崎文化	27	27	**27**	熊本放送	11	11	**11**	テレビ長崎	37	37	**37**	熊本県民	22	22	**22**				
レビ熊本	34	34	**34**	テレビ長崎	37	37	**37**	サガテレビ	36	36	**36**	NHK総合	9	9	**80**	テレビQ	19	19	**19**	熊本放送	11	11	**11**	RKB毎日	4	4	**4**				
海放送	10	10	**10**	テレビ大分	36	36	**36**	福岡放送	37	37	**37**	大分朝日	24	24	**24**	テレビQ	19	19	**19**	テレビ西日本	9	9	**9**	NHK教育	12	12	**90**				
				鹿児島放送	32	32	**32**	NHK総合	8	8	**80**	鹿児島テレビ	38	38	**38**	宮崎放送	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
崎放送	6	6	**10**					テレビ宮崎	39	39	**35**																				
崎放送	10	10	**10**	鹿児島放送	32	32	**32**	熊本県民	22	22	**22**	鹿児島テレビ	38	38	**38**	熊本朝日	16	16	**16**	鹿児島読売	30	30	**30**								
児島テレビ	35	35	**38**	熊本県民	22	22	**22**	NHK総合	8	8	**80**	熊本朝日	16	16	**16**	南日本放送	10	10	**1**	熊本放送	11	11	**11**	NHK教育	12	12	**90**				
								沖縄テレビ	8	8	**8**					琉球放送	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源	AC 100 V ±10 %、50/60 Hz ±0.5 %
消費電力	動作時 ：約25 W
	待機時 ：時刻表示点灯時・約4.2 W、時刻表示消灯時・約1.2 W

本体外形寸法

約幅 430×高さ89×奥行266 mm

本体質量

約4.0 kg

VHS部

録画方式 S-VHS規格

テープ速度 標準：33.35 mm/秒、
3倍：11.12 mm/秒

使用カセット S-VHS/VHSビデオカセット

録画時間 最大9時間(T-180使用、3倍の場合)

早送り･巻き戻し時間 約54秒(T-120使用の場合)
高速リターン時：約36秒(T-120使用の場合)

映像方式
- **テレビジョン方式** NTSC方式、525本、60フィールド
- **入力** 1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
- **S映像入力** Y入力：1.0 Vp-p、75 Ω、
C入力：0.286 Vp-p、75 Ω
- **出力** 1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
- **S映像出力** Y出力：1.0 Vp-p、75 Ω、
C出力：0.286 Vp-p、75 Ω
- **受信チャンネル** VHF ：1～12チャンネル
UHF ：13～62チャンネル
CATV ：C13～C63チャンネル
- **VHF/UHFアンテナ入力**
75 Ω

音声方式
- **入力** 309 mV、入力インピーダンス47 kΩ
(ピンジャック)
- **出力** 309 mV、出力インピーダンス1 kΩ
(ピンジャック)、
負荷インピーダンス10 kΩ
- **トラック数** 3トラック(ハイファイ：2トラック、
ノーマル：1トラック)

ハイファイ音声特性 ダイナミックレンジ ：90 dB以上
ワウフラッター ：0.005 %以下
周波数特性 ：20 Hz～20 kHz

DVD部

再生可能ディスク(8 cm、12 cm)
- DVD-Video
- DVD-R(DVD-Video規格準拠)
- DVD-RAM(DVD-VR規格準拠)
- DVD-Audio
- ビデオCD
- 音楽用CD(CD-DA)
- スーパービデオCD(IEC62107準拠)
- CD-R/RW
(CD-DA、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3、WMA、
JPEG、HighMAT レベル 2フォーマットのディスク)
- MP3/WMA
－再生可能なトラック数 ：最大999
－再生可能なグループ数 ：最大99
－ビットレート(MP3) ：32～320 kbps
ビットレート(WMA) ：48～192 kbps
- JPEG
－Exif Ver2.1 JPEGベースライン方式準拠
－再生可能な画像数 ：最大3000
－再生可能なグループ数 ：最大300
－画像解像度：320×240～6144×4096
(サブサンプリング：4:2:2、4:2:0)
- HighMAT レベル 2(音声、画像)

信号方式 NTSC

映像出力
- **ライン** 1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
- **S映像** Y出力：1.0 Vp-p、75 Ω
C出力：0.286 Vp-p、75 Ω
- **D1/D2映像** Y出力 ：1.0 Vp-p、75 Ω
PB/CB出力 ：0.7 Vp-p、75 Ω
PR/CR出力 ：0.7 Vp-p、75 Ω

音声出力 2 Vrms(1 kHz、0 dB)(ピンジャック)

音声出力特性
- **周波数特性**
DVD(リニア音声) ：4 Hz～22 kHz(48 kHzサンプリング)、
4 Hz～44 kHz(96 kHzサンプリング)
CD ：4 Hz～20 kHz(JEITA)
- **S／N比**
CD ：115 dB(JEITA)(DVD専用出力端子)
- **ダイナミックレンジ**
DVD(リニア音声) ：99 dB、
CD ：97 dB(JEITA)(DVD専用出力端子)
- **全高調波歪率**
CD ：0.0035 %(JEITA)(DVD専用出力端子)

デジタル音声出力
- **光デジタル出力** 光コネクター

許容動作温度

5 ～ 35 ℃

許容動作湿度

35 ～ 80 %(結露なきこと)

時計部

クォーツ制御、24時間、デジタル表示

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた･お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDプレーヤー一体型ビデオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

「故障かな?」(➜73,74)に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」(➜75)が表示されているときはその番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、お買い上げの販売店が修理させていただきます。
  なお、修理料金については販売店にご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	DVDプレーヤー一体型ビデオ
品　番	NV-VP51S
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…06-6907-1187

FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

窓口	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

窓口	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

窓口	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

窓口	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

窓口	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

窓口	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

窓口	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

窓口	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

窓口	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0103

さくいん

VHSの操作

DVDの操作

共通操作・その他

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のDVDプレーヤー一体型ビデオの点検を！

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- 時刻表示などに異常がある
- テープやディスクをいためた
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　月　日	品　番	NV-VP51S
販売店名	☎(　　)　－	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　－	

松下電器産業株式会社

ネットワーク事業グループ
〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号

システム事業グループ
〒571－8503　大阪府門真市松葉町2番15号

VQT0E21
F0703Sa0